インクジェットプリンタ（複合機）

PM-A940/PM-T960

操作ガイド

本製品の使い方全般を説明しています。

―― 本書は製品の近くに置いてご活用ください。――

もくじ

本書中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

補足情報や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

本書中のイラストについて

本書では、PM-T960 のイラストを用いて説明しています。

製品使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

記号の意味

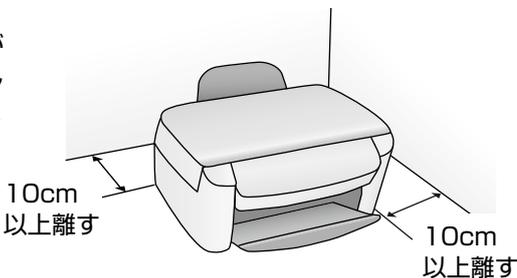
本製品の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

	この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。		この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。		この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。		この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	この記号は、アース接続して使用することを示しています。		

設置上のご注意

⚠警 告

本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。また、右図の設置スペースを確保してください。

⚠注 意

本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電波障害について

テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。
本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。
近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。

静電気について

静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

電源に関するご注意

⚠警告

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。
コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。
感電・火災のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電･火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事(第 3 種)を行っている接地端子

アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。

AC100V 以外の電源は使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災になるおそれがあります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。
また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードに重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

次のような場所にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針(落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です)
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意

⚠警告

液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。
- 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
- 目に入ったときは、きれいな水で最低15分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。

可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カセットを無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。
急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子供のいる家庭ではご注意ください。
倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。

電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。
指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。

本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。
インクが漏れるおそれがあります。

インクカートリッジに関するご注意

<table>
<tr><th colspan="4">⚠注 意</th></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。
• 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
• 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。
• 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。</td><td></td><td>インクカートリッジを分解しないでください。
分解したカートリッジは使用できません。また、分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>インクカートリッジは強く振らないでください。
強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。</td></tr>
</table>

取り扱い上のご注意

- インクカートリッジは冷暗所で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は 6 ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。
- 黄色いフィルムは必ずはがしてからセットしてください。はがさないまま無理にセットすると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。なお、その他のフィルムやラベルは絶対にはがさないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジの緑色の基板には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- 電源がオフの状態でインクカートリッジを交換しないでください。また、プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インク充てん中は、電源をオフにしないでください。充てんが不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを取り外した状態で本製品を放置したり、カートリッジ交換中に電源をオフにしたりしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンタの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- インクカートリッジにインクを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で、インク供給孔部を下にするか横にして保管してください。なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。

使用済みインクカートリッジの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収
  使用済みのインクカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
  ☞ 裏表紙「インクカートリッジの回収について」
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

インク消費について

印刷時以外にもインクカートリッジ装着時、セルフクリーニング時、プリントヘッドのクリーニング時に、インクが消費されます。

※ 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなります。

各部の名称と働き

1	**用紙サポート**

セットした用紙を支えるところです。

2	**背面オートシートフィーダ**

印刷する用紙をセットするところです。

3	**給紙口カバー**

内部に異物が入ることを防ぐカバーです。

4	**エッジガイド**

用紙をまっすぐ給紙するためのガイドです。用紙の側面に合わせてください。

5	**外部機器 /Bluetooth ユニット接続コネクタ**

外部記憶装置、デジタルカメラ、Bluetooth ユニットを接続する USB コネクタです。

6	**赤外線通信ポート**

携帯電話からの赤外線を受信するポートです。

7	**メモリカードスロット / カバー**

メモリカードをセットするところです。カバーは静電気による誤作動を防ぎます。

8	**排紙トレイ**

印刷された用紙を保持するところです。トレイ先端は、用紙が飛び出すときに開けてください。

9	**CD/DVD ガイド**

CD/DVD トレイをセットするところです。【CD ガイド開閉】ボタンを押すと出てきます。

10	**前面用紙カセット**

印刷する用紙をセットするところです。

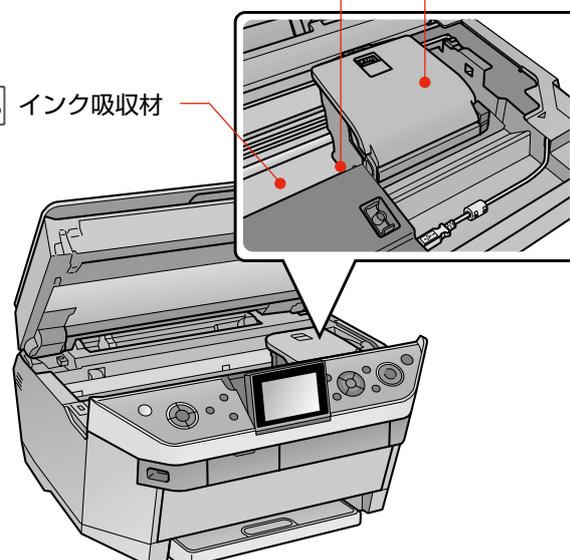
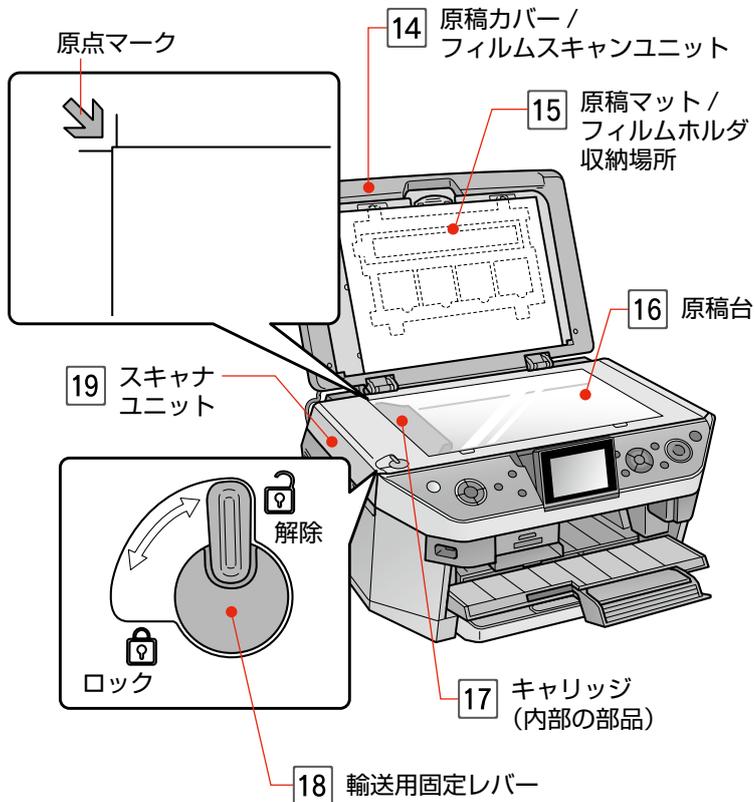
11	**カートリッジカバー**

インクカートリッジのセット / 交換時に開けるカバーです。

12	**プリントヘッド（ノズル）**

インクを吐出するところです。外からは見えません。

13	**インク吸収材**

フチなし印刷時に用紙からはみ出したインクを吸収するところです。

14 原稿カバー / フィルムスキャンユニット

- スキャン時に外部の光をさえぎるカバーです。
- 原稿マットを取り外すと、フィルムをスキャンする装置になります（PM-T960 のみ）。

15 原稿マット / フィルムホルダ収納場所

- 原稿を押さえるマットです。
- フィルムをスキャンするときは取り外し、原稿マットの裏にはフィルムホルダを収納できます（PM-T960 のみ）。

16 原稿台

原稿をセットするところです。

17 キャリッジ

原稿をスキャンするセンサです。

18 輸送用固定レバー（PM-T960 のみ）

輸送時にキャリッジが動かないようにロックするレバーです。使用時は解除の位置にしてください。

19 スキャナユニット

原稿をスキャンする装置です。

20 フィルムスキャンケーブル（PM-T960 のみ）

フィルムスキャンユニットと本体を接続しているケーブルです。

21 USB インターフェイスケーブル

パソコンと接続するケーブルです。

22 自動両面ユニット

自動で両面印刷 / コピーをする装置です（PM-A940 はオプション）。ユニットを取り外したときは、背面カバー（上）を取り付けます。

23 背面カバー（下）

用紙が詰まったときに開けるカバーです。

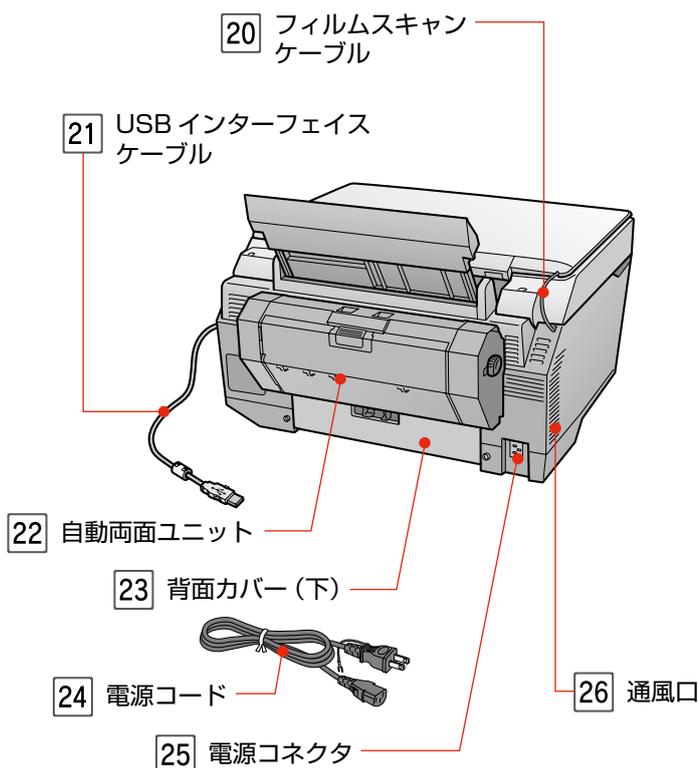
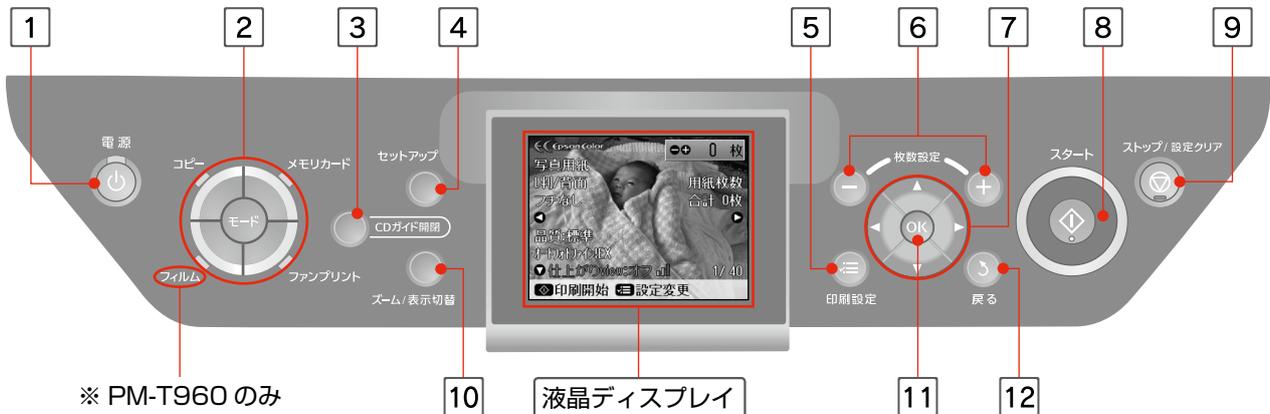
24 電源コード

電源コンセント（AC100V）に接続するコードです。

25 電源コネクタ

電源コードを接続するコネクタです。

26 通風口

内部で発生する熱を放出する穴です。設置するときは通風口をふさがないようにしてください。

操作パネルの名称と働き

1 【電源】ボタン

電源をオン / オフします。
オン： ランプが点滅し液晶ディスプレイに起動画面が表示されます。
オフ： 終了動作後、液晶ディスプレイとすべてのランプが消灯します。

2 【モード選択】ボタン

目的のモードを選択します。

3 【CD ガイド開閉】ボタン

CD/DVD ガイドを開閉します。

4 【セットアップ】ボタン

メンテナンス機能などの各種設定画面を表示します。

5 【印刷設定】ボタン

用紙や印刷品質の設定画面を表示します。

6 【+】【−】ボタン

印刷枚数を設定します。また、ズーム範囲を設定します。

7 【△】【▽】【▷】【◁】ボタン

項目や設定値の選択、ズーム枠の移動をします。

8 【スタート】ボタン

印刷を開始します。

9 【ストップ / 設定クリア】ボタン

印刷を中止します。また、設定中に押すと現在のモードのトップ画面に戻ります。

10 【ズーム / 表示切替】ボタン

写真の表示方法を以下の順番で切り替えます。
1 面表示（印刷設定表示あり）→ズーム枠表示→ 1 面表示（印刷設定表示なし）→ 16 面表示

11 【OK】ボタン

選択や変更した設定を決定します。

12 【戻る】ボタン

前の画面に戻ります。

液晶ディスプレイ

写真やコピー / 印刷時の設定を確認できます。
見やすい角度に調節して正面から見てください。

■消費電力の低減機能

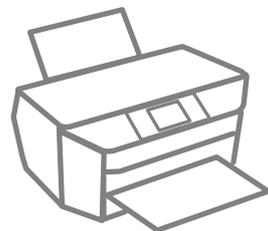
13 分間操作しないとスリープモードになり、ディスプレイの表示が消えます。再表示するにはいずれかのボタン（【電源】ボタンを除く）を押してください。

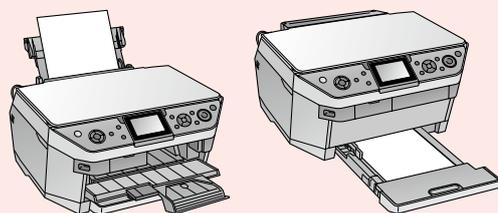
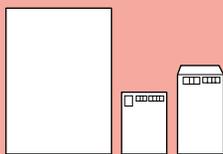
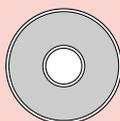
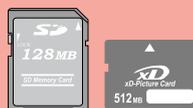
■仕上がり view

画面に「仕上がり view」と表示されるときは、【▽】ボタンで写真の補正効果[*1] を確認できます。

補正効果のレベル[*2]が表示される

＊ 1： フィルタ、オートフォトファイン！ EX、P.I.M. 、明るさ調整、コントラスト、シャープネス、鮮やかさ、ナチュラルフェイス（小顔、美白補正）
＊ 2： 補正効果の高い（画面で効果を確認しやすい）写真ほど、オレンジ色のバーが多く表示される

※ 画像データの容量など、条件によっては表示の切り替えに 20 秒以上かかることがあります。
※ 液晶ディスプレイの表示と印刷結果では、発色方法が異なるため色合いに差が生じることがあります。
※ 砂時計マークが表示されていても、次の写真選択や仕上がり view オンなどのボタン操作は可能です。
※ ズーム設定中は仕上がり view はオフになります。ズーム範囲を確定して、［仕上がり view］が表示される画面で【▽】ボタンを押してください。

用紙、CD/DVD、メモリカード、フィルム、原稿のセット

この章では、印刷用紙や原稿などのセット方法について説明しています。

●各メディアのセット方法

使用できる用紙・CD/DVD

エプソン製専用紙（純正用紙）

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙のご使用をお勧めします。

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">用紙名称 / 特長</th><th rowspan="2">サイズ</th><th colspan="2">セット可能枚数</th><th rowspan="2">印刷できる面</th></tr>
<tr><th>背面</th><th>前面</th></tr>
<tr><td rowspan="10">写真用紙</td><td rowspan="2">写真用紙クリスピア<高光沢>
【プロ仕様】
かつてない光沢感と透明感あふれる白さ、重厚な質感を実現した写真用紙です。</td><td>L 判
KG サイズ</td><td>50 枚*1</td><td>50 枚*1 *2</td><td rowspan="9">より光沢のある面</td></tr>
<tr><td>2L 判
六切
A4</td><td colspan="2">20 枚*1</td></tr>
<tr><td rowspan="3">写真用紙<光沢>
【スタンダード】
美しい光沢感のある仕上がりが魅力の写真用紙です。高い保存性を実現し、長期間色あせにくい写真プリントが可能です。</td><td>カードサイズ</td><td>30 枚*1</td><td>×</td></tr>
<tr><td>L 判
KG サイズ</td><td>50 枚*1</td><td>50 枚*1 *2</td></tr>
<tr><td>2L 判
ハイビジョンサイズ
六切
A4</td><td colspan="2">20 枚*1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">写真用紙エントリー<光沢>
【お得】
鮮やかな画質でたくさんプリントするのに最適な写真用紙です。</td><td>L 判
KG サイズ</td><td>50 枚*1</td><td>50 枚*1 *2</td></tr>
<tr><td>2L 判
A4</td><td colspan="2">20 枚*1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">写真用紙<絹目調>
光沢をおさえた落ち着いた風合いの写真用紙です。</td><td>L 判</td><td>50 枚*1</td><td>50 枚*1 *2</td></tr>
<tr><td>2L 判
A4</td><td colspan="2">20 枚*1</td></tr>
<tr><td>写真用紙<絹目調>はがき
光沢をおさえた落ち着いた風合いの写真専用ハガキです。</td><td>ハガキ</td><td colspan="2">20 枚</td><td>両面</td></tr>
<tr><td rowspan="4">マット紙</td><td>両面マット紙<再生紙>
オリジナルの名刺を 1 枚から作れます。両面印刷対応です。</td><td>名刺サイズ</td><td>30 枚</td><td>×</td><td>両面</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン専用ハガキ
写真入りのハガキ印刷に適した、ハガキサイズのマット紙です。</td><td>ハガキ</td><td>50 枚</td><td>30 枚</td><td>両面</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン紙
写真入り文書やホームページの印刷など、いろいろに使える用紙です。</td><td>A4</td><td colspan="2">100 枚</td><td rowspan="2">より白い面</td></tr>
<tr><td>フォトマット紙
光沢のない落ち着いた質感で、耐久性・耐光性に優れたマット紙です。</td><td>A4</td><td colspan="2">20 枚</td></tr>
<tr><td rowspan="3">普通紙</td><td rowspan="3">両面上質普通紙<再生紙>
ビジネス文書の作成時などに役立つ両面印刷が可能なインクジェットプリンタ用の普通紙（古紙 100% 配合の再生紙）です。</td><td rowspan="3">A4</td><td colspan="2">100 枚</td><td rowspan="3">両面</td></tr>
<tr><td colspan="2">手動両面印刷時</td></tr>
<tr><td>30 枚</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="2">特殊用紙（バラエティ用紙）</td><td>ミニフォトシール
16 分割の小さなオリジナルシールができます。</td><td>ハガキ
（16 分割）</td><td>1 枚*3</td><td>×</td><td>コーナーカットが右上にくる面
印刷面</td></tr>
<tr><td>フォトシール フリーカット
ハガキサイズの全面シールで、自由にカットして使えます。</td><td>ハガキ</td><td>1 枚*3</td><td>×</td><td>白い面</td></tr>
</table>

つづく

つづき

	用紙名称 / 特長	サイズ	セット可能枚数		印刷できる面
			背面	前面	
	スーパーファイン専用ラベルシート ステッカーが作れる全面シールで、自由にカットして使えます。	A4	1 枚	×	白い面
	アイロンプリントペーパー 用紙に写真やイラストを印刷してアイロンで転写すると、オリジナルの T シャツなどが作れます。	A4	1 枚	×	白い面

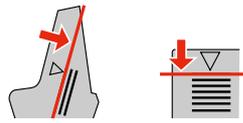
×：セット（印刷）できません。 (2007 年 7 月現在)

＊ 1： 印刷結果がこすれたりムラになったりするときは、1 枚ずつセットしてください。

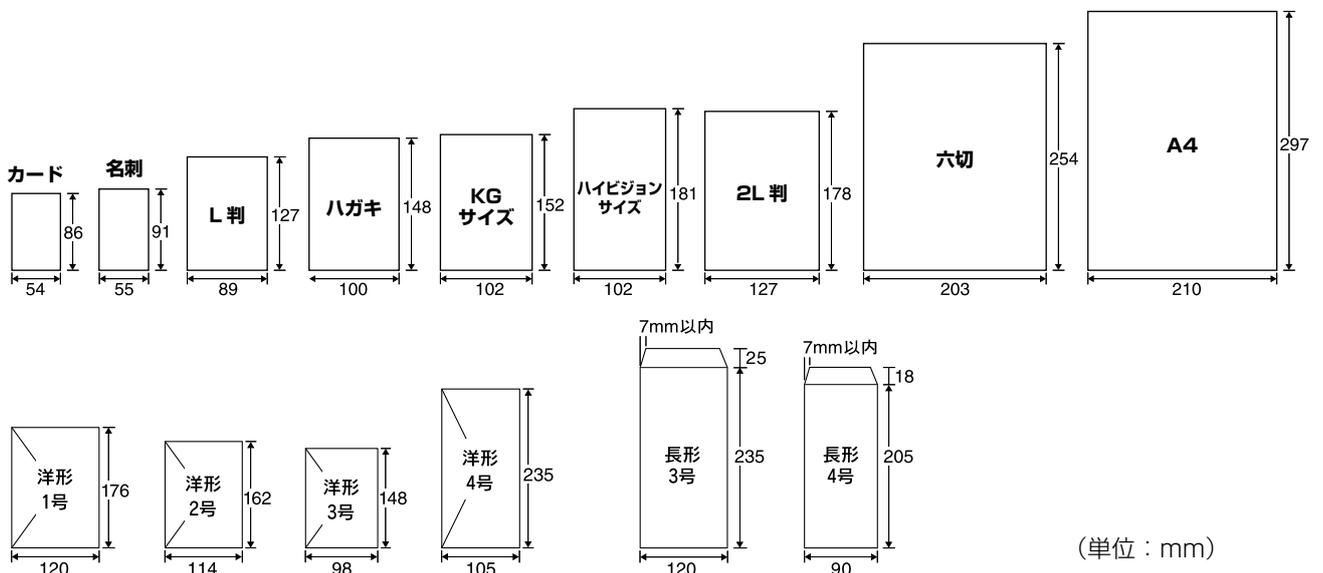
＊ 2： 50 枚以下でもエッジガイドの▼マークを超えるときは、▼マークを超えないように枚数を減らしてください。

＊ 3： シール用紙のパッケージに入っている給紙補助シートを下に敷いて、セットしてください。

市販の用紙

	用紙名称	サイズ	セット可能枚数		印刷できる面	備考
			背面	前面		
普通紙	コピー用紙 事務用普通紙	【定形紙】 A4/B5 ※ パソコンからの印刷はプリンタドライバの設定による	エッジガイドの▼マークまで		両面	• 以下の範囲内 坪量： 64～90g/m^2 厚さ： 0.08～0.11mm • 再生紙はにじむことがあります
		【ユーザー定義サイズ】 プリンタドライバの設定による	1 枚			
ハガキ	郵便ハガキ(再生紙)＊1 郵便ハガキ（インクジェット紙）＊1 郵便光沢ハガキ(写真用)＊1	ハガキ	50 枚	30 枚	両面	
	往復郵便ハガキ＊1	往復ハガキ	50 枚	×	両面	折り目がないもの
封筒	封筒	長形 3 号 /4 号 洋形 1 号 /2 号 /3 号 /4 号	10 枚	×	両面	

×：セット（印刷）できません。 (2007 年 7 月現在)

＊ 1： 日本郵政公社製

使用できる定形紙 / 封筒のサイズ

用紙をセットする前に

■ 使用できない用紙

- 次のような用紙はセットしないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

・波打っている用紙
・破れている用紙
・切れている用紙

・角が反っている用紙
・折りがある用紙

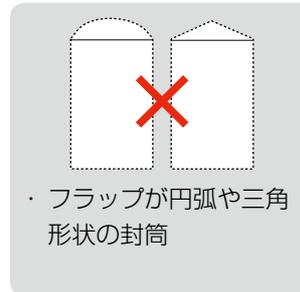
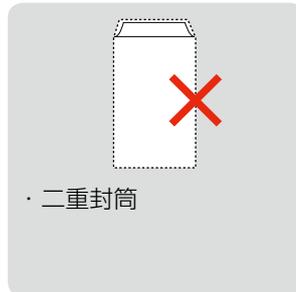
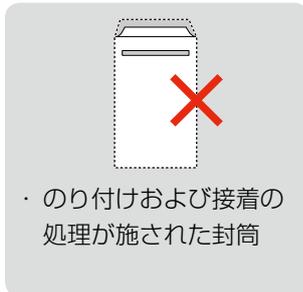
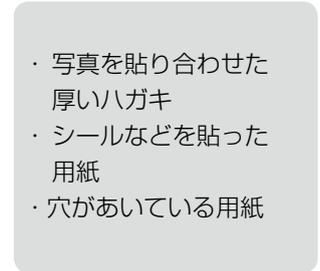
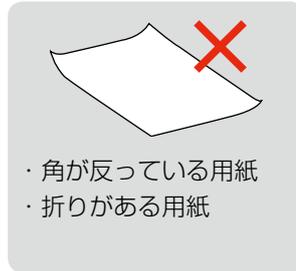
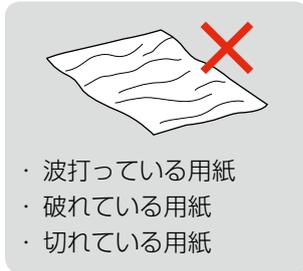
・丸まっている用紙
・反っている用紙

・写真を貼り合わせた厚いハガキ
・シールなどを貼った用紙
・穴があいている用紙

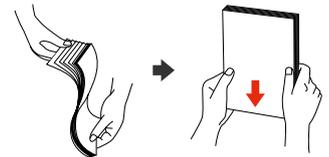
・のり付けおよび接着の処理が施された封筒

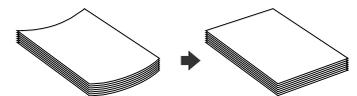
・二重封筒

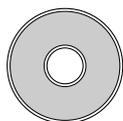
・フラップが円弧や三角形状の封筒

・フラップが折られている封筒や一度折り再度広げた封筒

- 前面用紙カセットには、片面に印刷した用紙や通紙（給排紙）したことのある用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因になります。

■ 用紙の取り扱い

- 用紙のパッケージや取扱説明書などに記載されている注意事項をご確認ください。
- 用紙は必要な枚数だけを取り出し、残りは用紙のパッケージに入れて保管してください。本製品にセットしたまま放置すると、反りや品質低下の原因になります。
- 用紙を複数枚セットするときは、右図のようによくさばいて紙粉を落とし、整えてからセットしてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷面に傷がつくおそれがあります。

■ ハガキや名刺サイズの用紙に両面印刷するときは

- 片面に印刷後しばらく乾かし、反りを修正して平らにしてからもう一方の面に印刷してください。ハガキは宛名面から先に印刷することをお勧めします。

CD/DVD

「レーベル面印刷可能」や「インクジェットプリンタ対応」などと表記されている、12cm/8cm サイズの CD/DVD メディア（CD-R/RW、DVD-R/RW など）をお使いください。

12cm

12cm
（ワイドエリアタイプ）

8cm

8cm
（ワイドエリアタイプ）

※ 印刷できることを確認した CD/DVD の情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp/support/taiou/media/ >
※ CD/DVD の取り扱い方法やデータ書き込み時の注意事項については、CD/DVD の取扱説明書をご覧ください。

［用紙種類］の設定

最適な印刷結果を得るためには、印刷用紙に適した［用紙種類］の設定をしてください。

	用紙名称	［用紙種類］の設定			
		コピー	メモリカード印刷	フィルム印刷（PM-T960 のみ）	パソコンから印刷
写真用紙	写真用紙クリスピア＜高光沢＞	EPSON クリスピア			EPSON 写真用紙クリスピア
	写真用紙＜光沢＞ 写真用紙＜絹目調＞	写真用紙			EPSON 写真用紙
	写真用紙エントリー＜光沢＞	写真用紙エントリー			EPSON 写真用紙エントリー
マット紙	フォトマット紙	フォトマット紙			EPSON フォトマット紙
	スーパーファイン紙	スーパーファイン紙	×		EPSON スーパーファイン紙
	両面マット紙＜再生紙＞	×	両面マット紙	×	EPSON 両面マット紙＜再生紙＞
普通紙	両面上質普通紙＜再生紙＞ コピー用紙 / 事務用普通紙	普通紙			普通紙
ハガキ	郵便ハガキ（再生紙）*1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ		×	宛名面：普通紙 通信面：普通紙
	往復郵便ハガキ*1	×			普通紙
	郵便ハガキ（インクジェット紙）*1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便 IJ ハガキ		×	宛名面：普通紙 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）
	郵便光沢ハガキ（写真用）*1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便光沢ハガキ		×	宛名面：普通紙 通信面：郵便光沢ハガキ
	スーパーファイン専用ハガキ	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便 IJ ハガキ		×	宛名面：普通紙 通信面：EPSON スーパーファイン紙
	写真用紙＜絹目調＞はがき	宛名面：郵便ハガキ 通信面：写真用紙		×	宛名面：普通紙 通信面：EPSON 写真用紙
バラエティ用紙	ミニフォトシール	ミニフォトシール 16		×	EPSON フォトシール
	フォトシール フリーカット	フォトシール全面		×	EPSON フォトシール
	アイロンプリントペーパー	アイロンペーパー		×	EPSON アイロンプリントペーパー
	スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン紙	×		EPSON スーパーファイン紙
封筒	封筒	×			封筒*2
CD/DVD	CD/DVD	CD/DVD レーベル		×	CD/DVD レーベル
	高画質 CD/DVD	CD/DVD レーベル		×	高画質対応 CD/DVD レーベル

×：セット（印刷）できません。

＊１：日本郵政公社製

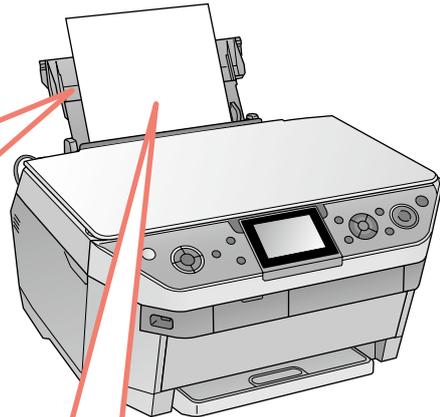
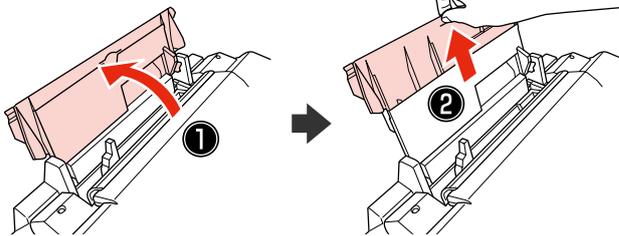
＊２：長形３号 /4 号封筒は、Windows パソコンからの印刷のみに対応しています（Mac OS は非対応）。

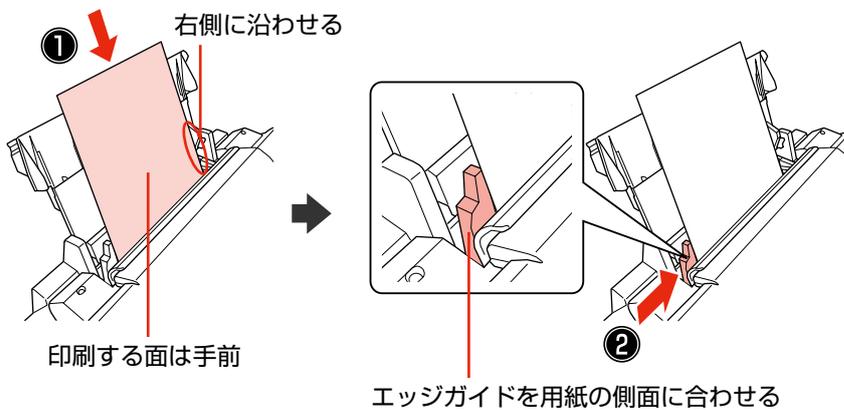
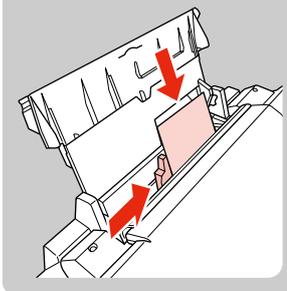
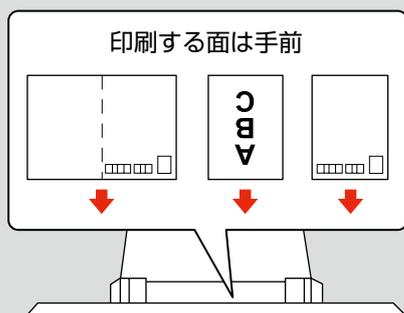
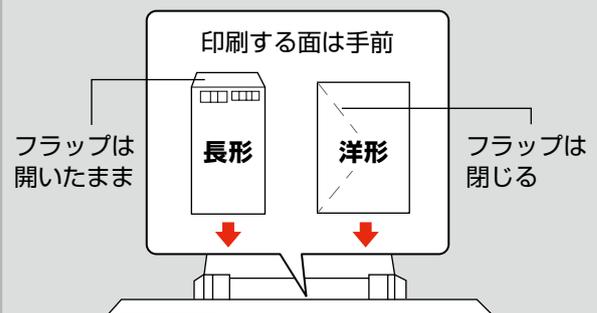
印刷用紙のセット

背面オートシートフィーダへのセット

1 用紙サポートを引き出す

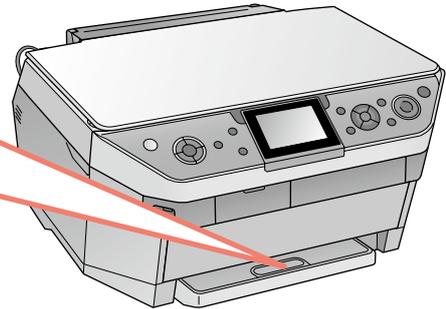
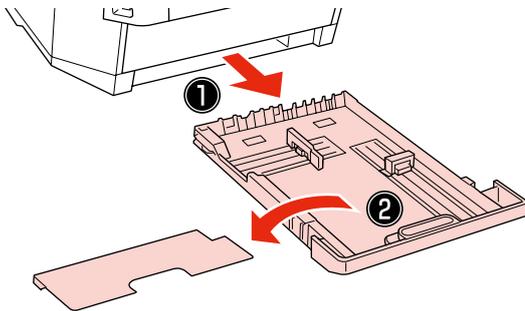
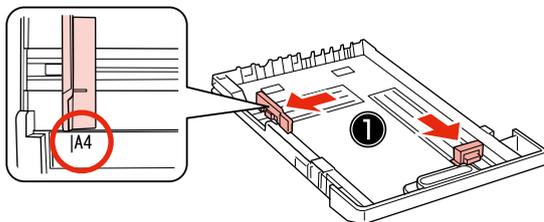
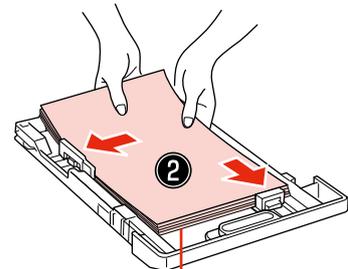
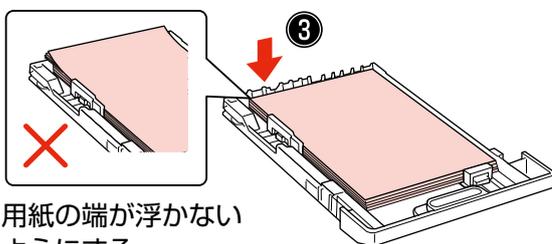
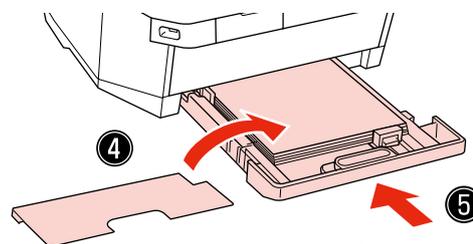
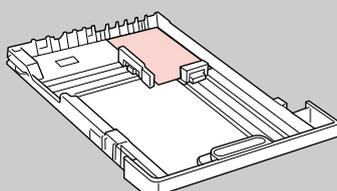
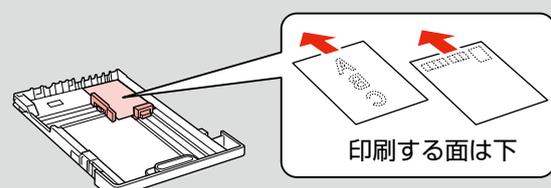
2 用紙を縦方向にセットする

❶ 右側に沿わせる

印刷する面は手前

❷ エッジガイドを用紙の側面に合わせる

写真用紙、ハガキ、カード、名刺も同じようにセット

前面用紙カセットへのセット

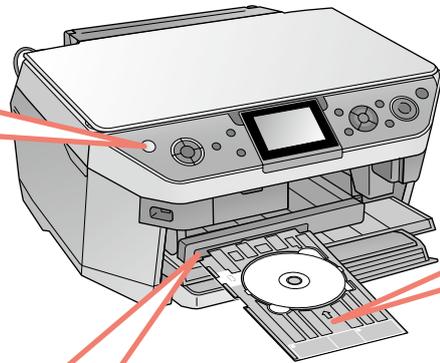
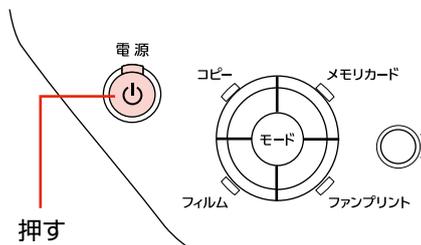
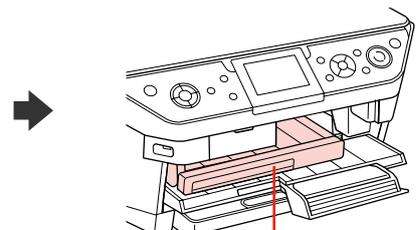
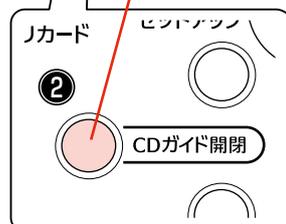
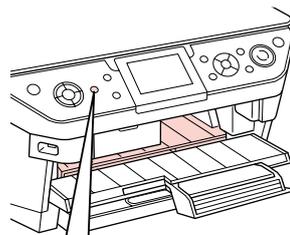
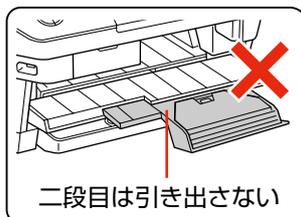
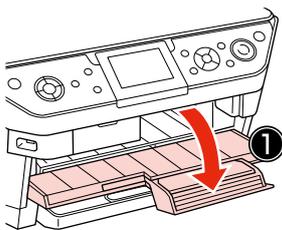
一部の用紙（小さいサイズの用紙やシールなど）は、前面用紙カセットからは印刷できません。

☞ 10 ページ「使用できる用紙・CD/DVD」－「セット可能枚数」

1 用紙カセットを引き出す

2 用紙を縦方向にセットする

CD/DVD のセットと取り出し

CD/DVD のセット

!重要

- 本製品の動作中は、CD/DVD のセットを行わないでください。故障するおそれがあります。

3 CD/DVD を付属のトレイに載せて、プリンタにセットする

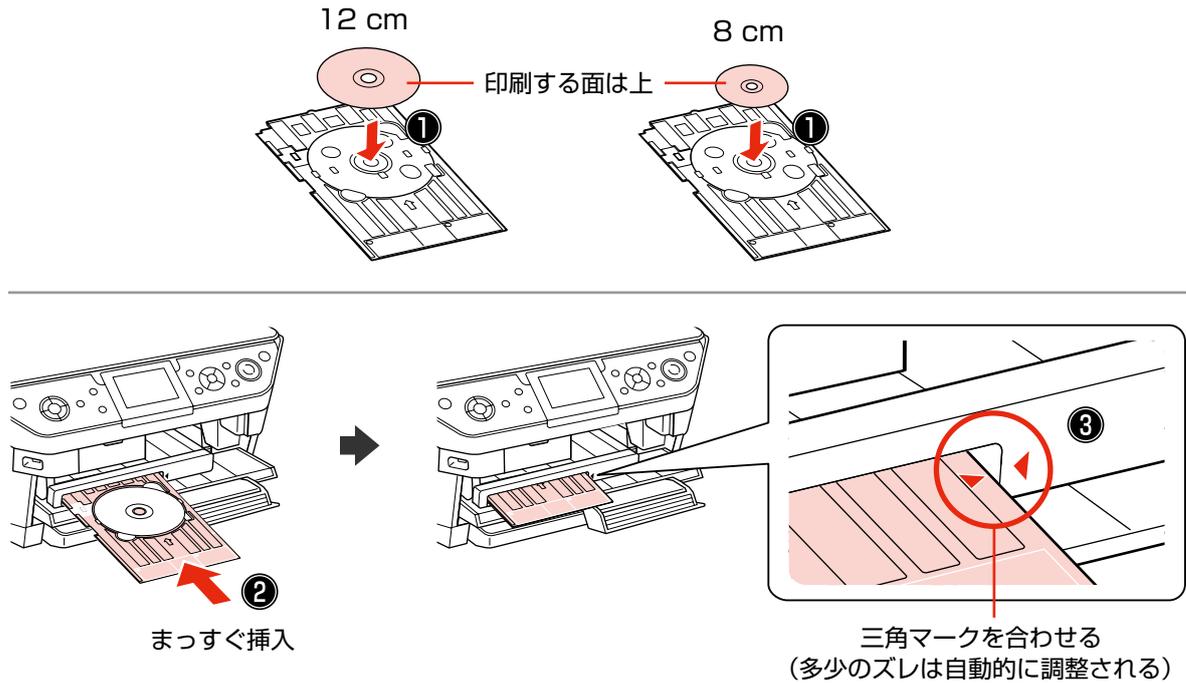
※付属の「CD/DVD 印刷位置確認用シート」で試し印刷ができます。

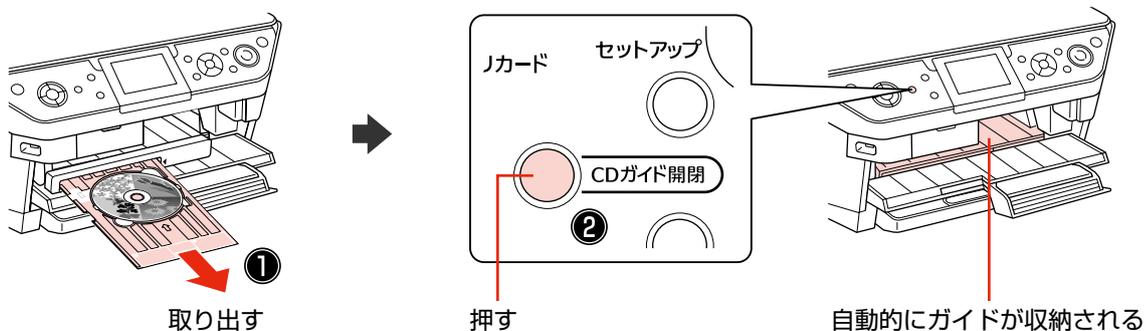
12 cm

8 cm

印刷する面は上

まっすぐ挿入

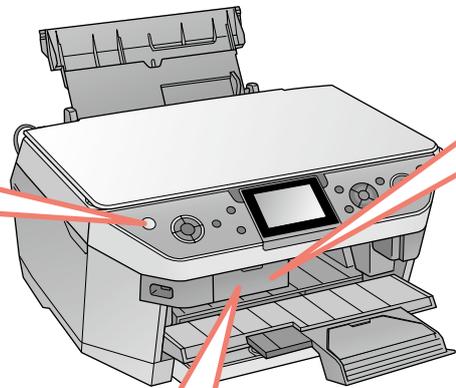
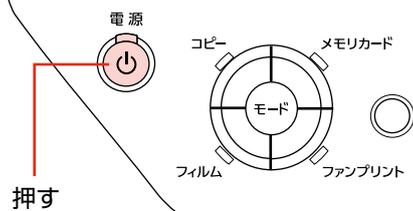
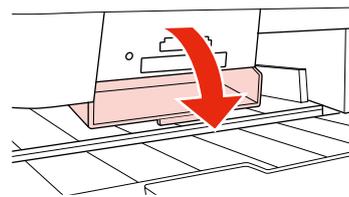
三角マークを合わせる
（多少のズレは自動的に調整される）

CD/DVD の取り出し

印刷が終了したら、トレイを取り出してください。

！重要

- トレイをセットしたまま電源をオン / オフしないでください。故障するおそれがあります。
- トレイは平らな場所に保管してください。反ったり変形したりすると、動作不良の原因になります。

メモリカードのセットと取り出し

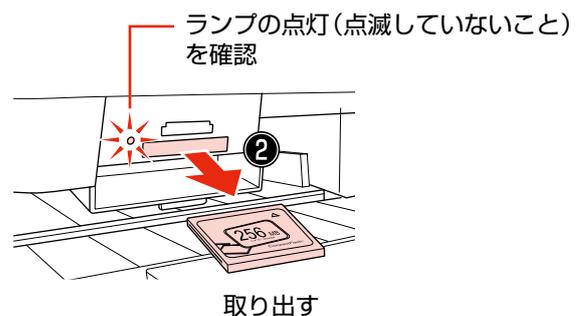
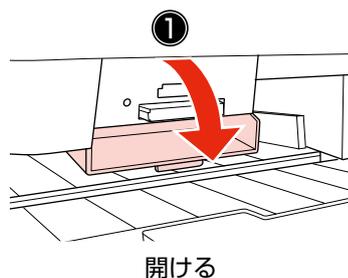
メモリカードのセット

！重要
- ランプが点滅しているとき（通信中）は、メモリカードを取り出さないでください。保存されているデータが壊れるおそれがあります。
- メモリカードは 1 枚だけセットしてください。複数のメモリカードを同時にセットすると、正常に認識されないことがあります。
- メモリカードをセットした後は、カバーを閉じてください。静電気による誤作動を防ぎます。

メモリカードの取り出し

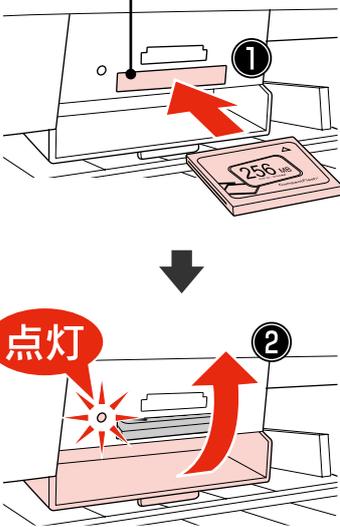
取り出し方は、上段 / 下段スロットともに同じです。

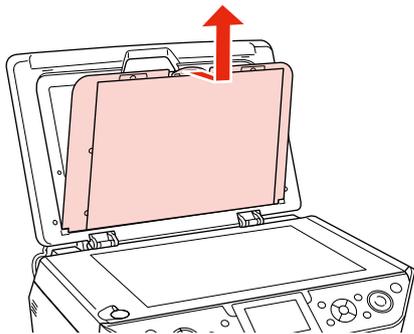
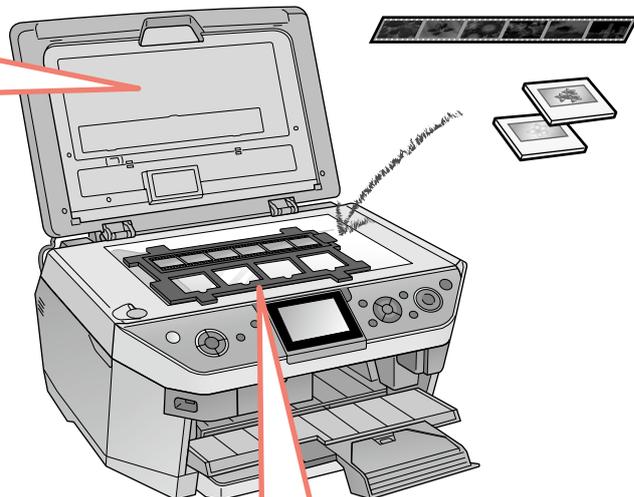
❶ 開ける

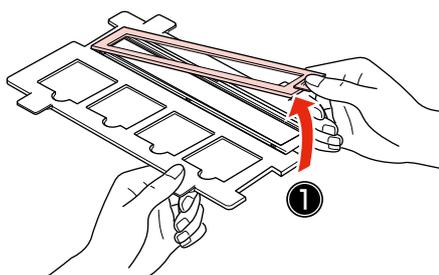
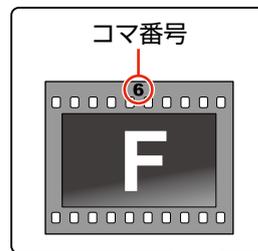
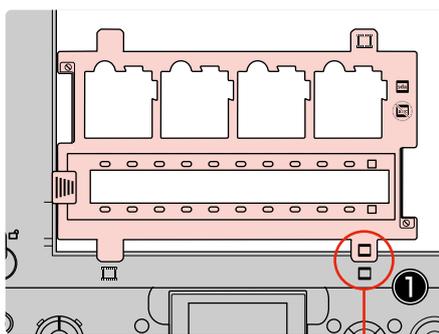
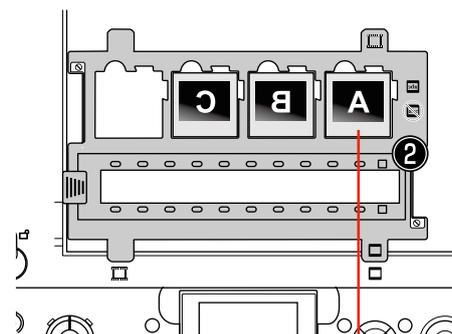
ランプの点灯（点滅していないこと）を確認

❷ 取り出す

！重要
- ランプの点滅が続くときは、【セットアップ】ボタンを押してから取り出してください。メモリカードモードとファンプリントモードでは、頻繁にメモリカードと通信するため点滅が続くことがあります。
- パソコンでメモリカードドライブとして使用しているときは、以下を参照して取り出してください。
『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「メモリカードドライブとしての使い方」

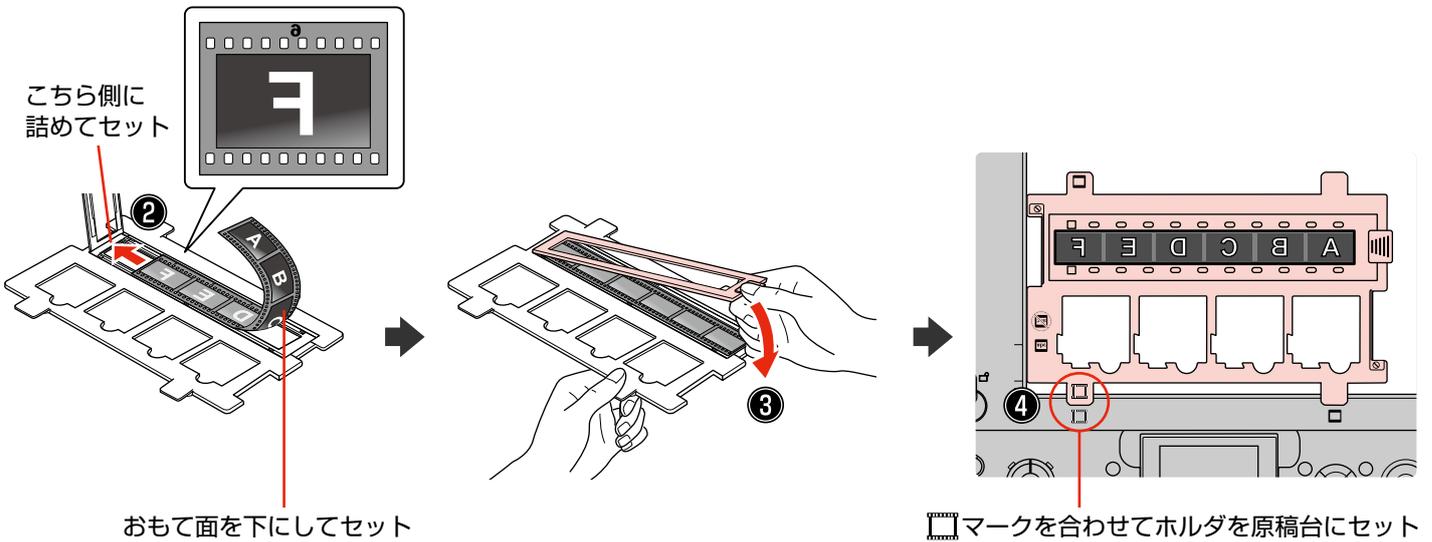
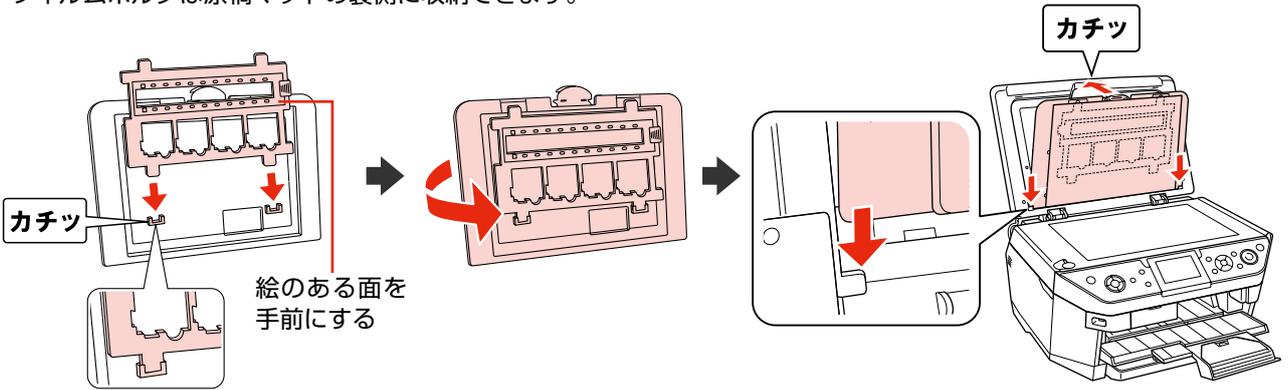
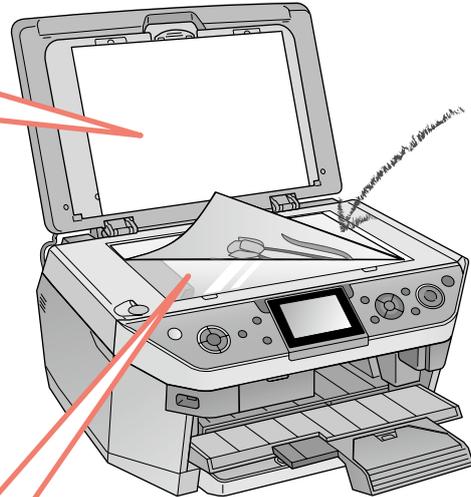
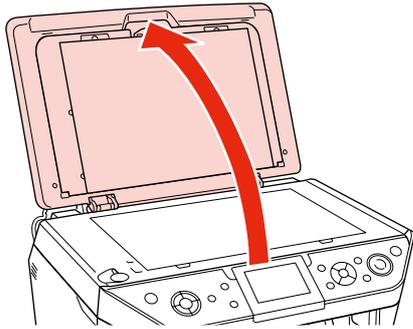
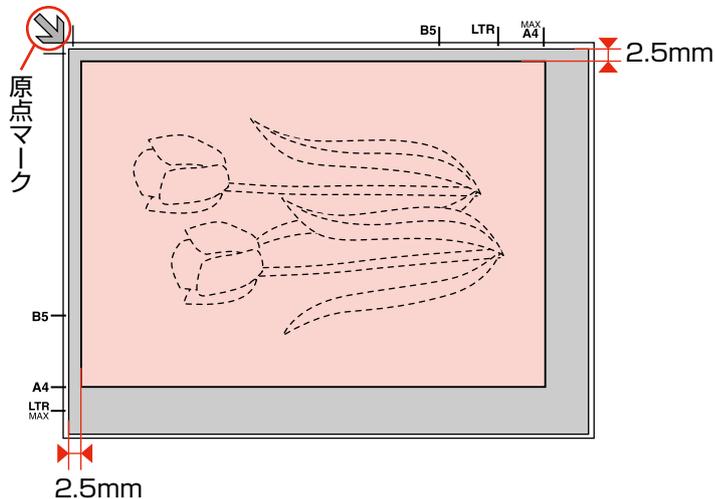
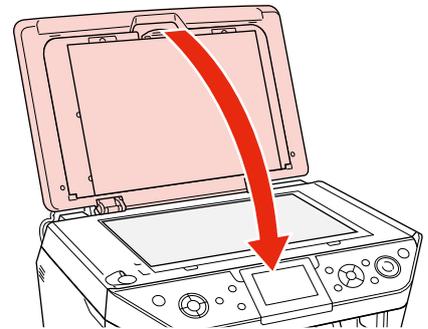
3 メモリカードを 1 枚だけ挿入して、カバーを閉じる

セット位置	メモリカードの種類		
	挿入方向 ◀		xD-Picture Card ™ xD-Picture Card ™ Type M xD-Picture Card ™ Type H
			メモリースティック メモリースティック PRO マジックゲートメモリースティック
			SD メモリーカード SDHC メモリーカード マルチメディアカード
		メモリースティックサイズの専用アダプタを使用	メモリースティック Duo メモリースティック PRO Duo マジックゲートメモリースティック Duo メモリースティック マイクロ
		SD メモリーカードサイズの専用アダプタを使用	miniSD カード miniSDHC カード microSD カード microSDHC カード
	挿入方向 ◀		コンパクトフラッシュ
			マイクロドライブ

※ 上記は 2007 年 7 月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページの「よくあるご質問（FAQ）」でご確認ください。
< http://www.epson.jp/faq >

1 原稿カバーを開けて、原稿マットを取り外す

※ 取り外した原稿マットはフィルム印刷終了後に取り付けてください。

2 フィルムをセットして原稿カバーを閉じる

※ 2 種類のフィルムは同時にセットできません。

マウントフィルム

□ マークを合わせてホルダを原稿台にセット

おもて面を下にしてセット

参考

- フィルムホルダは原稿マットの裏側に収納できます。

原稿のセット

!重要

- 原稿をセットする前に、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。
- コピーが終了したら、原稿を取り出してください。原稿を長時間セットしたままにすると原稿台に貼り付くおそれがあります。

コピー

この章では、コピーの方法について説明しています。

まずは基本操作を覚えよう !!

コピーの 基本

準備 用紙セット、原稿セット

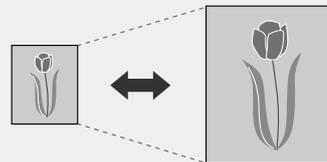
操作 パネル設定

☞24 ページ

設定を変えてみよう !!

原稿種類 / レイアウト設定

☞26 ページ

コピーの印刷設定
（倍率や濃度など）

☞28 ページ

●こんなこともできます

自動両面コピー

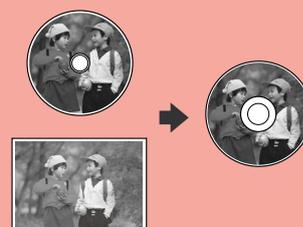
☞30 ページ

※ PM-A940 はオプションの
自動両面ユニットが必要

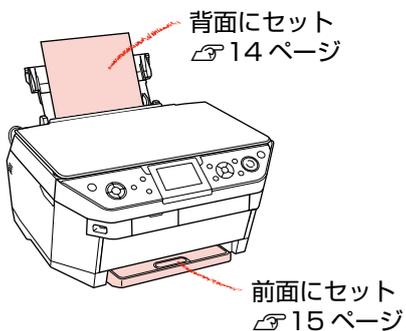
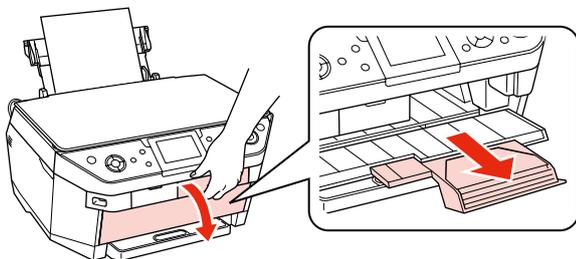
ブックコピー

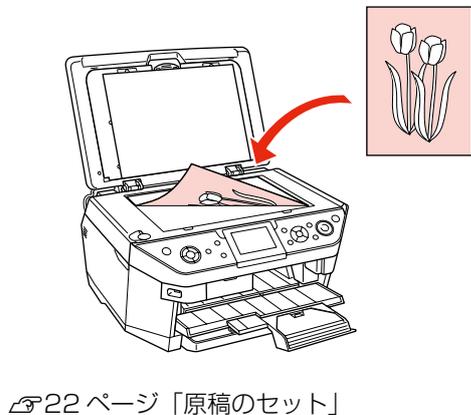
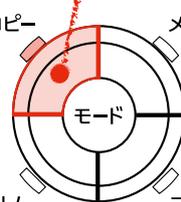
☞31 ページ

CD/DVD レーベルにコピー

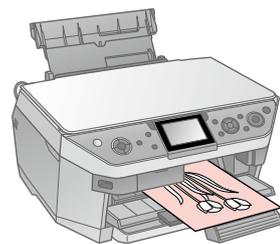
☞32 ページ

コピーの基本

準備

1 印刷用紙を前面または背面にセット

2 排紙トレイを開いて引き出す

3 原稿をセット

☞22 ページ「原稿のセット」

操作

選択

5 コピー開始

＜原稿種 / レイアウト＞

① 項目選択

② 設定値表示

③ 設定値選択

④ 決定

詳しくは…
☞26 ページ「原稿種 / レイアウト設定」

4 印刷設定（【印刷設定】ボタンで表示）

★［用紙種類］→［用紙サイズ］→［給紙方法（前面 / 背面）］の順で必ず設定

① 項目選択

② 設定値表示

③ 設定値選択

④ 決定

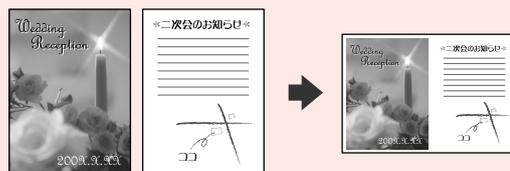
⑤ 設定終了

詳しくは ☞28ページ「コピーの印刷設定」

原稿種 / レイアウト設定

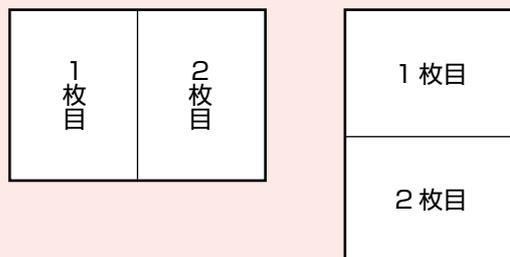
25 ページ<原稿種 / レイアウト>設定では、原稿の種類やコピーレイアウト（配置）の設定ができます。設定値は右側をご覧ください。

設定値の変更方法

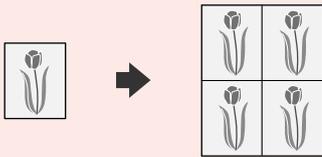
設定値

※ 1 枚目のコピーに続いて 2 枚目をコピーします。

※ ［A4（B5）-Book を 2 アップ］を選択したときの手順は、以下をご覧ください。

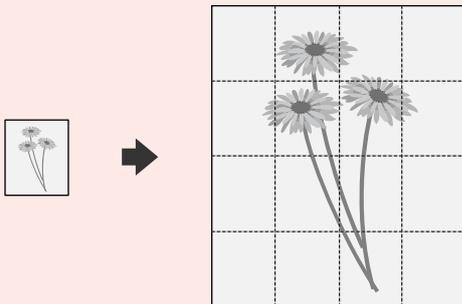
☞31 ページ「ブックコピー」

<コピー結果（割り付け順序）>

※原稿種によっては、設定できない項目もあります。

リピート自動

等倍で用紙に収まるだけくり返しコピー

※［リピート自動］でコピーできる原稿の最小サイズは 30 × 40mm です。

ポスター16

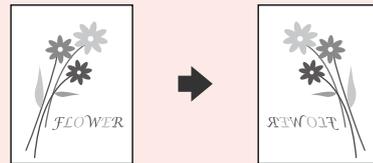
A4 サイズの用紙 16 枚に分割して拡大コピー

※ 印刷用紙は 16 枚セットしてください。
※ 最大コピー倍率は 400%です。小さな原稿では、A4 サイズの用紙 16 枚分に拡大されないことがあります。

<コピー結果の貼り合わせ>

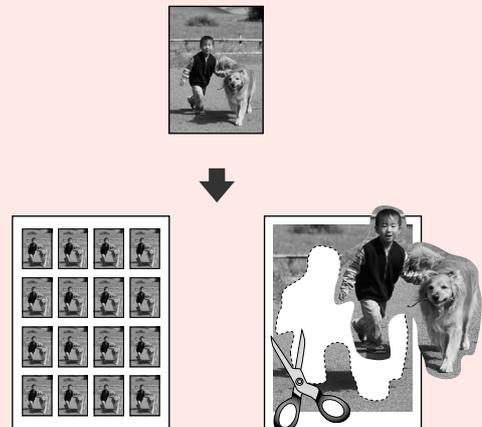
下図のグレー部分（余白）を切り取って、テープなどで貼り合わせてください。

（以降同様）

ミラーコピー

左右反転してコピー

※ アイロンプリントペーパーに印刷するときに便利です。
※ 印刷用紙は背面オートシートフィーダにセットしてください。

フォトシール全面 / ミニフォトシール 16

フォトシール用紙にコピー

フォトシール 16（ミニフォトシール）　　フォトシール全面（フォトシール フリーカット）

※ 印刷用紙は背面オートシートフィーダにセットしてください。
※［フォトシール 16］でコピーできる原稿の最大サイズは L 判です。

- **CD/DVD コピーは**
  ☞32 ページ「CD/DVD レーベルにコピー」
- **両面コピー、BOOK 両面、A4（B5）を両面 /2 アップは**
  ☞30 ページ「自動両面コピー」

コピーの印刷設定

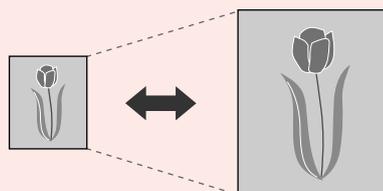
25 ページ手順 4 の印刷設定では、コピーの倍率や濃度、用紙の設定などができます。項目と設定値は右側をご覧ください。

設定値の変更方法

上図以外の項目や設定値は、【▽】か【△】ボタンで表示されます。

項目と設定値

倍率

コピー倍率を選択

- オートフィット（用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小）
- 定形倍率（A4 →ハガキ /2L 判→ハガキなど）

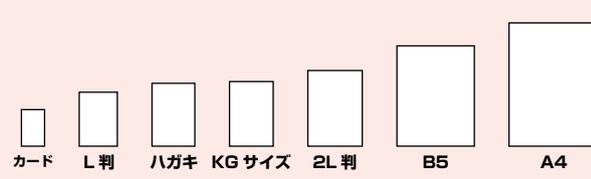
※ 任意の倍率を設定するときは、［定形倍率］を選択して【+】または【–】ボタンを押してください。

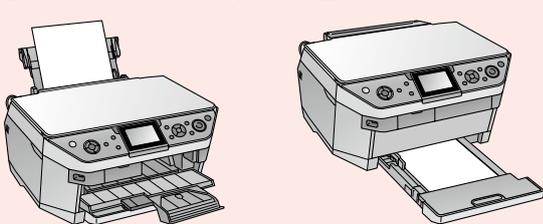
用紙種類

セットした用紙	設定
両面上質普通紙<再生紙>、事務用普通紙	普通紙
写真用紙クリスピア<高光沢>	EPSON クリスピア
写真用紙<光沢>、写真用紙<絹目調>	写真用紙
写真用紙エントリー<光沢>	写真用紙エントリー
フォトマット紙	フォトマット紙
スーパーファイン紙、スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン紙
郵便光沢ハガキ（写真用）の通信面	郵便光沢ハガキ
郵便ハガキ（インクジェット紙）の通信面、スーパーファイン専用ハガキの通信面	郵便 IJ ハガキ
郵便ハガキ（再生紙）、ハガキの宛名面	郵便ハガキ
12cm CD/DVD のレーベル面	CD/DVD レーベル
フォトシール フリーカット	フォトシール全面
ミニフォトシール	ミニフォトシール 16
アイロンプリントペーパー	アイロンペーパー

※用紙種類や用紙サイズなど、組み合わせによっては設定できない項目もあります。

用紙サイズ

用紙種類に対応したサイズだけが表示されます。

給紙方法

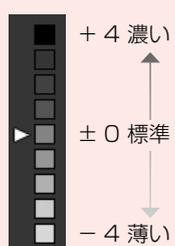
用紙をセットした給紙装置を選択

品質

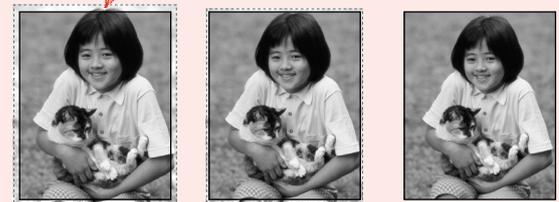
コピー品質を選択

設定	品質	速度
きれい	高	遅
標準	↕	↕
エコノミー*1	低	速

＊ 1：速度優先のため薄く印刷します。

コピー濃度

コピー濃度を選択

フチなし領域調整

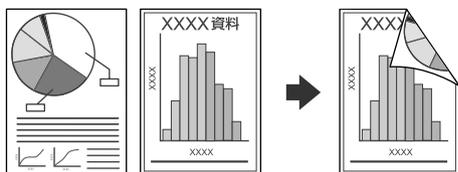
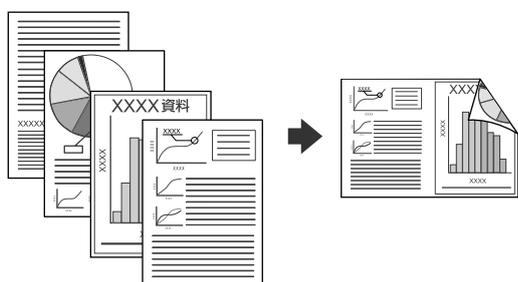
フチなしコピーの拡大率を選択

フチなしコピーは、余白をなくすために少し拡大して印刷します。［少ない］［より少ない］を選択すると、余白が出ることがあります。

CD 外径内径調整

12cm CD/DVD レーベルの印刷領域を調整

ワイドエリアタイプに印刷するときは、お使いの CD/DVD レーベルの印刷範囲内で内径を調整してください。

自動両面コピー

2 枚の原稿を両面にコピーできます。また、4 枚の原稿を 2 枚ずつ割り付けて（2 アップ）両面にコピーできます。

両面（印刷用紙は A4 か B5 サイズの普通紙のみ）

両面 /2 アップ（印刷用紙は A4 サイズの普通紙のみ）

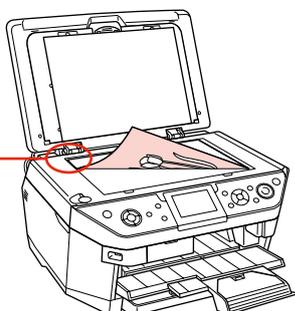
参考

- 自動両面ユニットを取り付けてください。
91 ページ「自動両面ユニットの取り付け / 取り外し」

1 **印刷用紙をセットします。**

14 ページ「印刷用紙のセット」

2 **1 枚目の原稿をセットして、原稿カバーを閉じます。**

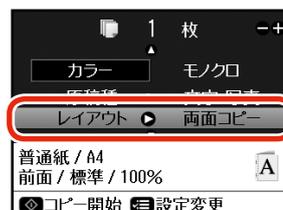
22 ページ「原稿のセット」

3 **【コピー】ボタンを押してコピーモードにします。**

4 **コピー枚数とコピー色を設定します。**

両面 /2 アップのコピー枚数は 1 枚（固定）です。

5 **レイアウトを選択します。**

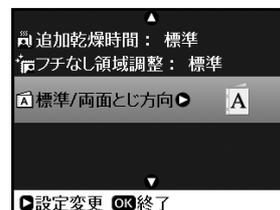
両面コピー、A4 を両面 /2 アップ、B5 を両面 / 2 アップ

参考

- 原稿種が［写真］に設定されていると選択できません。

6 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。**

28 ページ「コピーの印刷設定」

参考

- 印刷結果のとじ方向を、［標準（または 2 アップ）/ 両面とじ方向］で設定できます。

7 **【スタート】ボタンを押して、コピーを開始します。**

おもて面の印刷が終了すると、一旦排紙されますが、触らずに手順 8 に進んでください。

8 **［原稿交換］のメッセージが表示されたら、2 枚目の原稿をセットしてカバーを閉じ、【スタート】ボタンを押します。**

セットの向きは、1 枚目の原稿と同じです。

参考

- 両面コピーと片面コピーでは色合いや濃度に違いが見られることがあります。
- おもて面と裏面の設定を変えることはできません。
- 印刷結果にこすれが発生するときは、［コピー濃度］や［追加乾燥時間］を調整してください。

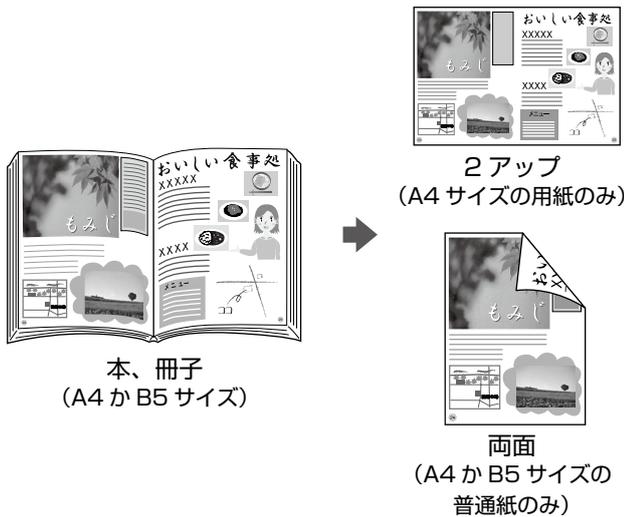
以上で、操作は終了です。

ブックコピー

本や冊子などの 2 ページ分の原稿を、1 枚の用紙に割り付けて（2 アップ）コピーしたり、両面にコピーしたりできます。

2 アップ
（A4 サイズの用紙のみ）

本、冊子
（A4 か B5 サイズ）

両面
（A4 か B5 サイズの普通紙のみ）

参考

- 両面コピーをするときは、自動両面ユニットを取り付けてください。
  ☞91 ページ「自動両面ユニットの取り付け / 取り外し」

1 **印刷用紙をセットします。**

☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

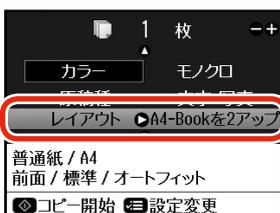
2 **【コピー】ボタンを押してコピーモードにします。**

3 **コピー枚数とコピー色を設定します。**

2 アップのコピー枚数は 1 枚（固定）です。

4 **レイアウトを選択します。**

A4-Book を 2 アップ、B5-Book を 2 アップ、BOOK 両面

参考

- 原稿種が［写真］に設定されていると、［BOOK 両面］は選択できません。

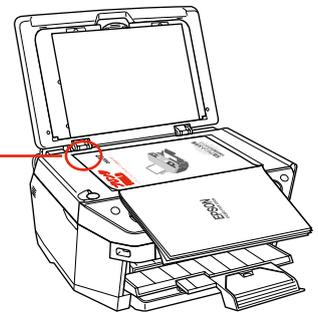
5 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。**

☞ 28 ページ「コピーの印刷設定」

参考

- ［BOOK 両面］では、とじ方向の設定はできません。

6 **【スタート】ボタンを押して、1 枚目の原稿をセットします。**

原稿カバーを閉じてください。

7 **【スタート】ボタンを押して、コピーを開始します。**

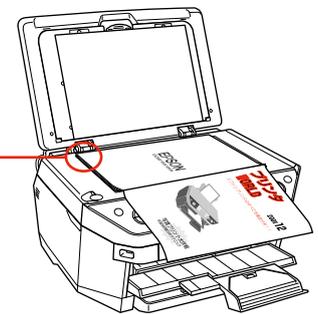
両面コピーのときは、おもて面の印刷が終了すると一旦排紙されますが、触らずに手順 8 に進んでください。

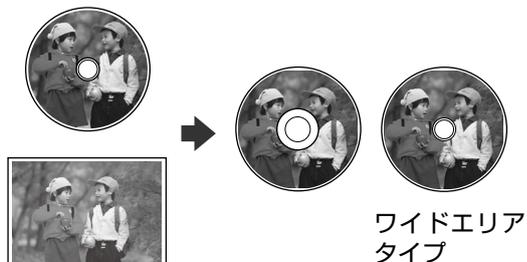
8 **［原稿交換］のメッセージが表示されたら、2 枚目の原稿をセットします。**

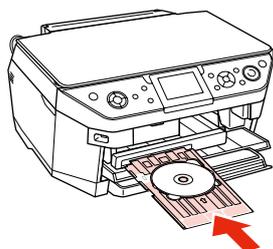
原稿カバーを閉じてください。

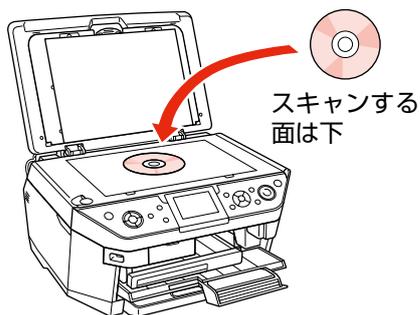
9 **【スタート】ボタンを押して、コピーを開始します。**

以上で、操作は終了です。

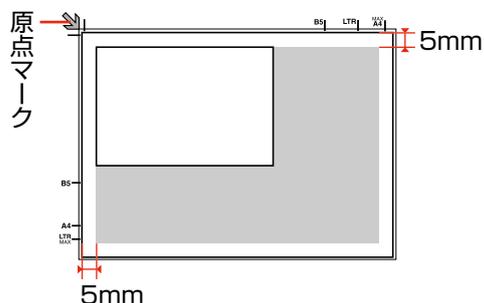
コピー

CD/DVD レーベルにコピー

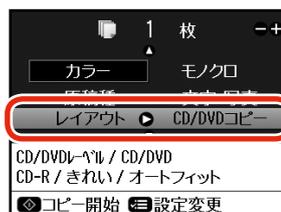
CD レーベルや写真（四角い原稿）を、CD レーベルにコピーできます。

1 印刷用 CD/DVD（12 cm）をセットします。

☞ 16 ページ「CD/DVD のセット」

2 CD/DVD 原稿をセットして、原稿カバーを閉じます。

CD マーク（Ⓢ）に合わせて中央に置いてください（PM-T960 は CD マークがありませんが、中央付近に置いてください）。多少のズレは自動的に調整されます。

参考

- 写真原稿はスキャンする面を下にして、図のようにセットしてください。

原点マーク
5mm
5mm

3 【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。

4 レイアウトが［CD/DVD コピー］になっていることを確認します。

参考

- ［CD/DVD コピー］になっていないときは、以下を参照して設定してください。
  ☞26 ページ「設定値の変更方法」
- 原稿種が［文字］に設定されていると、[CD/DVD コピー］は選択できません。

5 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。

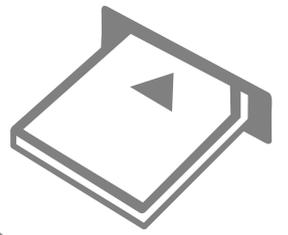
☞ 28 ページ「コピーの印刷設定」

参考

- 内側ギリギリまで印刷できるワイドエリアタイプの CD/DVD にコピーするときは、［CD 外径内径調整］を設定してください。
  ☞29 ページ「CD 外径内径調整」
- 印刷用 CD/DVD の代わりに普通紙をセットして、印刷設定の用紙種類を［普通紙（お試し）］にすると、試しコピーができます。

6 【スタート】ボタンを押して、コピーを開始します。

コピーが終了したら、CD/DVD を取り出します。
☞ 17 ページ「CD/DVD の取り出し」

以上で、操作は終了です。

メモリカードから写真プリント

この章では、メモリカードから写真をプリントする方法について説明しています。

まずは基本操作を覚えよう !!

メモリカード印刷の **基本**

準備　用紙セット、メモリカードセット

操作　パネル設定

☞34 ページ

設定を変えてみよう !!

印刷設定
（レイアウト / 品質 / 日付表示など）

☞36 ページ

●こんなこともできます

フレームを付けて印刷< P.I.F. 印刷>
☞42 ページ

CD/DVD レーベルに印刷
☞41 ページ

ズームアップして印刷
☞40 ページ

CD ケース用ジャケット印刷
☞41 ページ

オーダーシート印刷
☞44 ページ

スキャンしてメモリカードに保存
☞48 ページ

すべて印刷 / インデックス印刷
☞46 ページ

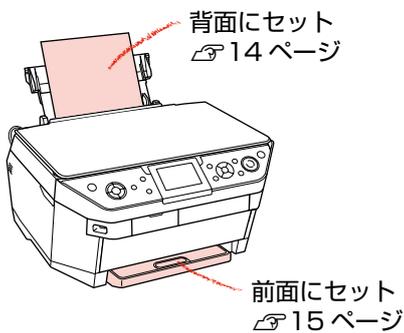
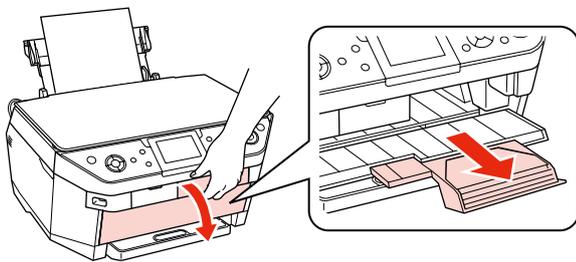
日付選択印刷
☞46 ページ

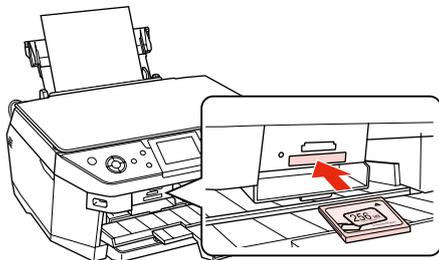
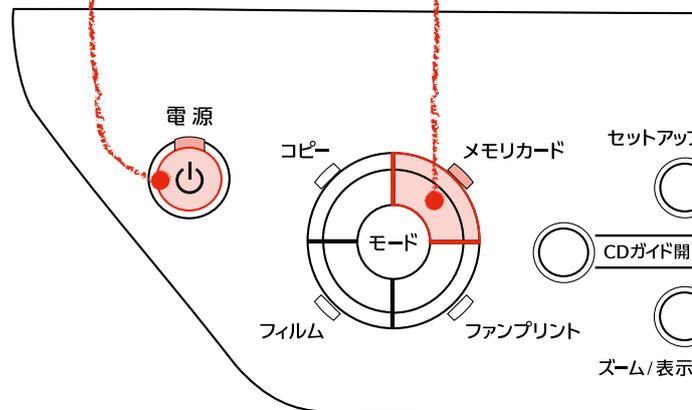
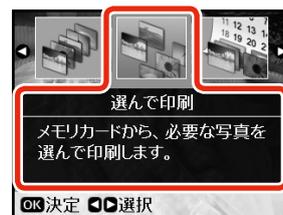
スライドショー
☞47 ページ

DPOF 印刷
☞47 ページ

メモリカード印刷の基本

準備

1 印刷用紙を前面または背面にセット

2 排紙トレイを開いて引き出す

3 メモリカードをセット

☞18 ページ「メモリカードのセット」

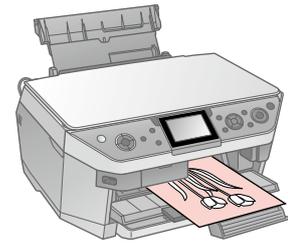
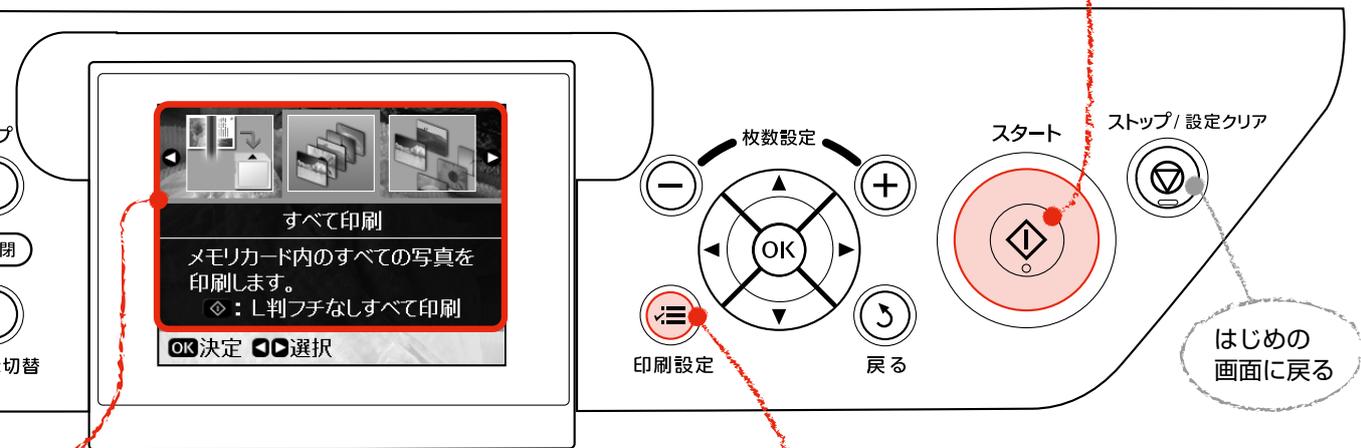
操作

できあがり!!

ドモード選択

5 印刷開始

すべて印刷
メモリカード内のすべての写真を印刷します。
◇：L判フチなしすべて印刷
OK決定 ◀▶選択

枚数設定
スタート
ストップ/設定クリア
印刷設定
戻る
はじめの画面に戻る

[選んで印刷] 以外のメニュー

すべて印刷
☞46 ページ

日付選択印刷
☞46 ページ

CD/DVD 印刷
☞41 ページ

オーダーシート
☞44 ページ

インデックスシート印刷
☞46 ページ

スライドショー
☞47 ページ

スキャンしてメモリカードに保存
☞48 ページ

4 印刷設定（[印刷設定] ボタンで表示）

★ [用紙種類]→[用紙サイズ]→[給紙方法(前面/背面)] の順で必ず設定

詳しくは ☞36 ページ「印刷設定」

メモリカードから写真プリント

印刷設定

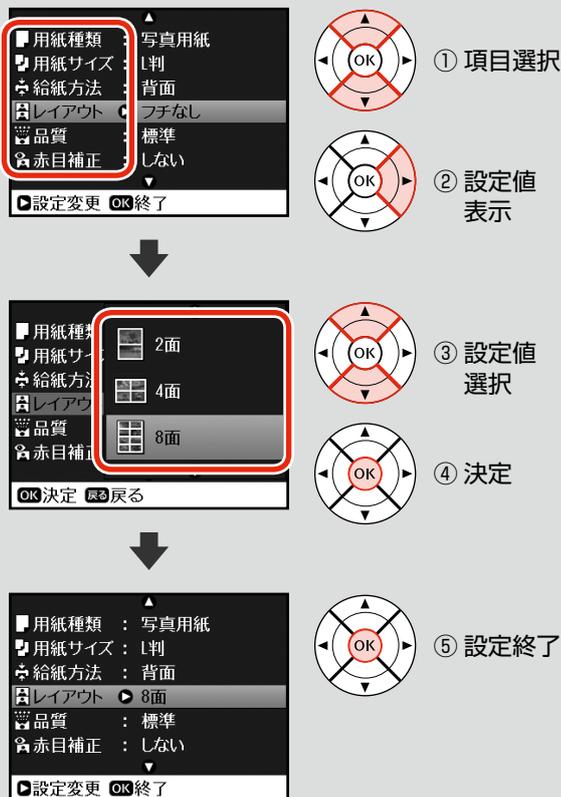
35 ページ手順 ④ の印刷設定では、印刷レイアウト（写真の配置）や日付印刷、用紙の設定などができます。項目と設定値は右側をご覧ください。

設定値の変更方法

上図以外の項目や設定値は、【▽】か【△】ボタンで表示されます。

項目と設定値（必ず設定）

用紙種類

セットした用紙	設定
写真用紙クリスピア＜高光沢＞	EPSON クリスピア
写真用紙＜光沢＞、写真用紙＜絹目調＞	写真用紙
写真用紙エントリー＜光沢＞	写真用紙エントリー
フォトマット紙	フォトマット紙
郵便ハガキ（インクジェット紙）の通信面、スーパーファイン専用ハガキの通信面	郵便 IJ ハガキ
郵便光沢ハガキ（写真用）の通信面	郵便光沢ハガキ
郵便ハガキ（再生紙）、ハガキの宛名面	郵便ハガキ
両面上質普通紙＜再生紙＞、事務用普通紙	普通紙
両面マット紙、両面マット紙＜再生紙＞（名刺サイズ）	両面マット紙
ミニフォトシール	ミニフォトシール 16
フォトシール フリーカット	フォトシール全面
アイロンプリントペーパー	アイロンペーパー

用紙サイズ

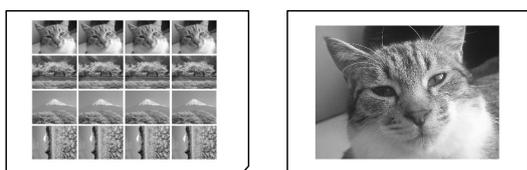
用紙種類に対応したサイズだけが表示されます。

※用紙種類や用紙サイズなど、組み合わせによっては設定できない項目もあります。

つづく

参考

特殊用紙に印刷するときは、用紙に合わせた設定が必要です。また、用紙は背面にセットしてください。

●ミニフォトシール / フォトシール フリーカット

用紙種類：ミニフォトシール 16/ フォトシール全面
用紙サイズ：ハガキ（固定）

※ ミニフォトシール印刷で写真と枚数を設定するときは、写真の合計枚数が 1 枚または 16 枚になるように設定することをお勧めします。合計枚数が 1 枚のときは同じ写真が 16 個印刷されますが、16 枚未満のときは余白ができます。

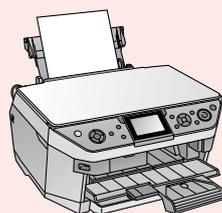
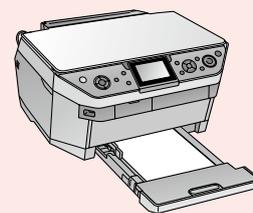
●アイロンプリントペーパー

用紙種類：アイロンペーパー
用紙サイズ：A4（固定）

●名刺サイズの用紙（両面マット紙<再生紙>）
用紙種類：両面マット紙
用紙サイズ：名刺（固定）

●カードサイズの用紙（写真用紙<光沢>）
用紙種類：写真用紙
用紙サイズ：カード

給紙方法

用紙をセットした給紙装置を選択
※ CD/DVD 印刷時は［CD-R］を選択

背面

前面

レイアウト

写真の配置方法を選択
※ CD/DVD 印刷時のレイアウト
41 ページ「CD/DVD レーベル印刷」

フチなし

フチあり

上半分*1

2 面

4 面

8 面

16 面(シール用)

20 面*2

証明写真

A4 額縁サイズ

楕円 - 1 面

楕円 - 上半分

＊ 1：ハガキ（年賀状）などにお使いいただくと便利です。
＊ 2：各写真の下にコマ番号や日付が印刷されますので、インデックス印刷（写真一覧）としてご利用になれます。

※［インデックスシート印刷］のレイアウトは［Index］に固定されます。
46 ページ「すべて印刷 / インデックスシート印刷」
※メモリカードに P.I.F. フレームが保存されているときは、P.I.F. フレームの名称が表示されます。

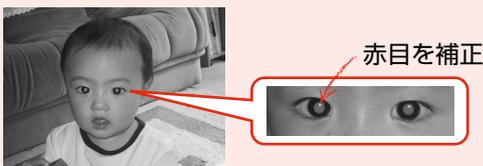
項目と設定値（お好みで設定）

品質

印刷品質を選択

設定	品質	速度
きれい	高	遅
標準	↕	↕
速い	低	速

赤目補正

赤く撮影された目の色を補正

※ 画像によっては赤目以外の部分が補正されることがあります。

フチなし領域調整

フチなし印刷の拡大率を選択

少し欠けます

標準

少ない

より少ない

フチなし印刷は、余白をなくすために少し拡大して印刷します。［少ない］［より少ない］を選択すると、余白が出ることがあります。

フィルタ

写真に加える特殊効果をセピア / モノクロから選択

自動画質補正 / 補正モード

写真画質の補正方法を選択

設定	内容
オートフォト ファイン !EX	写真データに合わせて最適な補正をして印刷します。エプソンお勧めの写真品質です。
P.I.M.	PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）機能搭載のデジタルカメラで撮影したときに、写真データに付加されるプリント指示情報を基に補正して印刷します。
なし	補正せずに印刷します。

［オートフォトファイン !EX］選択時は補正モードも選択

標準（自動）

人物

風景

夜景

明るさ調整 / コントラスト / シャープネス / 鮮やかさ調整

写真の色調を調整

設定	内容
明るさ調整	明るさを調整します。
コントラスト	明るい部分と暗い部分の差を調整します。
シャープネス	画像の輪郭を調整します。
鮮やかさ調整	鮮やかさを調整します。

双方向印刷

双方向印刷をする / しないを選択

［しない］を選択すると、印刷速度は遅くなりますが、印刷品質が向上します。

通常は［する］の設定のままお使いください。

日付表示

撮影日を印刷する / しないを選択

設定	印刷例
しない	–
年 / 月 / 日（する）	2007.10.21
月 / 日 / 年（する）	Oct.21.2007
日 / 月 / 年（する）	21.Oct.2007

※ パソコンで保存し直した（Exif の情報が削除された）データは保存日で印刷されます。
※ 一部のレイアウトでは日付が印刷されません。
※ 20 面では、自動的に日付が印刷されます。
※「スキャンしてメモリカードに保存」機能で保存されたデータでは、日付表示の設定は無効になります。

文字合成印刷

デジタルカメラの文字情報を印刷する / しないを選択

※ 用紙サイズによっては、文字（情報）が入りきらないことがあります。
※ 詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。対応カメラの情報は、エプソンのホームページをご覧ください。
< http://www.epson.jp >

撮影情報印刷（PM-T960 のみ）

撮影時の情報を印刷する / しないを選択
※ Exif 情報を基に、撮影時のシャッター速度 / 絞り数値 /ISO 感度を、写真の右下に印刷します。

CD 外径内径調整

12cm CD/DVD レーベルの印刷領域を調整

外径

内径

ワイドエリアタイプに印刷するときは、お使いの CD/DVD レーベルの印刷範囲内で内径を調整してください。

CD 濃度調整（CD/DVD 印刷時）

CD/DVD レーベルの印刷濃度を調整

トリミング

用紙サイズに合わせてトリミングする / しないを選択

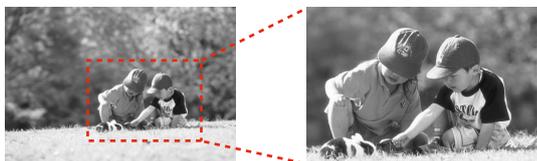
上下（または左右）が切り取られる

しない

左右（または上下）に余白ができる

※ パノラマ写真では設定が無効になることがあります。
※ フチなし / 上半分レイアウトでは、常にトリミングして印刷します。

ズームアップして印刷

写真をズームアップして印刷できます。

1 **メモリカード印刷の基本手順に従い、［選んで印刷］を選択します。**

☞ 34 ページ「メモリカード印刷の基本」-「操作」

2 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。**

☞ 36 ページ「印刷設定」

3 **印刷する写真を表示します。**

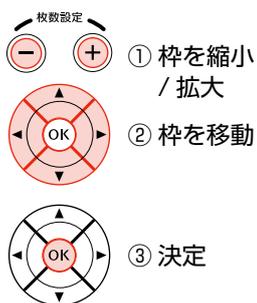
4 **【ズーム / 表示切替】ボタンを押します。**

ズーム枠が表示される

5 **ズームアップする範囲を設定します。**

① 枠を縮小 / 拡大

② 枠を移動

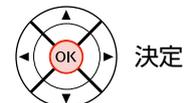
③ 決定

> **参考**
> - 【印刷設定】ボタンを押すと、枠を回転できます。

6 **ズーム範囲を決定します。**

設定し直すときは【戻る】ボタンを押してください。

決定

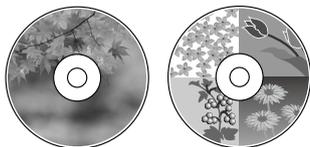
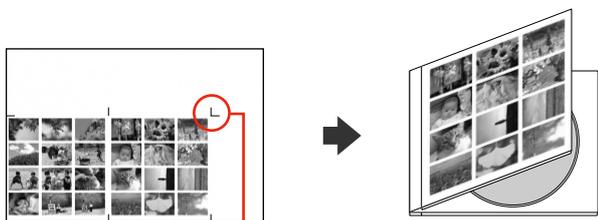
7 **印刷枚数を設定します。**

枚数設定

8 **複数の写真をズームアップして印刷するときは、手順 3 ～ 7 を繰り返します。**

9 **【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。**

以上で、操作は終了です。

CD/DVD レーベル印刷、ジャケット印刷

写真を CD/DVD レーベル面に印刷したり、CD ケース用のジャケットを作成できます。

ワイドエリアタイプ

切り取りガイド

1 **印刷用 CD/DVD（12cm）または印刷用紙（A4 サイズ）をセットします。**

☞ 16 ページ「CD/DVD のセット」
☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

2 **メモリカードをセットします。**

☞ 18 ページ「メモリカードのセット」

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **［CD/DVD 印刷］を選択します。**

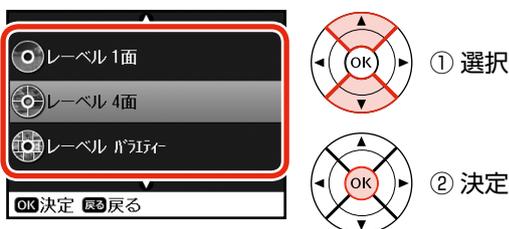
① 選択

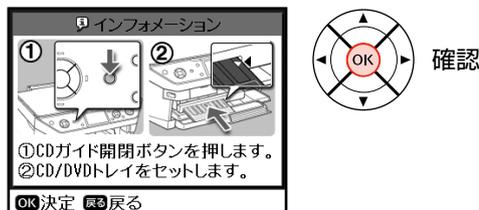
② 決定

5 **レイアウトを選択します。**

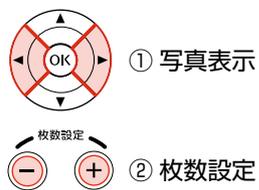
レーベル 1 面、レーベル 4 面、レーベル バラエティー、ジャケット CD ケース - 片面、ジャケット CD ケース -Index

① 選択

② 決定

6 **以下の画面が表示されたときは、画面のメッセージを確認します。**

確認

7 **印刷する写真を選択して、印刷枚数を設定します。**

① 写真表示

② 枚数設定

※ CD ケース -Index は、1 枚の用紙に写真を 24 個まで印刷できます（24 個未満のときは余白ができます）。
【ズーム / 表示切替】ボタンを何回か押して 16 面表示にすると、選びやすくなります。

8 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。**

☞ 36 ページ「印刷設定」

参考

- 内側ギリギリまで印刷できるワイドエリアタイプの CD/DVD に印刷するときは、［CD 外径内径調整］を設定してください。
  ☞ 39 ページ「CD 外径内径調整」
- 印刷用 CD/DVD の代わりに普通紙をセットして、印刷設定の用紙種類を［普通紙（お試し）］にすると、試し印刷ができます。

9 **【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。**

印刷が終了したら以下の操作をしてください。

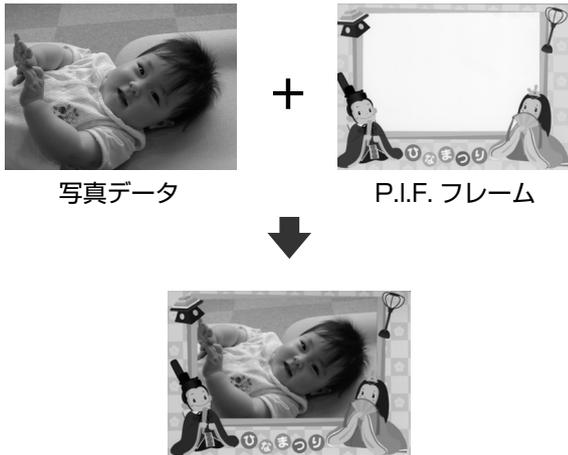
<レーベル印刷>
【ストップ / 設定クリア】ボタンを押して、CD/DVD を取り出してください。

<ジャケット印刷>
印刷した用紙の切り取りガイドに沿って、切り取ってください。

以上で、操作は終了です。

フレームを付けて印刷
< P.I.F. 印刷>

写真にフレーム（飾り枠）や年賀状 / カレンダーなどのレイアウト（書式）を重ね合わせて、楽しい印刷ができます。写真に重ね合わせるフレームやレイアウトデータを「P.I.F. フレーム」といいます。

写真データ　　　　P.I.F. フレーム

① P.I.F. フレームをダウンロード

P.I.F. フレームはエプソンのホームページからダウンロードします。

1 **パソコンで、エプソンのホームページの「PRINT Image Framer」ページにアクセスして、「MyEPSON」にログインします。**

< http://www.epson.jp/frame/ >

（2007 年 5 月現在の画面）

参考

- P.I.F. フレームは付属の『ソフトウェア CD-ROM』からも入手できます。
- 「MyEPSON」とは、おすすめ情報やサポート情報などをお届けする無料のパーソナルサイトです。

2 **お好きなフレームを選択してダウンロードします。**

印刷する用紙サイズに合ったフレームを選択してください。

② P.I.F. フレームをメモリカードに保存

付属のアプリケーションソフト「EPSON PRINT Image Framer Tool」を使って保存します。

1 **写真が保存されているメモリカードを本製品にセットします。**

☞ 18 ページ「メモリカードのセット」

2 **パソコンで「EPSON PRINT Image Framer Tool」を起動して、P.I.F. フレームをメモリカードに保存します。**

詳しくは、「EPSON PRINT Image Framer Tool」のヘルプをご覧ください。

< Windows での起動方法>
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON PRINT Image Framer］－［EPSON PRINT Image Framer Tool］の順にクリックします。

< Mac OS X での起動方法>
ハードディスク内の［アプリケーション］－［PRINT Image Framer Tool］－［PRINT Image Framer Tool］の順にダブルクリックします。

3 **保存が終了したら、一旦メモリカードを取り出します。**

③ P.I.F. フレームと写真を合成して印刷

1 **印刷用紙をセットします。**

P.I.F. フレームは L 判やハガキなど対応用紙サイズが決まっています。フレームに合った用紙をセットしてください。対応用紙サイズはダウンロード時にご確認ください。

2 **P.I.F. フレームと写真が保存されているメモリカードを本製品にセットします。**

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **［選んで印刷］を選択します。**

① 選択

② 決定

5 **【印刷設定】ボタンを押して、［用紙種類］と［用紙サイズ］を設定します。**

① 項目選択

② 設定値表示

③ 設定値選択

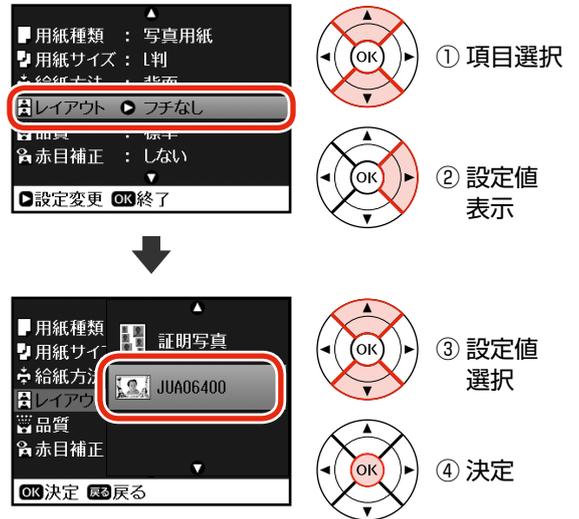
④ 決定

6 **［レイアウト］で P.I.F. フレームを選択します。**

① 項目選択

② 設定値表示

③ 設定値選択

④ 決定

7 **他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して設定を終了します。**

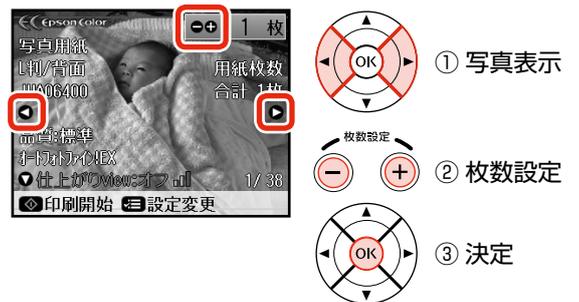
☞ 36 ページ「印刷設定」

8 **合成する写真を選択して、枚数を設定します。**

P.I.F. フレームに複数の合成枠があるときは、その枠数だけ写真を選択してください。

① 写真表示

② 枚数設定

③ 決定

9 **合成結果を確認し、【スタート】ボタンを押して印刷を開始します。**

以上で、操作は終了です。

> **参考**
>
> - メモリカードに関連付け P.I.F. *1 があると、メモリカードをセットしたときにメッセージが表示されます。撮影通りの合成写真を印刷するときは、【OK】ボタンで進み、印刷を開始してください。
>
>   ＊1：デジタルカメラで P.I.F. と合成して撮影した写真データや、特定の携帯電話の「飾りっプリ」で撮影 / 編集した写真データ

オーダーシート印刷

写真を一覧できるオーダーシートを印刷して、用紙サイズと印刷したい写真にマークを付けます。そのオーダーシートをスキャンすると、簡単に写真プリントができます。

①オーダーシートを印刷

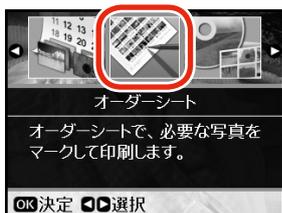
1 **A4 サイズの普通紙を前面用紙カセットにセットし、排紙トレイを開きます。**

☞ 15 ページ「前面用紙カセットへのセット」

2 **メモリカードをセットします。**

☞ 18 ページ「メモリカードのセット」

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **［オーダーシート］を選択します。**

① 選択

② 決定

5 **［オーダーシートを印刷］を選択して、範囲を選択します。**

オーダーシート 1 枚には最大 30 枚の写真が印刷されます。

6 **【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。**

！重 要

- オーダーシートを印刷した後「③オーダーシートをスキャンして写真プリント」の操作が終わるまで、メモリカードの内容を変更しないでください。

②オーダーシートにマークを付ける

HB などの濃い鉛筆か濃い色のペンを使って、オーダーシートにマークを付けます。

正しい記入例

悪い記入例

①用紙サイズを 1 種類選択
[フチなし]/[フチあり]の選択と[日付を入れる]の指定もできます。

②写真を選択
各写真の印刷枚数は 3 枚まで設定できます。[このシートのすべての画像を 1 枚ずつ印刷]の指定もできます。

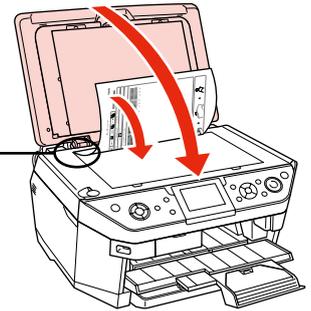
③ オーダーシートをスキャンして写真プリント

1 写真用紙を背面オートシートフィーダにセットします。

- マークを付けたサイズの用紙をセットしてください。
- セット可能な写真用紙は以下の通りです。
  写真用紙クリスピア<高光沢>
  写真用紙<光沢>
  写真用紙<絹目調>

☞ 14 ページ「背面オートシートフィーダへのセット」

2 オーダーシートを原稿台にセットします。

オーダーシートの▼マークを、原稿台の ⇘ マークに合わせる

3 [オーダーシートから写真プリント] を選択します。

4 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

オーダーシートにマークした写真が印刷されます。

以上で、操作は終了です。

その他の印刷方法

すべて印刷 / インデックスシート印刷

メモリカード内のすべての写真を一括して印刷できます。
また、インデックスシート印刷は一覧表として印刷できます。

1 【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。

2 ［すべて印刷］または［インデックスシート印刷］を選択します。

① 選択

② 決定

- ［すべて印刷］選択画面で【スタート】ボタンを押すと、以下の設定ですべての写真を印刷します。
  用紙種類　：写真用紙
  用紙サイズ：L 判
  給紙方法　：背面
  レイアウト：フチなし

3 ［すべて印刷］の場合は、印刷部数を設定します。

枚数設定

参考

- 【OK】ボタンを押すと、写真ごとに印刷枚数を設定できます。

4 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。

☞ 36 ページ「印刷設定」

5 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

日付選択印刷

特定の撮影日から写真を選んで印刷できます。
データをパソコンで保存し直したとき、表示される日付は保存日になることがあります。

1 【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。

2 ［日付選択印刷］を選択します。

① 選択

② 決定

3 日付を選択します。

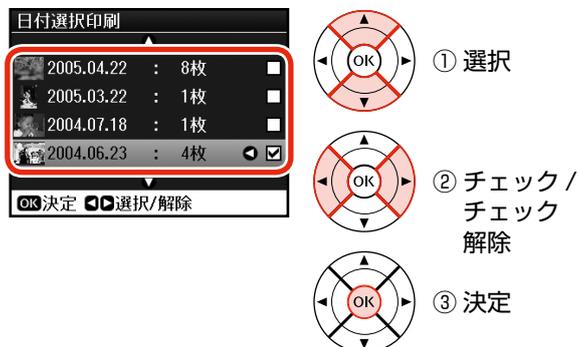
① 選択

② チェック / チェック解除

③ 決定

4 印刷部数を設定します。

枚数設定

参考

- 【OK】ボタンを押すと、写真ごとに印刷枚数を設定できます。

5 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。

☞ 36 ページ「印刷設定」

6 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

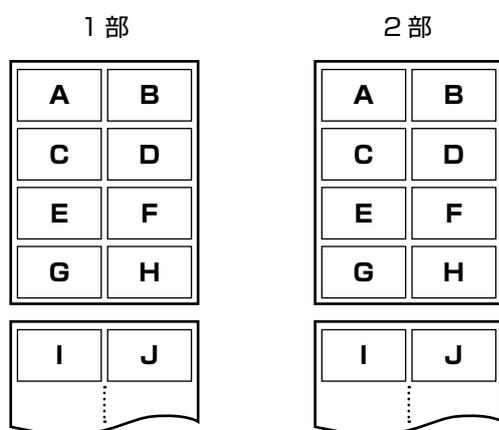
印刷結果の写真配置について

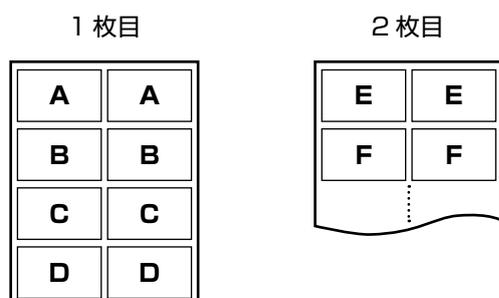
前ページ「すべて印刷 / インデックス印刷」手順 3、「日付選択印刷」手順 4 の［印刷部数設定］画面で印刷すると、下図のように印刷されます。

<例>
すべての写真を 2 部、8 面レイアウトで印刷

1 部　　2 部

A	B
C	D
E	F
G	H
I	J

A	B
C	D
E	F
G	H
I	J

ただし、写真選択画面へ移行して印刷したときや、［選んで印刷］から印刷したときは、下図のような順番で印刷されます。

1 枚目　　2 枚目

スライドショー

液晶ディスプレイに、メモリカード内の写真を順番に自動再生できます。メモリカードモードのメニューで［スライドショー］を選択してください。
【▽】か【△】ボタンで静止 / 再生できます。【OK】ボタンを押してスライドショーを静止すると、その写真を印刷できます。

DPOF 印刷

本製品は、デジタルカメラで画像を印刷するための情報（印刷する画像とその枚数の指定など）をメモリカードに記録する「DPOF（Digital Print Order Format）Ver.1.10」の印刷に対応しています。

1 デジタルカメラで、DPOF 印刷の指定をします。

以下の印刷タイプで、印刷する写真や枚数などを設定します。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- スタンダードプリント
- インデックスプリント
（コマ番号なしの 20 面などのレイアウトでカラー印刷）
- マルチイメージプリント

※ 印刷する写真や枚数以外の印刷設定は、手順 5 で設定します。

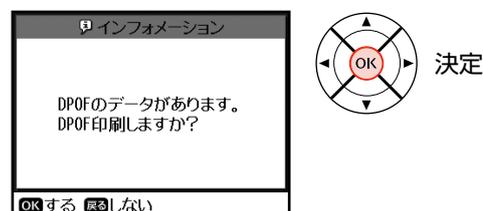
2 印刷用紙をセットします。

☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

3 DPOF 情報の入ったメモリカードをセットします。

☞ 18 ページ「メモリカードのセット」

4 表示された画面を確認して、【OK】ボタンを押します。

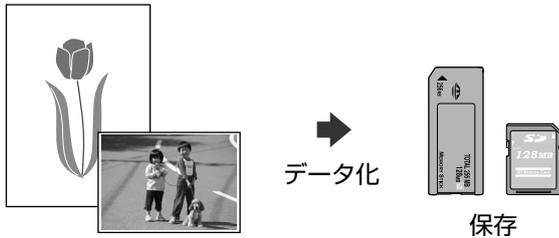
この画面が表示されないときは、DPOF 情報が入っていないため DPOF 印刷はできません。

5 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。

☞ 36 ページ「印刷設定」

6 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

スキャンしてメモリカードに保存

写真や雑誌などの印刷物をスキャンして、画像データとしてメモリカードに保存できます。

1 メモリカードをセットします。
☞ 18 ページ「メモリカードのセット」

2 原稿をセットします。
☞ 22 ページ「原稿のセット」

3 【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。

4 ［スキャンしてメモリカードに保存］を選択します。

① 選択

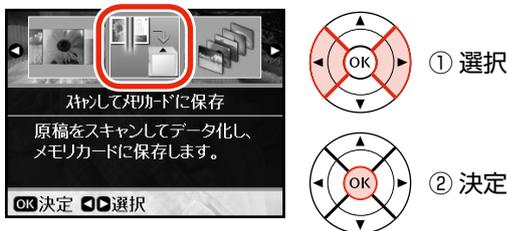
② 決定

5 スキャン設定をします。

① 項目選択

② 設定値表示

③ 設定値選択

④ 決定

設定	内容
保存形式	JPEG（写真などに適した形式）
	PDF（文書などに適した形式）
スキャン範囲	自動キリトリ 文字や画像のある部分のみスキャン
	最大範囲 原稿台の範囲をすべてスキャン
原稿タイプ	文字（文書など）
	写真（写真やイラストなど）
保存品位	速度優先
	画質優先

参考

- スキャン後のファイル容量は、以下を目安にしてください。なお、画像によって容量は大きく変わることがあります。

	L 判写真	A4 文書
速度優先	約 200KB	約 500KB
画質優先	約 400KB	約 800KB

6 【OK】ボタンを押して、スキャンを開始します。

スキャン後、メモリカードに保存されます。

参考

- 保存したデータを削除するときは、以下をご覧ください。
☞87 ページ「メモリカードのデータをバックアップ / 削除」

以上で、操作は終了です。

フィルムから写真プリント（PM-T960のみ）

この章では、フィルムから写真をプリントする方法について説明しています。

まずは基本操作を覚えよう !!

フィルム印刷の **基本**

準備　用紙セット、フィルムセット

操作　パネル設定

☞50 ページ

設定を変えてみよう !!

印刷設定
（レイアウト / 品質など）

☞52 ページ

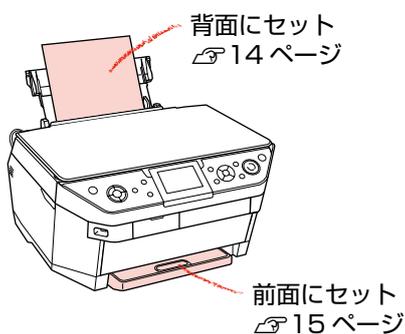
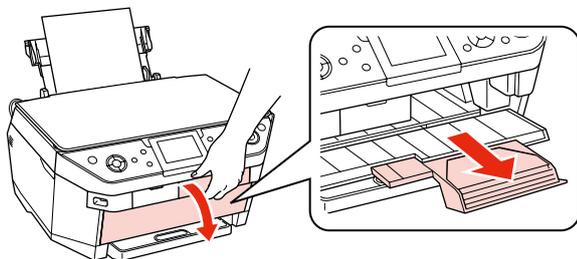
●こんなこともできます

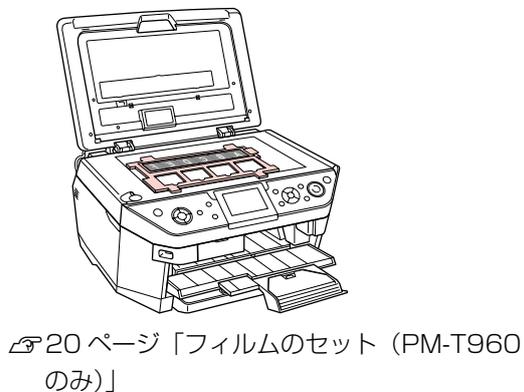
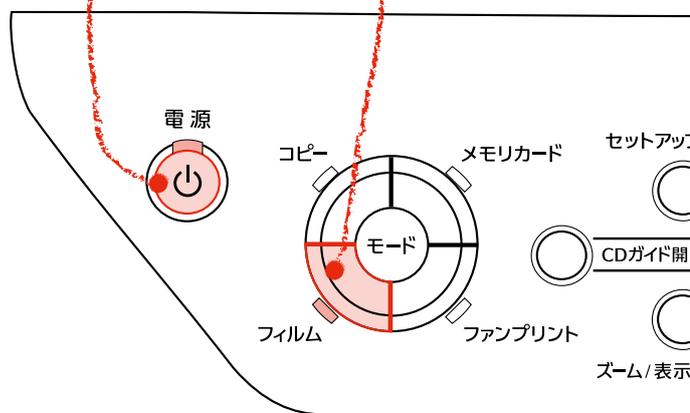
スキャンしてメモリカードに保存

☞54 ページ

フィルム印刷の基本

準備

1 印刷用紙を前面または背面にセット

2 排紙トレイを開いて引き出す

3 フィルムをセット

☞20 ページ「フィルムのセット（PM-T960のみ）」

操作

ド選択

5 印刷開始

カラーネガフィルム

カラー画像の濃淡が反転して記録されている一般的なフィルムです。原稿マットを取り外してください。

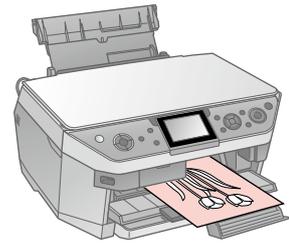
OK決定 ◀▶選択

枚数設定

スタート

ストップ/設定クリア

印刷設定

戻る

はじめの画面に戻る

写真選択

選んで印刷

スキャンした写真を選んで印刷します。

OK決定 ◀▶選択

⑤［選んで印刷］を選択

⑥ 決定

⑦ 写真表示

複数の写真を選ぶときは繰り返す

⑧ 枚数設定

［すべて印刷］を選択したときは 46 ページをご覧ください。

4 印刷設定（［印刷設定］ボタンで表示）

★［用紙種類］→［用紙サイズ］→［給紙方法（前面／背面）］の順で必ず設定

★ 用紙種類	写真用紙
★ 用紙サイズ	L判
★ 給紙方法	背面
レイアウト	フチなし
品質	標準
フチなし領域調整：	標準

▶設定変更 OK終了

EPSON クリスピア
写真用紙
写真用紙エントリー
フォトマット紙
普通紙

OK決定 戻る戻る

① 項目選択

② 設定値表示

③ 設定値選択

④ 決定

⑤ 設定終了

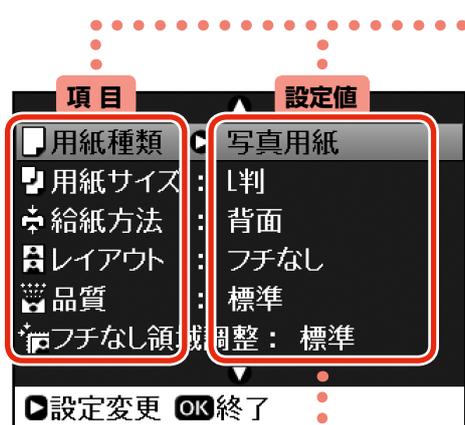
詳しくは ☞52 ページ「印刷設定」

フィルムから写真プリント

印刷設定

51 ページ手順 4 の印刷設定では、用紙の設定などができます。項目と設定値は右側をご覧ください。

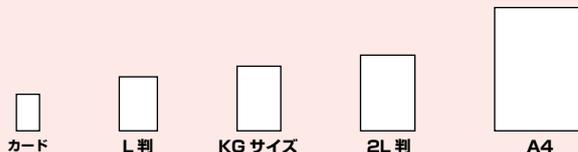
設定値の変更方法

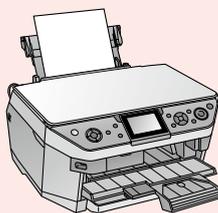
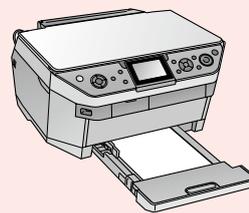
上図以外の項目や設定値は、【▽】か【△】ボタンで表示されます。

項目と設定値

用紙種類

セットした用紙	設定
写真用紙クリスピア<高光沢>	EPSON クリスピア
写真用紙<光沢>、写真用紙<絹目調>	写真用紙
写真用紙エントリー<光沢>	写真用紙エントリー
フォトマット紙	フォトマット紙
両面上質普通紙<再生紙>、事務用普通紙	普通紙

用紙サイズ

用紙種類に対応したサイズだけが表示されます。

給紙方法

用紙をセットした給紙装置を選択

※用紙種類や用紙サイズなど、組み合わせによっては設定できない項目もあります。

レイアウト

写真の配置方法を選択

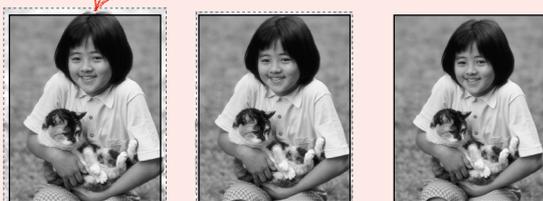
フチなし　フチあり

品質

印刷品質を選択

設定	品質	速度
きれい	高	遅
標準	低	速

フチなし領域調整

フチなし印刷の拡大率を選択

標準　少ない　より少ない

フチなし印刷は、余白をなくすために少し拡大して印刷します。[少ない]［より少ない］を選択すると、余白が出ることがあります。

自動露出レベル

露出（光を取り込む量）を調整

赤目補正

赤く撮影された目の色を補正

※ 画像によっては赤目以外の部分が補正されることがあります。

フィルタ

写真に加える特殊効果を選択

設定	内容
なし	特殊効果を加えません。
モノクロ	モノクロで印刷します。

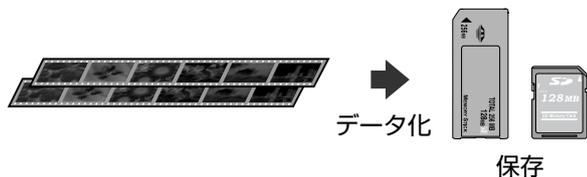
自動画質補正

写真画質の補正方法を選択

設定	内容
オートフォト ファイン !EX	写真データに合わせて最適な補正をして印刷します。エプソンお勧めの写真品質です。
なし	補正せずに印刷します。

スキャンしてメモリカードに保存

写真フィルムをスキャンして、画像データとしてメモリカードに保存できます。

1 メモリカードをセットします。

☞ 18 ページ「メモリカードのセット」

2 フィルムをセットします。

☞ 20 ページ「フィルムのセット（PM-T960 のみ）」

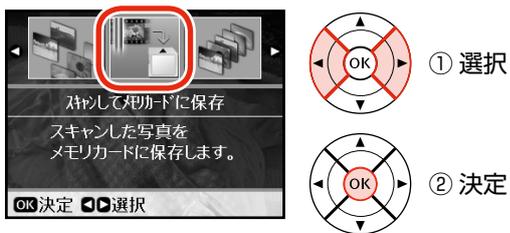
3 【フィルム】ボタンを押して、フィルムモードにします。

4 フィルムをスキャンします。

☞50 ページ「フィルム印刷の基本」-「操作」手順 3 - ①〜④

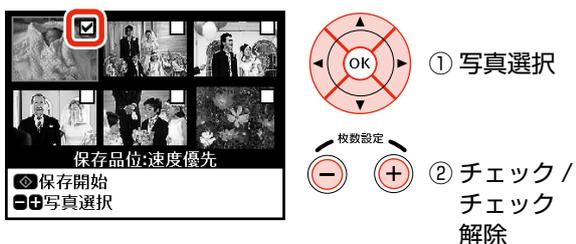
5 ［スキャンしてメモリカードに保存］を選択します。

① 選択

② 決定

6 保存する写真を選択します。

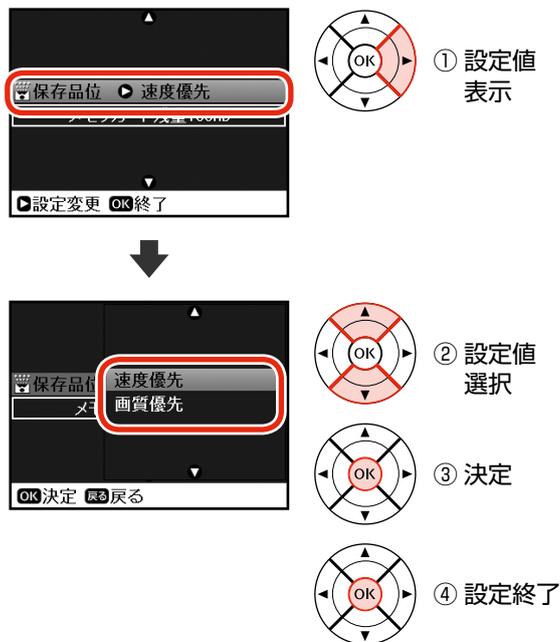
保存しない写真は、チェックを解除してください。

① 写真選択

② チェック / チェック解除

7 【印刷設定】ボタンを押して、［保存品位］を設定します。

① 設定値表示
② 設定値選択
③ 決定

④ 設定終了

参考

- スキャン後のファイル容量は、以下を目安にしてください。なお、画像によって容量は大きく変わることがあります。

例：カラーネガフィルムをスキャンしたとき

設定値	容量
速度優先	約 400KB
画質優先	約 1200KB

8 【スタート】ボタンを押して、保存を開始します。

参考

- 保存したデータを削除するときは、以下をご覧ください。
☞87 ページ「メモリカードのデータをバックアップ / 削除」

以上で、操作は終了です。

ファンプリント（おもしろ写真プリント）

この章では、ファンプリントモードの機能について説明しています。

手書きの文字などを合成して印刷＜手書き合成シート＞

☞56 ページ

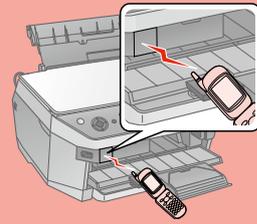
写真コピー

☞59 ページ

焼き増し

引き伸ばし

携帯電話から直接印刷、文字入力＜ケータイ印刷＞

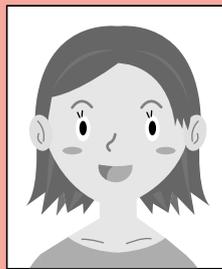
☞62 ページ

動画印刷

☞65 ページ

1 コマ

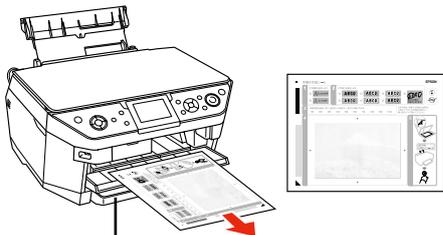
1 シーン（12 コマ）

ナチュラルフェイス印刷

☞67 ページ

手書きの文字などを合成して印刷 ＜手書き合成シート＞

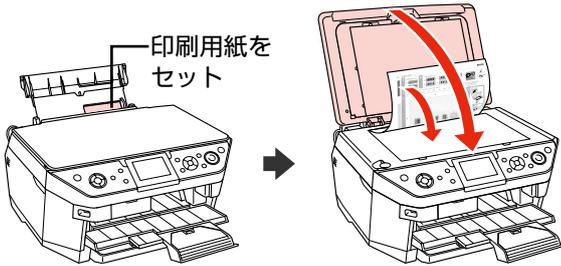
メモリカード内の写真に、手書きの文字やイラストを合成して印刷できます。

作業の流れ

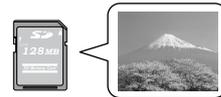
①手書き合成シートの作成（印刷）

A4 普通紙をセットして、手書き合成シートを印刷

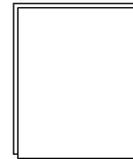
※シートを別途購入する必要はありません。

②手書き合成シートに記入

③合成シートをスキャンして合成写真プリント

楽しい合成写真プリントのできあがり！

用意するもの

- 合成したい写真の入ったメモリカード（1 枚）

- ペンなどの筆記用具
  ※ いろいろな色が使えますが、淡い色や金色などのペン、蛍光塗料を使ったペンなどは不向きです。

- A4 サイズの普通紙（手書き合成シート印刷用）

- 印刷用紙（手書き合成印刷で使用できる用紙）
  - L 判または KG サイズの写真用紙
  - ハガキ
  - フォトシール フリーカット
  - ミニフォトシール

①手書き合成シートを印刷

1 **A4 サイズの普通紙（手書き合成シート印刷用）を前面用紙カセットにセットし、排紙トレイを開きます。**

☞ 15 ページ「前面用紙カセットへのセット」

参考
- 用紙の両面に汚れ（異物）のないことをご確認ください。合成時に用紙の汚れが手書きデータとして認識されることがあります。

2 **メモリカードをセットします。**

☞ 18 ページ「メモリカードのセット」

3 **【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。**

4 ［手書き合成シート］を選択します。

① 選択

② 決定

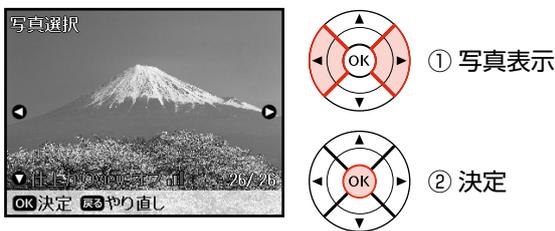
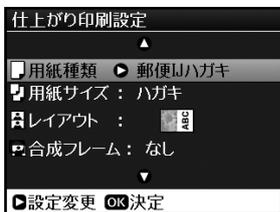
5 ［合成シート印刷］を選択します。

① 選択

② 決定

6 合成する写真を 1 枚だけ選択（表示）します。

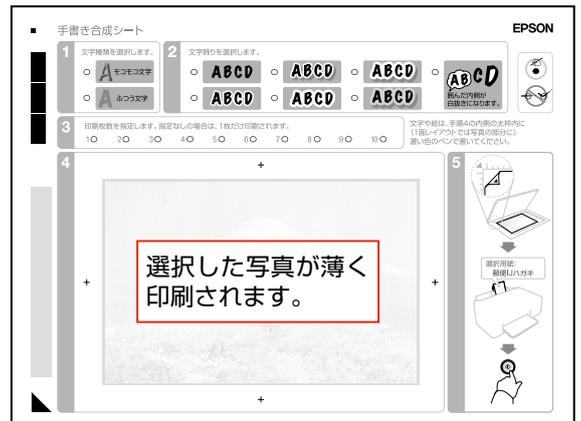
① 写真表示

② 決定

7 表示された画面を確認して【OK】ボタンを押し、合成写真をプリントする用紙と合成方法を、あらかじめ設定しておきます。

用紙種類 / 用紙サイズの設定によって、選択できるレイアウトやフレームの種類は異なります。下表①～④の順で設定してください。

①	用紙種類	合成写真をプリントする用紙の種類を選択
②	用紙サイズ	合成写真をプリントする用紙のサイズを選択
③	レイアウト	写真の配置方法を選択
④	合成フレーム	合成するフレームの種類（楕円 / 楕円ぼかし）を選択

8 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押して、画質補正などの設定をします。

☞ 38 ページ「項目と設定値（お好みで設定）」

9 【スタート】ボタンを押して、手書き合成シートを印刷します。

!重要

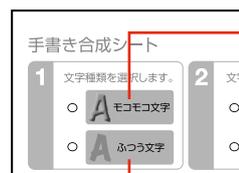
- 手書き合成シートを印刷した後は、合成写真プリントが終了するまで、メモリカードの内容を変更しないでください。

②手書き合成シートに記入

手書き合成シートにマークするときは、HB などの濃い鉛筆か濃い色のペンをお使いください。

正しい記入例 ●

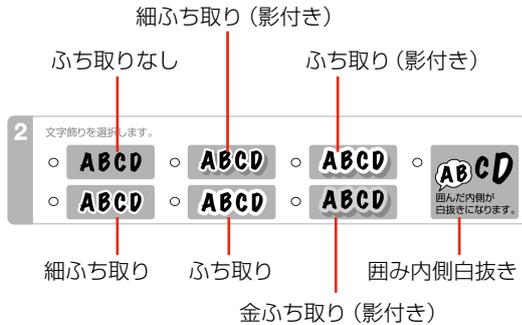
悪い記入例

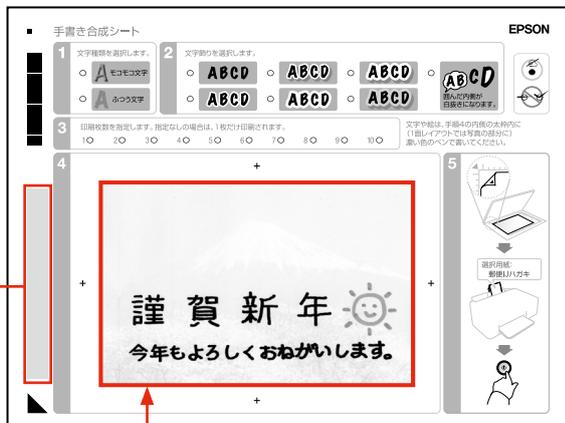
1 印刷された「手書き合成シート」上の手順 1 で、文字種類を選択（マーク）します。

手書きした文字や絵を立体的な質感（タッチ）で合成

手書きした文字や絵をそのままの質感（タッチ）で合成

つづく

ファンプリント（おもしろ写真プリント）

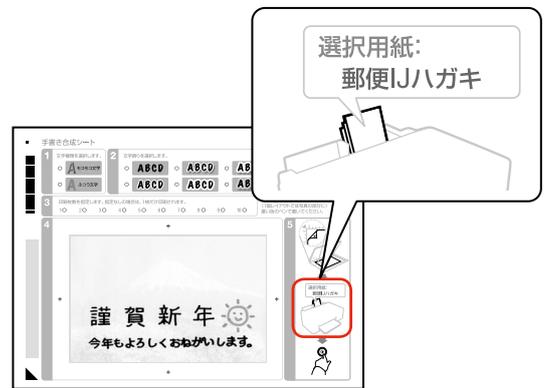
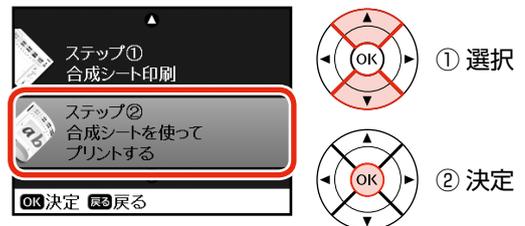
2 「手書き合成シート」上の手順２で、手書きの文字飾りを１つだけ選択（マーク）します。

3 「手書き合成シート」上の手順３で、印刷枚数を選択（マーク）します。

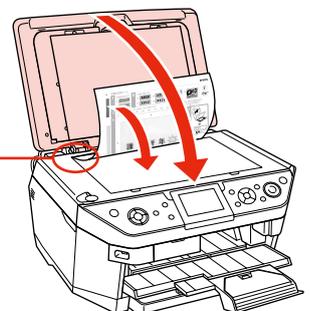
4 「手書き合成シート」上の手順４の手書きエリアに、文字や絵などを書きます。

手書きエリア
太枠の内側に、文字や絵を手書きしてください。
- モコモコ文字は、太いペン（2mm 以上）を使うとより効果的です。
- シールも貼れます。ただし、背景が白や淡い色のものは不向きです。

この部分を汚さないでください。

③ 合成シートをスキャンして合成写真プリント

1 印刷用紙を背面オートシートフィーダにセットします。

セットする用紙は、「手書き合成シート」上で確認できます。

2 ［合成シートを使ってプリントする］を選択します。

3 手書き合成シートを原稿台にセットします。

手書き文字を乾燥させてからセットしてください。

4 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

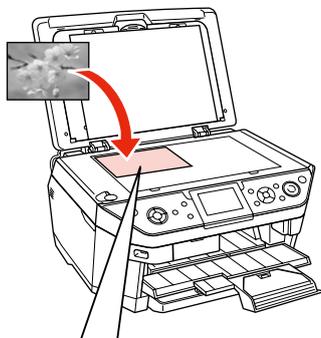
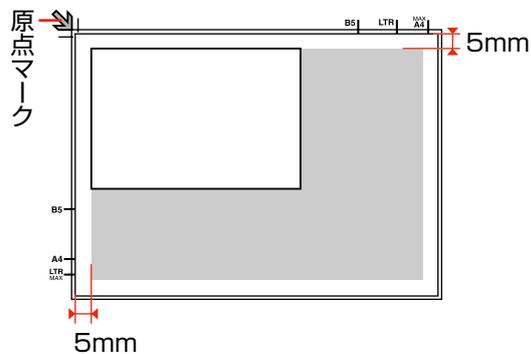
写真コピー

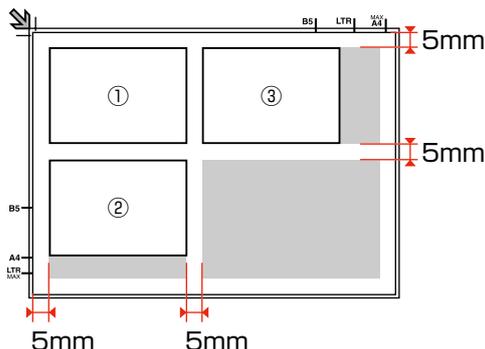
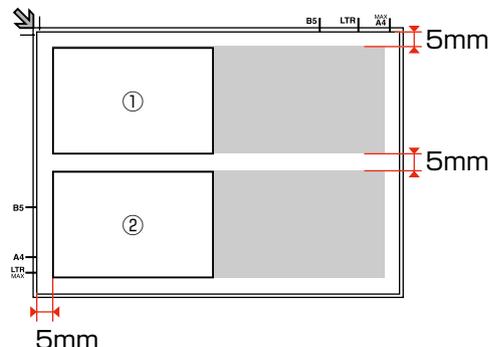
写真コピー（写真の焼き増し）

写真の焼き増し / 引き伸ばしが簡単にできます。また、L 判写真などを複数枚同時にコピーすることもできます。

1 **印刷用紙（写真用紙またはフォトマット紙）をセットします。**

☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

2 **写真原稿をセットします。**

写真原稿はスキャンする面を下にして、図のようにセットしてください。

複数枚同時にコピーするときは、下図①②③の位置に、①→②→③の順で傾かないようにセットしてください。

＜ L 判 /E 判サイズ（3 枚まで）＞

＜ KG サイズ（2 枚まで）＞

※ 2L 判サイズは、1 枚だけセットしてください。
※ うまくコピーできないときは、1 枚ずつセットしてください。

参考

- スキャンできる原稿のサイズは、最小で 30 × 40mm、最大で 127 × 178mm（2L 判）までです。
- 余白（フチ）のある写真や、周囲に白い部分のある写真は、原稿が認識されないことがあります。

3 **【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。**

4 **［写真コピー］を選択します。**

① 選択

② 決定

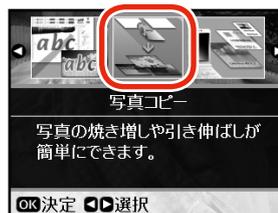
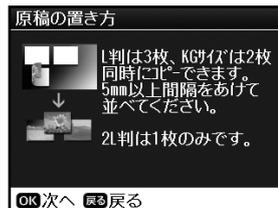
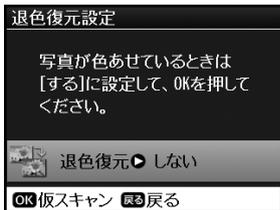
5 **画面のメッセージを確認します。**

確認

つづく

6 仮スキャンを開始します。

開始

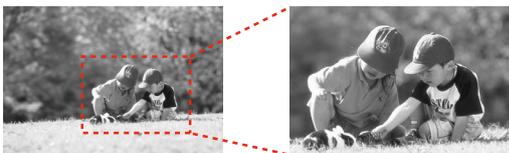
参考

- 写真原稿が色あせているときは、［退色復元］を［する］に設定すると、色合いを復元してコピーできます。

7 写真ごとに焼き増し枚数を設定します。

① 写真表示

② 枚数設定

参考

- 【ズーム / 表示切替】ボタンを押すと、写真の一部をズームアップして印刷できます。ただし、ズーム枠の向きは変更（回転）できません。
  ☞40 ページ「ズームアップして印刷」

8 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。

☞ 36 ページ「印刷設定」

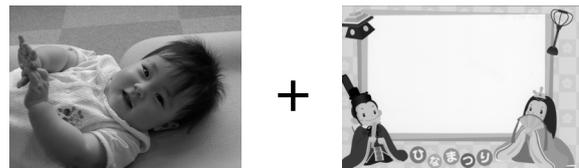
9 【スタート】ボタンを押して、コピーを開始します。

以上で、操作は終了です。

P.I.F. フレームを付けて写真コピー

あらかじめ用意した P.I.F.（ピフ）フレームを写真に重ね合わせて（合成して）焼き増しします。

写真原稿

＋

P.I.F. フレーム

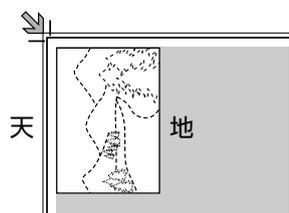
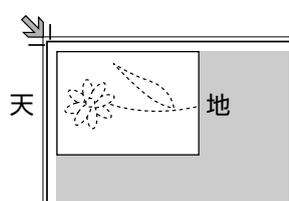
1 P.I.F. フレームを準備して、メモリカードに保存します。

☞ 42 ページ「① P.I.F. フレームをダウンロード」～「② P.I.F. フレームをメモリカードに保存」

2 印刷用紙をセットします。

☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」
P.I.F. フレームは L 判やハガキ用など対応用紙サイズが決まっています。フレームに合った用紙をセットしてください。対応用紙サイズはダウンロード時にご確認ください。

3 写真原稿をセットします。

1 枚だけセットしてください。

参考

- 原稿のサイズは 2L 判まで可能です。A4/ 六つ切り / ハイビジョンサイズの原稿には対応していません。

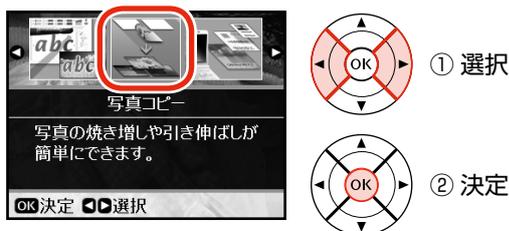
4 P.I.F. フレームが保存されているメモリカードをセットします。

☞ 18 ページ「メモリカードのセット」

5 【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。

6 ［写真コピー］を選択します。

① 選択

② 決定

7 「原稿の置き方」の画面で、【OK】ボタンを押します。

実際の原稿の置き方は、手順 3 をご覧ください。

8 仮スキャンを開始します。

開始

参考

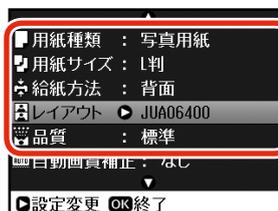
- 写真原稿が色あせているときは、［退色復元］を［する］に設定すると、色合いを復元してコピーできます。

9 正しい向きでスキャンされていることを確認します。

参考

- 【ズーム / 表示切替】ボタンを押すと、写真の一部をズームアップして印刷できます。ただし、ズーム枠の向きは変更（回転）できません。
☞40 ページ「ズームアップして印刷」

10 【印刷設定】ボタンを押して、［用紙種類］、［用紙サイズ］、［レイアウト］を設定します。

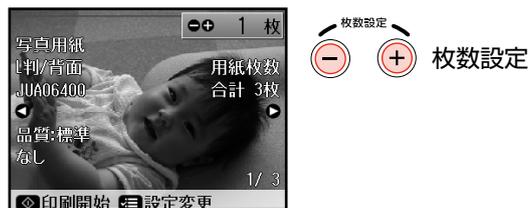
用紙種類 / 用紙サイズ：P.I.F. フレームに合わせる
レイアウト　　　　　：使用する P.I.F. フレーム

11 他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して設定を終了します。

☞ 36 ページ「印刷設定」

参考

- フチなしの P.I.F. フレームを使用するときでも、［フチなし領域調整］の設定は反映されません。

12 焼き増し枚数を設定します。

枚数設定

13 【スタート】ボタンを押して、コピーを開始します。

以上で、操作は終了です。

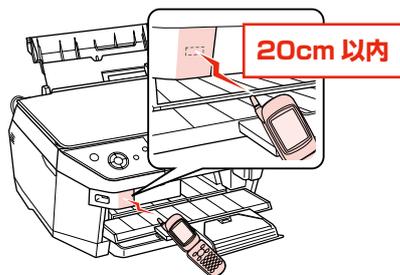
携帯電話から直接印刷、文字入力＜ケータイ印刷＞

赤外線通信機能（IrDA）または Bluetooth 通信で、携帯電話やデジタルカメラ*1 の写真やテキスト（文字）をワイヤレスで印刷できます。

＊ 1：アドレス帳 / メモ / 写真などのデータを赤外線で送信できる機能が付いた携帯電話またはデジタルカメラ。

印刷可能な携帯電話またはデジタルカメラの情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
＜ http://www.epson.jp ＞

赤外線送信方法

携帯電話の赤外線ポートを、本製品の赤外線ポートに向けて（20 cm 以内に近付けて）送信してください。

Bluetooth での送信方法は以下をご覧ください。
☞84 ページ「Bluetooth でワイヤレス印刷」

参考

- 携帯電話の操作方法は、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の直下などでは、正常に受信できないことがあります。
- 画像データの送信時は、印刷中のデータを含め、最大 10 件まで印刷予約できます。ただし、データ容量の合計は最大 3MB までです。
- 電話帳全件送信では、テキストデータのみの場合、最大 1000 件の電話帳を印刷できます。ただし画像データがある場合は、件数が少なくなります。
- 電話帳全件送信の際、携帯電話の機種によっては、暗証番号以外に「認証パスワード」を求められることがあります。本製品で設定した [IrDA/BT パスキー設定] の値（4 桁の数字）を入力してください。この設定をしていないときは、初期値の [0000] です。
☞84 ページ「Bluetooth でワイヤレス印刷」
- 各データの文字数によっては、印刷エリアに収まらず、印刷が途切れたりレイアウトが崩れたりすることがあります。データの文字数を調整してください。

ケータイ印刷でできること

ハガキ（写真）、ハガキ（宛名面）印刷

携帯電話の写真に文字を入れて印刷したり、電話帳（vCard）の住所データから宛名面を印刷したりできます。

印刷メニュー：[ハガキ]

写真 / シール印刷

携帯電話の写真を印刷できます。
（適切な用紙サイズ：
カード /L 判 / ハガキサイズ*1）

印刷メニュー：[写真] / [シール]

写真文字合成印刷

携帯電話の写真に文字を合成して印刷できます。
（適切な用紙サイズ：
カード /L 判*1）

印刷メニュー：[写真文字合成]

名刺印刷

電話帳（vCard）のデータから名刺を印刷できます。
電話帳に写真が登録されていると、写真も印刷されます。

印刷メニュー：[名刺]

データ印刷

メール（vMessage）、スケジュール /ToDo リスト（vCalender）、メモ（vNote）、電話帳一覧（vCard）や XHTML などを、送信したデータに合わせたレイアウトで印刷できます。

印刷メニュー：[データ]

＊ 1：携帯電話で撮影した写真は画質が粗いため、小さい用紙に印刷することをお勧めします。

※ お使いの携帯電話によって、印刷できるデータやメニュー名称などは異なります。

印刷方法

1 【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。

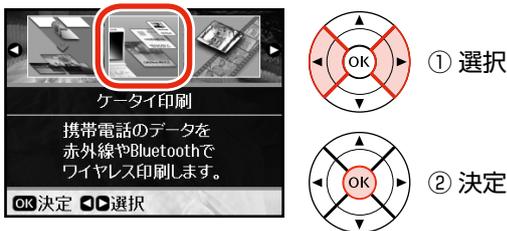
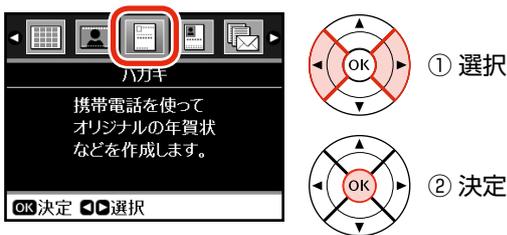
2 ［ケータイ印刷］を選択します。

① 選択

② 決定

3 印刷メニューを選択します。

① 選択

② 決定

この後の手順は、メニューごとに異なります。

メニュー		印刷手順
写真		☞64 ページ「写真 / シール」
シール		
写真文字合成		☞63 ページ「ハガキ（写真）/ 写真文字合成」
ハガキ	宛名面	☞64 ページ「ハガキ（宛名面）」
	横	☞63 ページ「ハガキ（写真）/ 写真文字合成」
	縦	
名刺		☞64 ページ「名刺」
データ		☞64 ページ「データ」

ハガキ（写真）/ 写真文字合成

1 印刷用紙をセットします。

☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

2 レイアウトを選択します。

① 選択

② 決定

3 携帯電話から画像データを送信します。

写真を確認して【OK】ボタンを押します。

4 携帯電話から文字データ（メモ機能などで入力）を送信します。

入力しないときは【▷】ボタンを押してください。

5 【＋】か【−】ボタンで印刷枚数を設定し、【印刷設定】ボタンを押して印刷設定をします。

合成する文字色の変更や画像の回転ができます。

項目	設定値
テキスト 1 の文字色	黒 / 赤 / 青 / 黄色 / 水色 / ピンク / オレンジ / 紫 / 白
テキスト 2 の文字色	
画像回転	なし / 右に 90 度 / 左に 90 度 / 180 度

☞ 36 ページ「印刷設定」

6 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

ハガキ（宛名面）

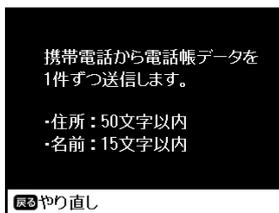
携帯電話の電話帳（vCard）からハガキの宛名面を印刷します。郵便番号欄に郵便番号は印刷できません。

1 ［ハガキ宛名面］を選択します。

① 選択

② 決定

2 携帯電話から電話帳の住所データを 1 件ずつ送信します。

必要な宛名の件数分、データを送信します。

3 すべてのデータ受信が完了したら、【OK】ボタンを押します。

完了

4 受信した宛先を一覧印刷して、内容を確認します。

A4 サイズの普通紙を前面用紙カセットにセットし、【スタート】ボタン押して印刷を開始してください。

☞ 15 ページ「前面用紙カセットへのセット」

5 宛名面を印刷します。

ハガキを背面オートシートフィーダにセットし、【スタート】ボタン押して印刷を開始してください。

☞ 14 ページ「背面オートシートフィーダへのセット」

写真 / シール

1 印刷用紙をセットします。

☞ 14 ページ「背面オートシートフィーダへのセット」

2 携帯電話から画像データを送信します。

3 【+】か【-】ボタンで印刷枚数を設定し、【印刷設定】ボタンを押して印刷設定をします。

☞ 36 ページ「印刷設定」

4 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

名刺

1 印刷用紙をセットします。

☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

2 【▷】か【◁】ボタンでレイアウトを選択して、【OK】ボタンを押します。

3 【+】か【-】ボタンで印刷枚数を設定し、【印刷設定】ボタンを押して印刷設定をします。

☞ 36 ページ「印刷設定」

4 携帯電話から電話帳のデータを送信します。

受信が完了すると印刷が始まります。

データ

1 印刷用紙をセットします。

☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

2 【OK】ボタンを押してから、【印刷設定】ボタンを押して印刷設定をします。

☞ 36 ページ「印刷設定」

3 携帯電話からデータを送信します。

受信が完了すると印刷が始まります。

以上で、操作は終了です。

動画印刷

メモリカード内の動画データから気に入ったシーンを切り出して印刷できます。

1 コマ印刷

連続印刷

使用できる動画データは、以下をご覧ください。
☞113 ページ「対応動画ファイル形式」

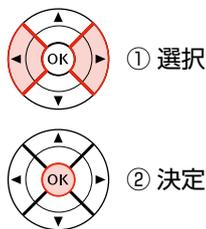
1 印刷用紙をセットします。
☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

2 メモリカードをセットします。
☞ 18 ページ「メモリカードのセット」

3 【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。

4 ［動画印刷］を選択します。

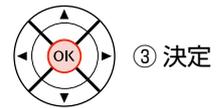
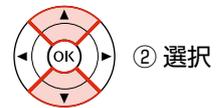
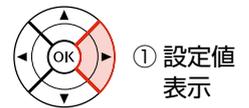
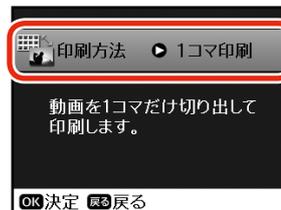
① 選択

② 決定

5 印刷方法を［1 コマ印刷］または［連続印刷］に設定します。

① 設定値表示

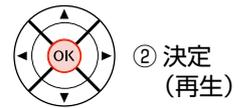
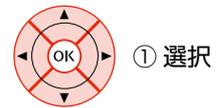
② 選択

③ 決定

④ 設定終了

6 印刷する動画を選択して、再生します。

① 選択

② 決定（再生）

つづく

7 印刷するシーンを選択します。

＜１コマ印刷＞

① 一時停止

② コマ送り / コマ戻しをして選択

③ 決定

＜連続印刷＞

※ 開始から終了までの時間が短いと、12 コマ中に同じ画像が複数表示されることがあります。

① 一時停止

② コマ送り / コマ戻しをして選択

③ 始まりを決定

④ 終わりを決定

参考

- 動画再生中に【▷】か【◁】ボタンを押すと、早送りまたは早戻しができます。ボタンを押すごとに、２倍速→４倍速→８倍速→１倍速になります。
- 【印刷設定】ボタンを押すと、動画全体を ４ つのチャプター（章）に区切って表示できます。

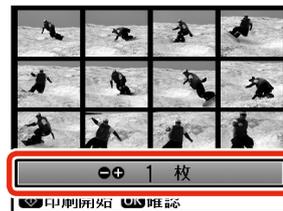
① 【▷】か【◁】ボタンで再生を開始するチャプターを選択
② 【OK】ボタンで再生画面を表示

- メモリカードのデータ転送速度や動画データによっては、滑らかに再生できないことがあります。

8 印刷枚数を設定します。

＜１コマ印刷＞

枚数設定

＜連続印刷＞

枚数設定

9 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。

☞ 36 ページ「印刷設定」

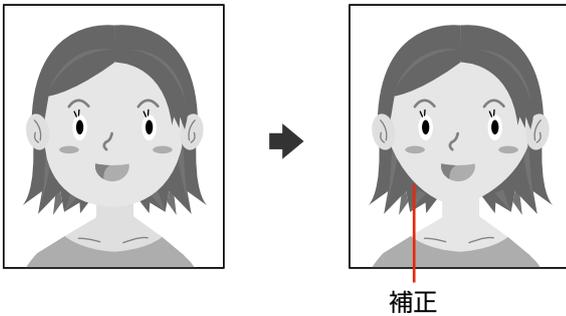
参考

- １コマ印刷で［動画補正処理］を［する］に設定すると、画像をくっきりさせ、ノイズを低減して印刷できます。

10 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

ナチュラルフェイス印刷

人物写真に小顔補正や美白補正の効果を加えて印刷します。

次のような写真を選択すると効果を確認しやすくなります。

- 1～3人で同一方向(正面)を向いているもの
- 顔と顔が近すぎないもの（顔が複数ある場合）
- 顔が大きすぎないもの（顔全体が写真に納まっているもの）
- 顔が小さすぎないもの
- サングラスや帽子などで顔の一部が隠れていないもの

補正値を直接設定して印刷

画面上で効果を確認しながら印刷します。

1 印刷用紙をセットします。

☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

- ハイビジョン / 名刺サイズでは、効果が出ないことがあります。

2 メモリカードをセットします。

☞ 18 ページ「メモリカードのセット」

3 【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。

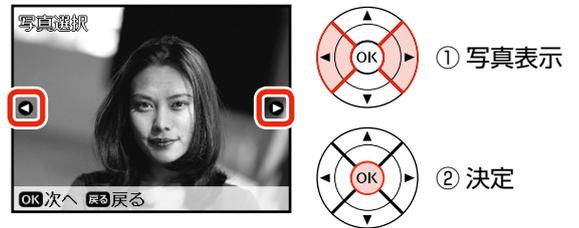
4 ［ナチュラルフェイス］を選択します。

① 選択

② 決定

5 印刷する写真を 1 枚だけ選択します。

① 写真表示

② 決定

6 ［小顔と美白補正を直接設定する］の補正値を変更します。

小顔補正：なし / 弱 / 強
美白補正：なし / 弱 / 強

① 設定値表示

② 選択

③ 設定値決定

④ 決定

7 表示された画面を確認して【OK】ボタンを押します。

8 「仕上がり view」機能で、補正効果を確認します。

効果確認

【▽】ボタンを繰り返し押すことで、補正前と補正後を比べることができます。
補正の値を変更したいときは、【戻る】ボタンを押して手順 6 に戻ります。

つづく

9 【+】か【−】ボタンで印刷枚数を設定し、【印刷設定】ボタンを押して印刷設定をします

☞ 36 ページ「印刷設定」

10 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

フェイスシートを使って印刷

A4 用紙（普通紙または写真用紙）に小顔と美白補正の組み合わせをすべて印刷し、お好みの写真を選んで印刷します。シートを別途購入する必要はありません。

1 A4 サイズの用紙をセットします。

普通紙か写真用紙をセットしてください。
☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

2 前ページの「補正値を直接設定して印刷する」手順 2 〜 5 と同様の手順で、写真選択まで行います。

3 【▽】か【△】ボタンで［フェイスシートで補正効果を確認する］を選択して、【OK】ボタンを押します。

4 効果を確認する範囲（顔）を設定します。

参考

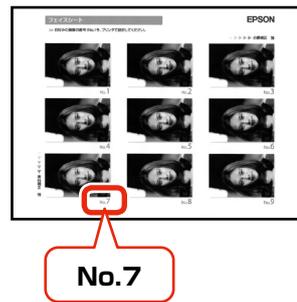
- 【印刷設定】ボタンで枠を回転できます。

5 ズーム確認画面で画面を確認し、【OK】ボタンを押します。

6 【印刷設定】ボタンを押して、フェイスシートの用紙種類と給紙方法を設定します。

☞ 36 ページ「印刷設定」

7 【スタート】ボタンを押して、フェイスシートを印刷します。

8 フェイスシートを見て、お好みの画像の番号（No.）を選択します。

No	小顔	美白
1	なし	なし
2	弱	なし
3	強	なし
4	なし	弱
5	弱	弱
6	強	弱
7	なし	強
8	弱	強
9	強	強

9 印刷用紙をセットします。

☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

参考

- ハイビジョン / 名刺サイズでは、効果が出ないことがあります。

10 手順 8 で選択した画像の番号と、印刷枚数を設定します。

11 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。

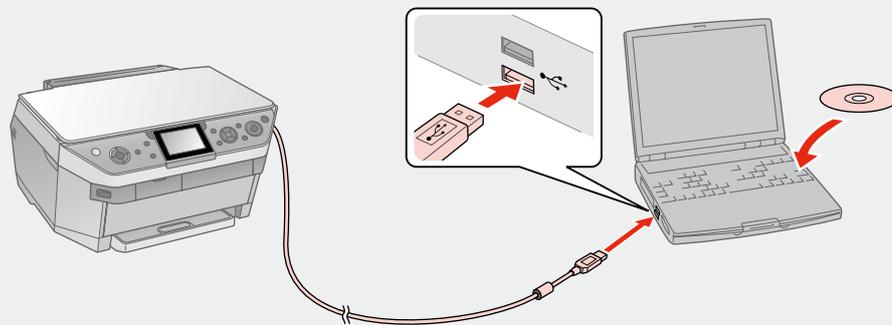
☞ 36 ページ「印刷設定」

12 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

パソコンとつないで使う / もっと活用する

この章では、パソコンとつないで使用する方法について説明しています。

パソコンとつないで使用するには、本製品とパソコンを接続して、付属のソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは『準備ガイド』（紙マニュアル）の裏面をご覧ください。
PM-T960 をネットワークに接続するときは、『ネットワーク設定ガイド』をご覧ください。

※ パソコンと接続して使用するときは、操作パネルでの設定は必要ありません（どのモードになっていてもかまいません）。

電子マニュアルのご案内

パソコンから印刷 / スキャンする方法や、もっと楽しく活用する方法は、付属の『活用 + サポートガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。
『活用 + サポートガイド』（電子マニュアル）はパソコンの画面で見るマニュアルです。

プリント編

目的別の印刷方法

- 基本的な印刷方法
- 写真
- ホームページ
- CD / DVDレーベル
- 用紙別の印刷方法

※「メモリカードドライブとしての使い方」も記載されています。

スキャン編

目的別のスキャン方法

- プリント写真
- フィルム
- 雑誌 / 報告書
- イラスト / 小物
- 便利なスキャン方法

ソフトウェア編

添付アプリケーションソフト情報

活用＋サポートガイドの表示方法

デスクトップ上の［活用 + サポートガイド］アイコンをダブルクリックしてください。

EPSON PM-T960 活用 +ｻﾎﾟｰﾄｶﾞｲﾄﾞ　←ダブルクリック

参考

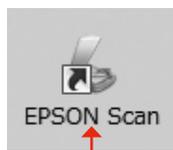
- ソフトウェアと同時にパソコンにインストールされます。CD-ROM を毎回セットする必要はありません。
- Microsoft Internet Explorer（Version 5.0 以上）などのブラウザでご覧ください。また、PDF データをダウンロードすることもできます。ダウンロードサービスは、ホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp/guide/pcopy/ >

パソコンからスキャン

1 **原稿をセットします。**

☞ 22 ページ「原稿のセット」

2 **EPSON Scan（エプソン スキャン）を起動します。**

＜ Windows ＞
デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

＜ Mac OS X ＞
①ハードディスク内の②［アプリケーション］フォルダ ー③［EPSON Scan］の順にダブルクリックしてください。

3 **EPSON Scan で、[モード] を確認してスキャンを開始します。**

初めてスキャンするときは、［全自動モード］をお勧めします。
スキャン後、画像はフォルダに保存されます。

参考

- 簡単スキャン（全自動モード）で思い通りにスキャンできないときは、［ホームモード］や［プロフェッショナルモード］に切り替えて、詳細設定をお試しください。
- 保存場所やファイル名、ファイル形式などを設定するには［オプション］をクリックして表示される画面で、［保存ファイルの設定］をクリックしてください。

以上で、操作は終了です。

パソコンから印刷

文書の印刷

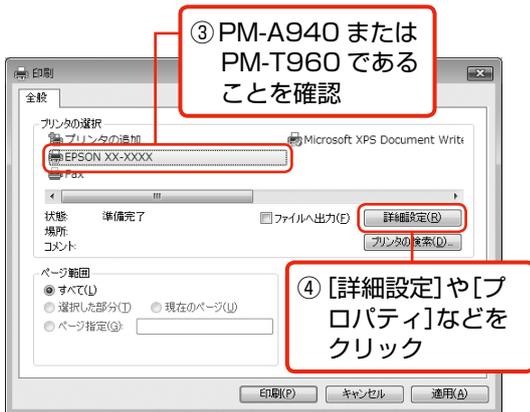
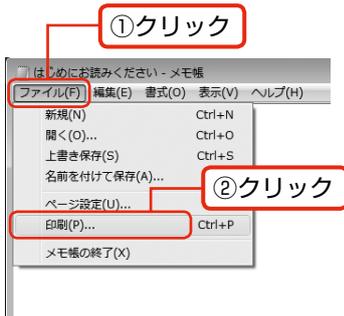
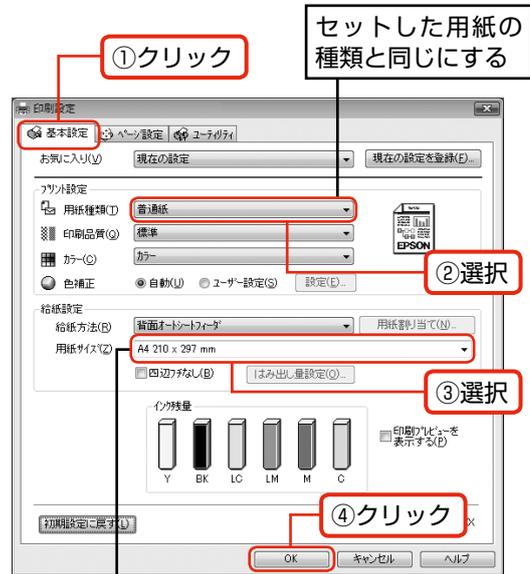
Windows

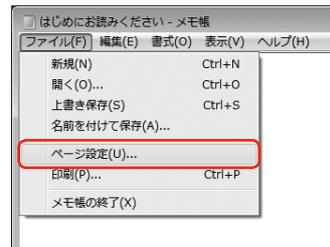
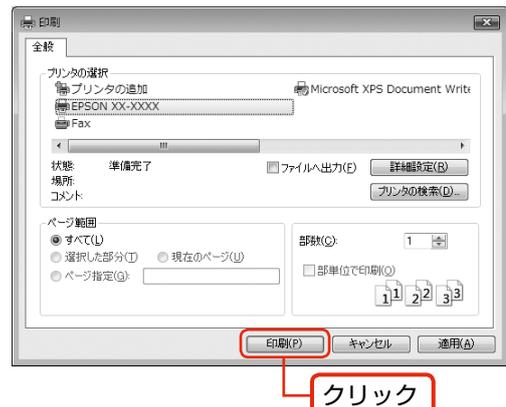
1 印刷用紙をセットします。

☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

2 お使いのアプリケーションソフトからプリンタドライバを表示します。

☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「プリンタドライバの画面を表示するには」

<例：Windows Vista、メモ帳の場合>

3 プリンタドライバで印刷の設定をします。

参考

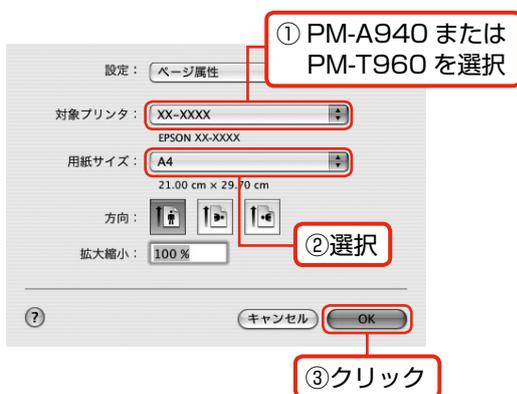
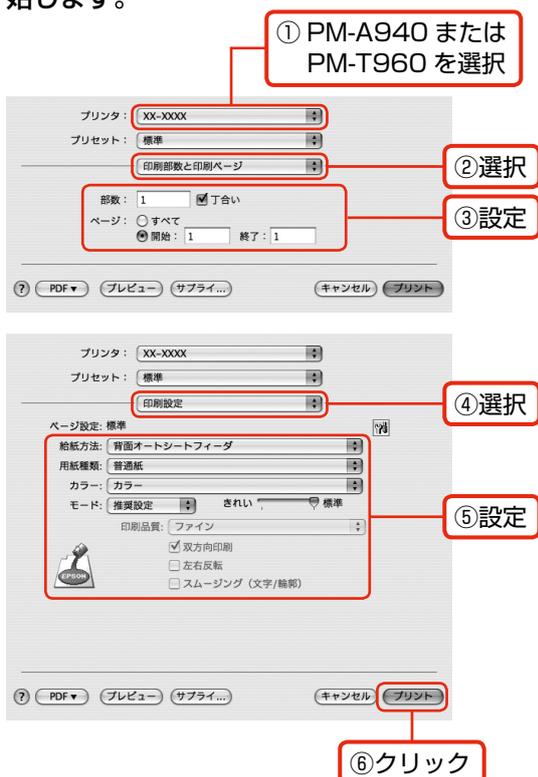
- アプリケーションソフトで作成したデータの用紙のサイズは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［ページ設定］などの項目で確認できます。

4 印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

Mac OS X

1 印刷用紙をセットします。

☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

2 お使いのアプリケーションソフトで印刷するデータを表示してから、プリンタドライバの［ページ設定］を設定します。

☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「プリンタドライバの画面を表示するには」

3 ［プリント］画面で印刷設定をして、印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

写真の印刷

写真の印刷は、付属のアプリケーションソフト『EPSON Easy Photo Print』におまかせ。フチなし印刷はもちろん、複数写真の割り付けや、写真フレームの合成など、簡単な操作でさまざまな印刷ができます。

1 **『EPSON File Manager』を起動します。**

デスクトップ上の［EPSON File Manager］アイコンをダブルクリックしてください。

2 **印刷する写真を選択します。**

3 **『EPSON Easy Photo Print』を起動します。**

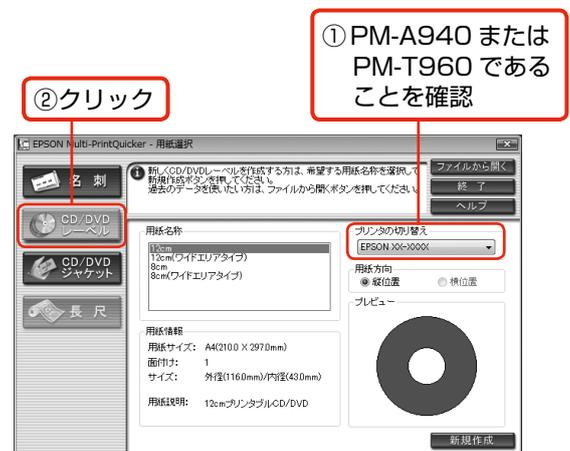
この後の操作やソフトウェアの詳しい使い方は、『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）およびアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

CD/DVD レーベルの作成と印刷

CD/DVD レーベルの作成と印刷は、付属のアプリケーションソフト『EPSON Multi-PrintQuicker』におまかせ。背景やイラストのテンプレート、文字のバリエーションが豊富なので、オリジナルのレーベルが簡単に作成できます。もちろん、写真を取り込んで印刷することもできます。

1 **『EPSON Multi-PrintQuicker』を起動します。**

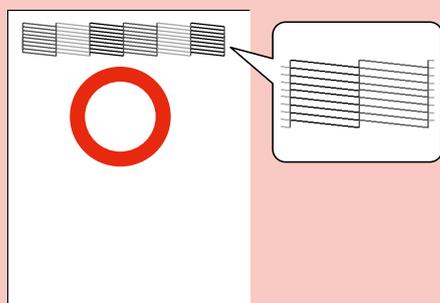
デスクトップ上の［EPSON Multi-PrintQuicker］アイコンをダブルクリックしてください。

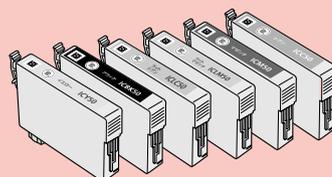
2 **プリンタを確認して、［CD/DVD レーベル］を選択します。**

- 『EPSON Multi-PrintQuicker』では、レーベル印刷のほか、CD/DVD ジャケット印刷や名刺 / カード印刷もできます。

この後の操作やソフトウェアの詳しい使い方は、『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）およびアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

メンテナンス / セットアップモード

この章では、メンテナンス方法とセットアップモードの機能について説明しています。

ノズルチェックとヘッドクリーニング

76 ページ

インクカートリッジの交換

80 ページ

きれいに印刷するコツ

ノズルチェックとヘッドクリーニング

印刷結果にスジが入ったり、おかしな色味で印刷されたりするときは、ノズルの状態をご確認ください。
☞ 巻末「プリントヘッドの目詰まりサンプル」
また、写真を印刷する前にも、ノズルチェックを行うことをお勧めします。

ノズルチェック（目詰まりの確認）

1 **A4サイズの普通紙を背面オートシートフィーダにセットします。**

☞ 14ページ「背面オートシートフィーダへのセット」

2 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

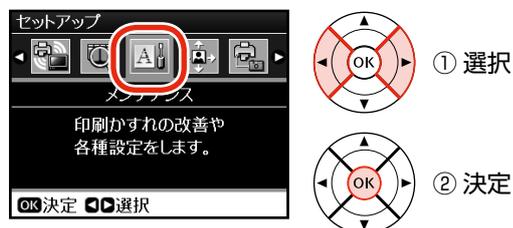
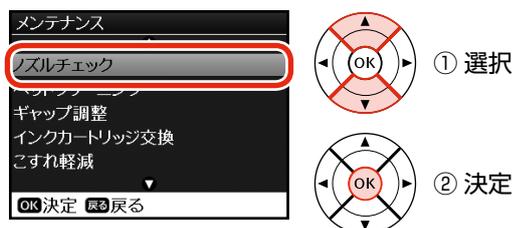
3 **［メンテナンス］を選択します。**

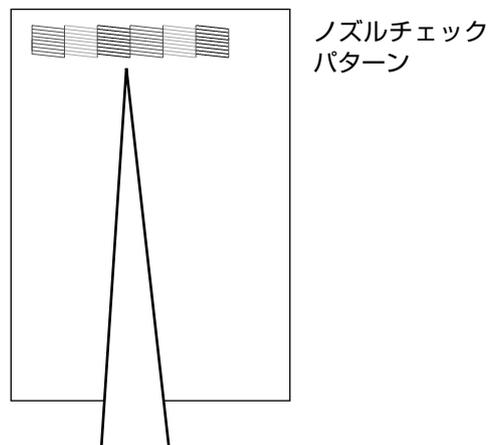
① 選択

② 決定

4 **［ノズルチェック］を選択します。**

① 選択

② 決定

5 **【スタート】ボタンを押して、ノズルチェックパターンを印刷します。**

6 **印刷したノズルチェックパターンを確認します。**

■印刷されないラインがある

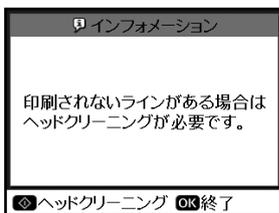
ノズルは目詰まりしています。
「ヘッドクリーニング」に進んでください。

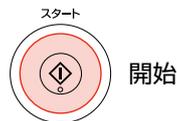
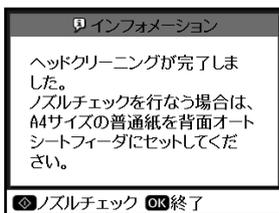
■すべてのラインが印刷されている

ノズルは目詰まりしていません。
【OK】ボタンを押して、ノズルチェックを終了してください。

ヘッドクリーニング

1 【スタート】ボタンを押して、ヘッドクリーニングを開始します。

開始

2 【スタート】ボタンを押して再度ノズルチェックパターンを印刷し、目詰まりが解消されたか確認します。

開始

ノズルチェックパターンのすべてのラインが印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。

参考

- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に４回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、電源をオフにして６時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。時間をおくことによって、目詰まりが解消し、正常に印刷できるようになることがあります。それでも改善されないときは、エプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
  ☞119 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- 前ページ手順 4 の画面で［ヘッドクリーニング］を選択すると、ノズルチェックを行わずにヘッドクリーニングができます。
- プリントヘッドを常に最適な状態に保つために、定期的に印刷することをお勧めします。
- 電源のオン / オフは、【電源】ボタンで行ってください。【電源】ボタンでオフにしないと、プリントヘッドが乾燥して目詰まりの原因になります。

以上で、操作は終了です。

Epson Color で印刷

Epson Color とはエプソンお勧めの写真品質です。
Epson Color で印刷するためには、以下の 3 つの条件が必要です。

①オートフォトファイン !EX
- 人物写真から顔を判別して肌色を中心に自動補正
- 風景写真もより鮮やかに補正

※データそのものは補正 / 加工されません。

3 つの力で Epson Color を実現 !!

②エプソン純正インク
耐オゾン性、耐光性に優れる「つよインク。」

③エプソン製写真用紙
豊富なラインナップと美しい仕上がり

① 自動画質補正の設定で［オートフォトファイン !EX］を選択
② エプソン純正インクを使用
③ Epson Color 対応用紙を使用し、用紙種類の設定で以下の通り選択

Epson Color 対応用紙	用紙種類の設定
写真用紙クリスピア＜高光沢＞	EPSON クリスピア
写真用紙＜光沢＞ 写真用紙＜絹目調＞ 写真用紙＜絹目調＞はがき	写真用紙
写真用紙エントリー＜光沢＞	写真用紙エントリー

参考
- Epson Color 印刷時には、下図のようなマークが表示されます。

- 被写体の配置が変わる操作（回転、拡大 / 縮小、トリミング、フチなし / フチありの設定変更など）を行うと、印刷結果の色合いが変わることがあります。

印刷こすれの軽減

印刷結果がこすれて汚れるときは、「こすれ軽減」機能をお試しください。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 【▷】か【◁】ボタンで［メンテナンス］を選択して、【OK】ボタンを押します。

3 【▽】か【△】ボタンで［こすれ軽減］を選択して、【OK】ボタンを押します。

4 【▽】か【△】ボタンで［する］を選択して、【OK】ボタンを押します。

次の印刷から調整結果が反映されます。
電源をオフにすると、こすれ軽減の設定は［しない］に戻ります。

参考
- こすれ軽減機能を使うと、印刷速度が遅くなることがありますので、印刷こすれが発生したときのみお使いください。

内部のクリーニング

製品内部が汚れると、印刷結果の汚れや給紙不良の原因になります。以下の手順で通紙（給排紙）を行い、内部をクリーニングしてください。

1 原稿台のガラス面と原稿マットに汚れがないことを確認します。

2 A4 サイズの普通紙（コピー用紙など）をセットします。

3 原稿台に原稿をセットせずに、コピーを開始します。

☞ 24 ページ「コピーの基本」
※ 用紙にインクの汚れが付かなくなるまで、手順 2 ～ 3 を繰り返してください。

！重要
- 製品内部は布やティッシュペーパーなどでふかないでください。繊維くずなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

プリントヘッドのギャップ調整

縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になるときは、ギャップ調整をお試しください。

1 **A4サイズの普通紙を背面オートシートフィーダにセットします。**

☞ 14ページ「背面オートシートフィーダへのセット」

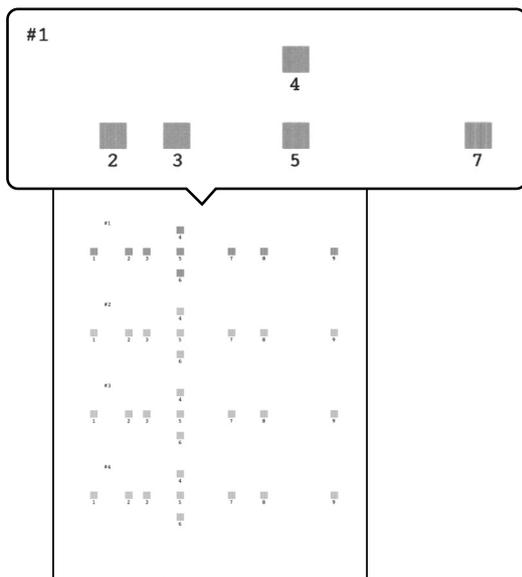
2 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

3 **【▷】か【◁】ボタンで[メンテナンス]を選択して、【OK】ボタンを押します。**

4 **【▽】か【△】ボタンで[ギャップ調整]を選択して、【OK】ボタンを押します。**

5 **【スタート】ボタンを押して、ギャップ調整パターンを印刷します。**

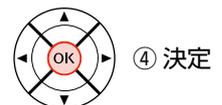
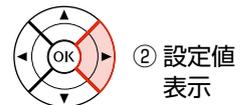
6 **印刷したギャップ調整パターンを確認します。**

＃1から＃4それぞれについて、もっとも縦スジが入っていないように見えるパターンを探してください。

7 **確認したパターンの番号（＃1から＃4）を設定します。**

① 番号(#)選択

② 設定値表示

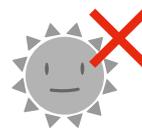
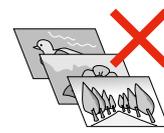
③ 設定値選択

④ 決定

8 **【OK】ボタンを押して、終了します。**

次の印刷から調整結果が反映されます。

印刷後の品質を保つために

■ 十分に乾燥させる

印刷後の用紙は、以下の点に注意して十分に乾燥させてください。よく乾燥させずに保存すると、にじみが発生することがあります。

直射日光に当てない

印刷面を重ねない

ドライヤーなどで乾かさない

■光や空気を遮断して保存する

印刷物は光や空気を遮断することで、退色を抑えることができます。乾燥後は以下の点に注意して、速やかにアルバムやクリアファイル、ガラス付き額縁などに入れて保存・展示してください。

屋外に展示しない

濡らさない

インクカートリッジの交換

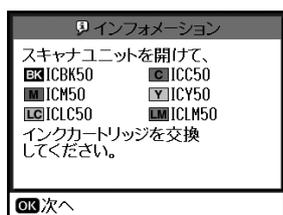
⚠注意
- 交換の前に、以下の注意事項をご確認ください。
☞5 ページ「インクカートリッジに関するご注意」

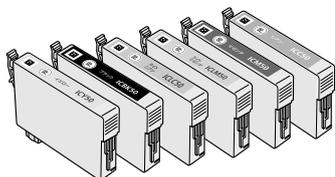
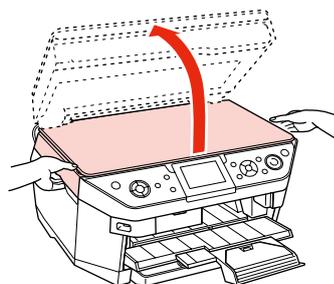
！重要
- 操作部分（赤で示した部分）以外は手を触れないでください。
- CD/DVD トレイが挿入されているときは取り出して、CD/DVD ガイドを通常の位置に戻してください。
☞17 ページ「CD/DVD の取り出し」

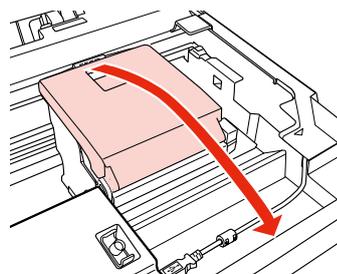
交換のメッセージが表示されたとき

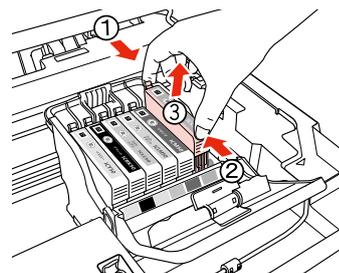
1 **交換の必要なインクカートリッジを確認して、交換を開始します。**

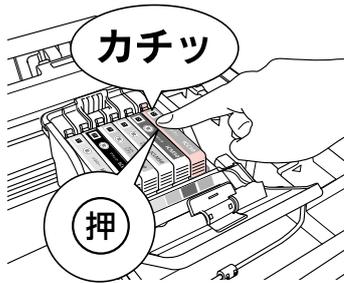
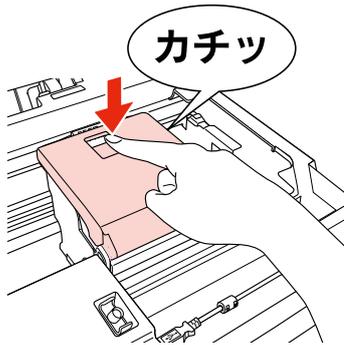
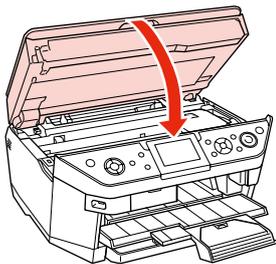
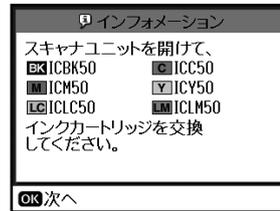
開始

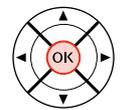
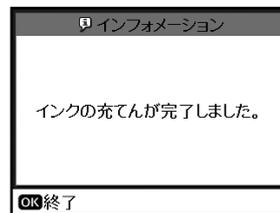
交換の必要なインクカートリッジ*1 のみ表示される

＊1：エプソンの純正インクカートリッジの型番は以下の通りです。純正品のご使用をお勧めします。

【Y】　イエロー　：ICY50
【BK】ブラック　：ICBK50
【LC】ライトシアン　：ICLC50
【LM】ライトマゼンタ　：ICLM50
【M】　マゼンタ　：ICM50
【C】　シアン　：ICC50

2 **新しいインクカートリッジを袋から取り出して、黄色いフィルムのみをはがします。**

3 **スキャナユニットを開けます。**

4 **カートリッジカバーを開けます。**

5 **交換するインクカートリッジを取り外します。**

フックをつまみ、真上に取り外してください。
外れないときは、強く引き抜いてください。

6 新しいインクカートリッジをセットします。

㊞の部分を、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

7 カートリッジカバーをしっかりと閉じます。

8 スキャナユニットを閉じます。

9 インクの充てんを開始します。

① 開始

約 1 分半 電源を切らない

② 完了

※しばらくすると、このメッセージは自動的に消えます。

参考

- 「インクカートリッジがセットされていません。インクカートリッジをセットしてください。」と表示されたときは、インクカートリッジをセットし直してみてください。
- 交換終了の画面が表示されないときは、メッセージに従ってください。
- コピー中の交換作業では、原稿の位置がずれる可能性があります。【ストップ / 設定クリア】ボタンを押してコピーを中止後、残りのコピーを原稿のセットからやり直してください。

以上で、操作は終了です。

メッセージが表示される前に交換するとき

大量印刷などのためにメッセージ表示前に交換するときは、以下の手順に従ってください。

1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

2 **【▷】か【◁】ボタンで[メンテナンス]を選択して、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▽】か【△】ボタンで[インクカートリッジ交換]を選択して、【OK】ボタンを押します。**

この後は、80 ページの手順 2 以降に従ってください。

以上で、操作は終了です。

インク残量の確認

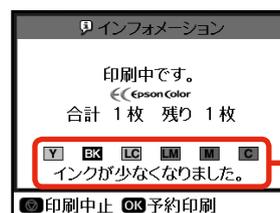
以下の手順でインク残量を確認できます。
インク残量確認画面から、カートリッジ交換を実行することもできます。

1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

2 **【▷】か【◁】ボタンで[インク残量表示]を選択して、【OK】ボタンを押します。**

3 **インク残量を確認します。**

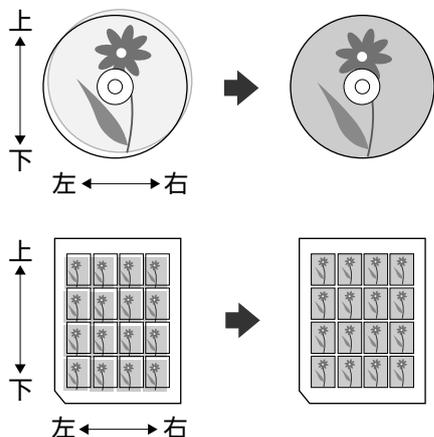
参考

- 非純正インクカートリッジでは、インク残量が表示されないことがあります。
- 交換のメッセージが表示されているときは、インク残量は表示されません。
- インクが残り少なくなると、インク残量表示に「!」マークが表示されたり、印刷時に「インクが少なくなりました」と表示されたりします。しばらくは印刷できますが、早めに新しいインクカートリッジを用意することをお勧めします。

4 **インク残量表示を終了するか、インクカートリッジの交換を実行するかを選択します。**

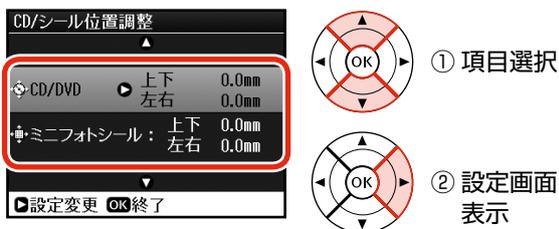
［カートリッジ交換］を選択した後は、80 ページの手順 2 以降に従ってください。

以上で、操作は終了です。

CD/DVD レーベル、ミニフォトシール印刷位置調整

印刷位置がずれたときに調整できます。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

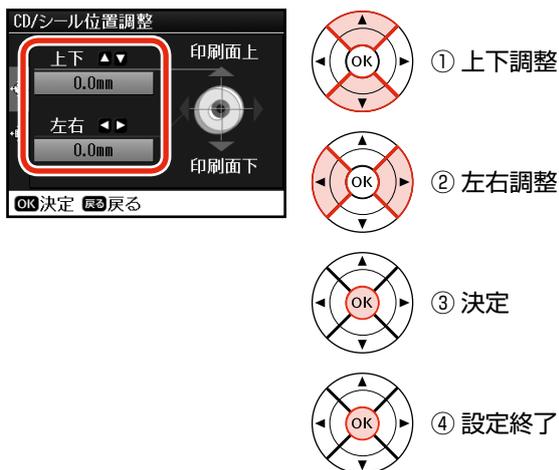
2 【▷】か【◁】ボタンで［CD/ シール位置調整］を選択して、【OK】ボタンを押します。

3 ［CD/DVD］または［ミニフォトシール］を選択します。

4 印刷位置を設定します。

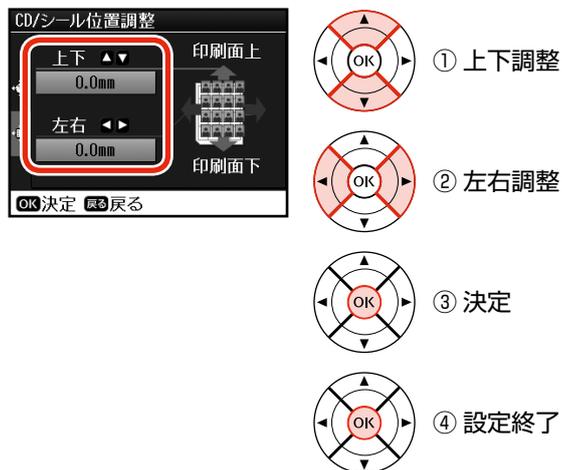
< CD/DVD レーベル>
「0.0 ～ 2.0mm」の範囲で設定

① 上下調整

② 左右調整

④ 設定終了

<ミニフォトシール>
「0.0 ～ 2.5mm」の範囲で設定

③ 決定

④ 設定終了

次の印刷から調整結果が反映されます。

以上で、操作は終了です。

Bluetooth でワイヤレス印刷

本製品と通信が可能な製品

Bluetooth 対応の製品で、以下のプロファイル＊[1] に対応している必要があります。
通信可能な Bluetooth 製品の情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
＜ http://www.epson.jp ＞
＊ 1： Bluetooth 通信を行うための規格です。

BIP（Basic Imaging Profile）

- 最大 2.5MB の JPEG 画像に対応しています。
- 一度に送信できるデータは 1 件です。印刷中のデータを含め、最大 10 件まで印刷予約することができます。ただし、データ容量の合計は 3MB までです。

OPP（Object Push Profile）

- JPEG 画像、および vObject に対応しています。

HCRP（Hardcopy Cable Replacement Profile）

- データを送信する機器の設定に従って印刷します。本製品の操作パネルでは設定できません。

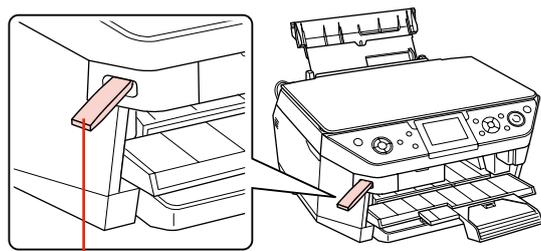
BPP（Basic Printing Profile）

- BPP 規定の通信手順に従って、XHTML-Print ドキュメントの印刷ができます。
- XHTML-Print ドキュメント形式で対応する画像は JPEG（Exif）、PNG、BMP です。
- 送信相手が選択した通信方法によって、操作パネルの設定が有効になる場合と、携帯電話側での設定が有効になる場合があります。

参考

- Bluetooth 対応の製品でも、上記のプロファイルに対応していないと、Bluetooth ユニットと通信できません。

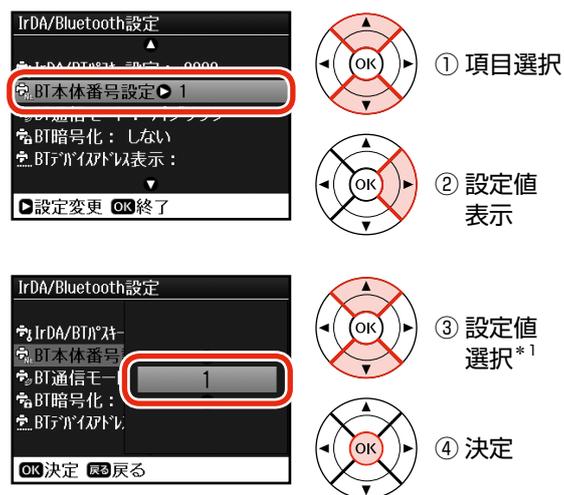
印刷方法

1 オプションの Bluetooth ユニットを接続します。

Bluetooth ユニット
（型番：PMDBU3）

2 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

3 【▷】か【◁】ボタンで［IrDA/Bluetooth 設定］を選択して、【OK】ボタンを押します。

4 Bluetooth 通信の設定をします。

次ページの表を参照して設定してください。
初めて接続するときは、セキュリティ確保のため設定することをお勧めします。

各項目を設定したら、【OK】ボタンを押して設定を終了します。

＊ 1： ［IrDA/BT パスキー設定］は【▷】か【◁】ボタンで移動して、各桁を設定します。
［BT デバイスアドレス表示］は変更できません。

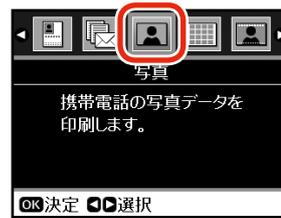
設定項目	設定値 / 説明
IrDA/BT パスキー設定	任意の 4 桁の数字（初期値：0000）
	セキュリティ確保のためにパスキーを設定します。パスキーを設定すると、デジタルカメラなどから印刷を実行する際に、パスキーの入力が必要になります。 Bluetooth 通信でパスキーを使用する場合は、［BT 通信モード］を［ボンディング］に設定するか、［BT 暗号化］を［する］に設定してください。
BT 本体番号 設定	0 ～ 9
	Bluetooth 通信が可能な距離に、複数台の Bluetooth 対応機器がある場合に、混信を防ぐため異なる番号を設定します。電源を一旦オフにすると設定が有効になります。
BT 通信モード	パブリック
	Bluetooth 対応機器から検索と印刷ができます。
	プライベート
	Bluetooth 対応機器から検索できないようにします。印刷するためには、一度パブリックモードで、本製品を検索する必要があります。
	ボンディング
	Bluetooth 対応機器から検索と印刷をする際には、パスキーが必要になります。
BT 暗号化	しない / する
	通信の内容を暗号化できます。パスキーの入力が必要になります。
BT デバイス アドレス表示	（例）11-11-11-11-11-11
	本製品が固有に持っている Bluetooth 通信アドレスを表示します。 ※ 本製品と通信を行う機器に、ここで表示されたデバイスアドレスを入力しても通信できないことがあります。そのようなときは、カラリオインフォメーションセンターにお問い合わせください。 ☞ 119 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

5 印刷用紙をセットします。

☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」
HCRP プロファイルの場合は手順 9 に進みます。

6 【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。

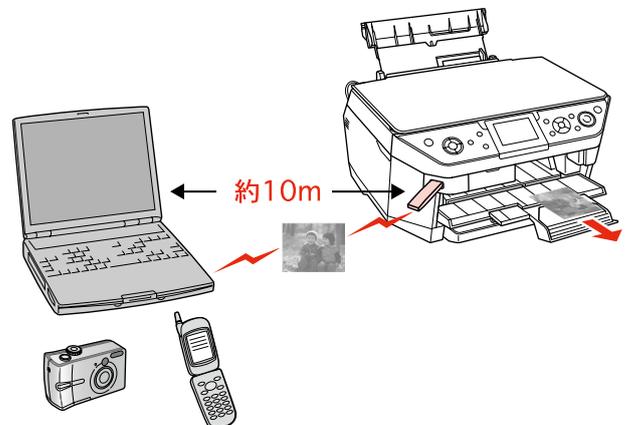
7 ［ケータイ印刷］を選択します。

8 印刷目的とプロファイルに合わせて、印刷メニューを選択します。

印刷メニュー	対応プロファイル		
	BIP	OPP	BPP
写真	○	○	×
シール	○	○	×
写真文字合成	○	○	×
ハガキ*1	○	○	×
名刺	×	○	×
データ	×	○	○

＊ 1：ハガキ（宛名面）は OPP のみです。

印刷メニューや印刷手順は、以下をご覧ください。
☞ 62 ページ「ケータイ印刷」

9 お使いの Bluetooth 対応機器での設定をして、印刷を開始します。

設定方法は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
正常にデータを受信すると、印刷が始まります。

参考

- 通信中や印刷中は、操作パネル以外の部分に触れないでください。

以上で、操作は終了です。

デジタルカメラから USB 接続で印刷

「PictBridge」または「USB DIRECT-PRINT」の規格に対応したデジタルカメラから、USB 接続で直接印刷できます。本製品と接続可能なデジタルカメラの情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp >

1 **印刷用紙をセットします。**

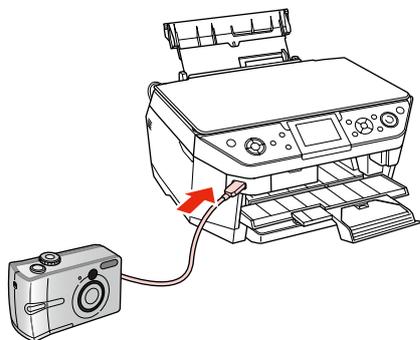
☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

2 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

3 **【▷】か【◁】ボタンで[PictBridge 印刷設定]を選択して、【OK】ボタンを押します。**

4 **PictBridge 印刷設定をします。**

☞ 36 ページ「印刷設定」

5 **デジタルカメラの電源をオンにして、USB ケーブルで接続します。**

6 **デジタルカメラで各種設定をします。**

①印刷する写真と枚数を設定します。
②お好みでその他の項目を設定します。

7 **デジタルカメラから印刷を開始します。**

以上で、操作は終了です。

参考

- お使いのデジタルカメラによって設定項目や設定値、設定方法、操作方法などが異なります。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 印刷設定は、基本的にデジタルカメラ側での設定が優先されます。ただし、「標準設定」*1 などを選択したときやデジタルカメラ側で設定できない機能は、本製品側の設定が反映されます。
  なお、設定内容が本製品の仕様上実現不可能な組み合わせのときは、実現可能な組み合わせに自動調整して印刷されます。
  ※ この調整結果が本製品側の設定値と一致するとは限りません。
- CD/DVD に印刷するときは、本製品側で印刷の設定をしてから、デジタルカメラ側で写真を選択して印刷を開始してください。
  ただし、お使いのデジタルカメラによっては、DPOF *2 設定での CD/DVD 印刷ができないことがあります。
- セピアまたはモノクロで印刷したいときは、本製品側でセピア印刷またはモノクロ印刷の設定をしてください。
- TIFF 画像の印刷はできません。TIFF 画像を印刷したいときは、メモリカードから直接印刷してください。

＊1：本製品側の設定を反映させる設定値（設定値の名称はデジタルカメラによって異なります。例：「標準設定」「プリンタ指定」など）

＊2：DPOF<Ver1.10> に対応したデジタルカメラであらかじめ印刷設定した「プリント指定ファイル」により印刷する機能（ファイル指定の名称はデジタルカメラによって異なります。例：「DPOF」「プリント予約」など）

メモリカードのデータをバックアップ / 削除

バックアップ、そして印刷

デジタルカメラで撮影した写真データを、パソコンを介さずに、外部記憶装置（CD や USB フラッシュメモリなど）に保存できます。また、保存したデータを印刷することもできます。

使用できる外部記憶装置

外部記憶装置	メディア
CD-R ドライブ*[1] DVD-R ドライブ*[1]	CD-R 650/700MB DVD-R 4.7GB ※ CD-RW、DVD+R、DVD ± RW、DVD-RAM には対応していません。
MO ドライブ*[1]	MO 128/230/640MB、1.3GB ※ DOS/Windows フォーマット済みのもの。
USB フラッシュメモリ	

＊ 1：バスパワーでの電源供給はできません。必ず AC アダプタを接続してお使いください。

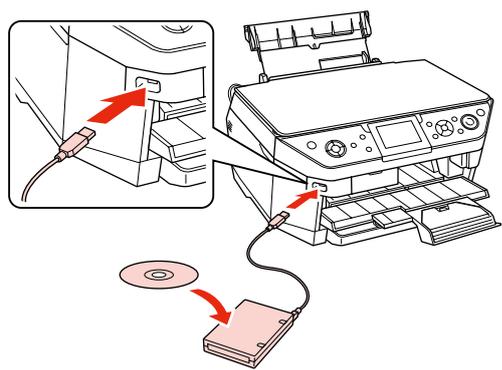
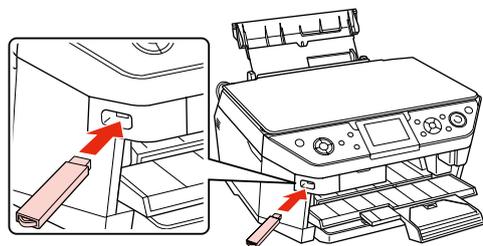
すべての動作を保証するものではありません。動作確認済みの記憶装置の情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
＜ http://www.epson.jp ＞

データの保存（バックアップ）

1 保存するデータの入ったメモリカードをセットします。

☞ 18 ページ「メモリカードのセット」

2 外部記憶装置を接続します。

■ CD/DVD/MO ドライブ

■ USB フラッシュメモリ

3 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

4 【▷】か【◁】ボタンで［ファイルオプション］を選択して、【OK】ボタンを押します。

5 【▽】か【△】ボタンで［バックアップ］を選択して、【OK】ボタンを押します。

6 パソコンと接続していないことを確認して、【OK】ボタンを押します。

7 【OK】ボタンを押して、バックアップを開始します。

8 バックアップが完了し、手順 5 の画面に戻ったら、【戻る】ボタンを押して終了します。

- 外部記憶装置にバックアップしたデータは、本製品では削除できません。

バックアップしたデータの印刷

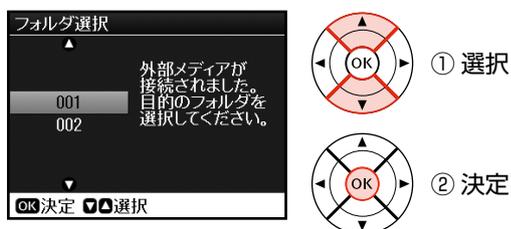
1 **外部記憶装置を接続し、バックアップしたデータの入ったメディアをセットします。**

参考
- メモリカードがセットされているときは取り外してください。
- ファイル容量が 3MB 以上の画像＊1 を印刷すると、印刷が始まるまでに数十分程度の時間がかかることがあります。
- 本製品以外でバックアップしたデータは正常に印刷できないことがあります。

＊ 1：6M ピクセル（600 万画素）以上のデジタルカメラで撮影した画像や TIFF 画像などは、おおむね 3MB 以上になります。

2 **印刷用紙をセットします。**

☞ 14 ページ「印刷用紙のセット」

3 **印刷する写真が含まれているフォルダを選択します。**

4 **この後は、メモリカード印刷の基本と同様の手順で印刷します。**

☞ 34 ページ「メモリカード印刷の基本」

以上で、操作は終了です。

メモリカードのデータ削除

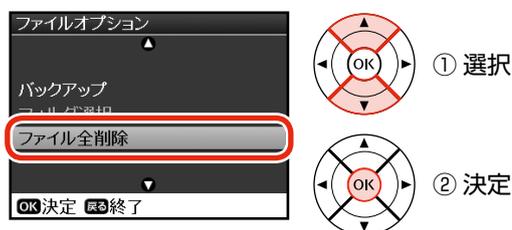
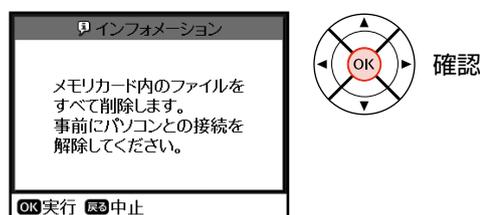
パソコンを介さずに、メモリカード内の全ファイルを削除できます（個々には削除できません）。

1 **データを削除するメモリカードをセットします。**

☞ 18 ページ「メモリカードのセット」

2 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

3 **【▷】か【◁】ボタンで[ファイルオプション]を選択して、【OK】ボタンを押します。**

4 **【▽】か【△】ボタンで[ファイル全削除]を選択して、【OK】ボタンを押します。**

5 **パソコンと接続していないことを確認して、【OK】ボタンを押します。**

6 **【▷】か【◁】ボタンで［はい］を選択し、【OK】ボタンを押してファイルの削除を開始します。**

7 **ファイルの削除が終了し、手順 4 の画面が表示されたら、【戻る】ボタンを押して終了します。**

以上で、操作は終了です。

操作パネルの設定

写真表示画面の設定

メモリカード内の写真の表示方法を変更できます。ここで設定した表示方法は電源をオフにしても保持されます。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 【▷】か【◁】ボタンで［メンテナンス］を選択して、【OK】ボタンを押します。

3 【▽】か【△】ボタンで［写真表示画面設定］を選択して、【OK】ボタンを押します。

4 【▽】か【△】ボタンで表示方法を選択して、【OK】ボタンを押します。

■ 1 面情報表示あり（お買い上げ時の設定）
写真と印刷設定などの情報を表示します。

■ 1 面情報表示なし
詳細情報を非表示にします。

■複数面表示
写真を 16 枚並べて表示します。

5 【戻る】ボタンを押して、設定を終了します。

以上で、操作は終了です。

設定値の初期化

本製品の設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 【▷】か【◁】ボタンで［初期設定に戻す］を選択して、【OK】ボタンを押します。

3 【OK】ボタンを押して、初期化を開始します。

以上で、操作は終了です。

スクリーンセーバの設定

液晶ディスプレイのスクリーンセーバとして、メモリカード内の写真を表示できます。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 【▷】か【◁】ボタンで［メンテナンス］を選択して、【OK】ボタンを押します。

3 【▽】か【△】ボタンで［スクリーンセーバ設定］を選択して、【OK】ボタンを押します。

4 【▽】か【△】ボタンで［メモリカード内の写真］を選択して、【OK】ボタンを押します。

5 【戻る】ボタンを押して、設定を終了します。
約 3 分間操作しないと、メモリカード内の写真が順次表示されます。

以上で、操作は終了です。

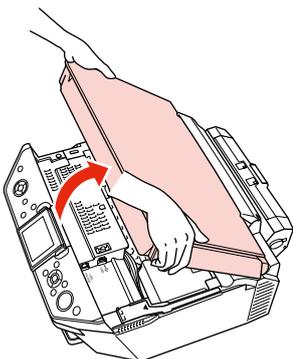
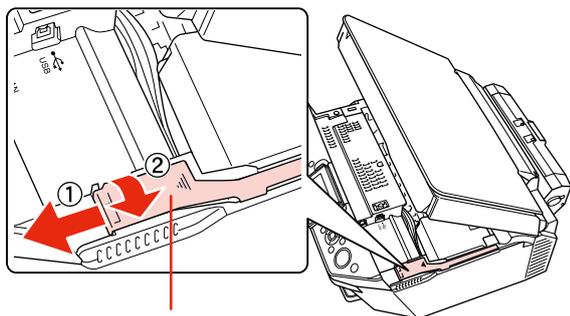
ケーブルの取り付け / 取り外し

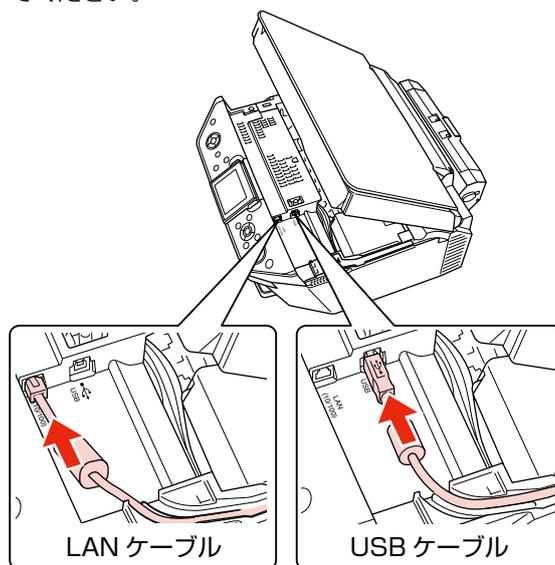
USB ケーブル /Ethernet（LAN）ケーブルを取り付け / 取り外すときは、以下の手順に従ってください。
Ethernet（LAN）ケーブルは、PM-T960 のみ対応です。

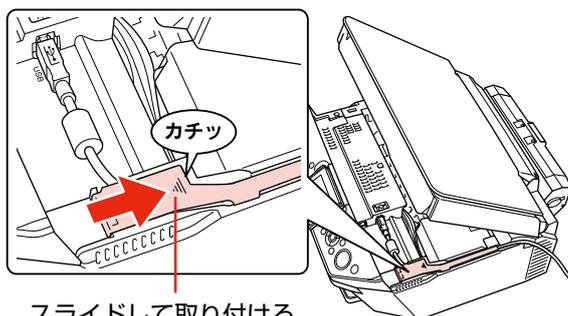
ケーブルの取り付け

付属の（装着されていた）ケーブルをお使いください。

1 **スキャナユニットを開けます。**

⚠注 意
- スキャナユニットを開閉するときは、指などを挟まないように注意してください。特に、スキャナユニットの背面には手を近付けないでください。

2 **カバーを取り外します（PM-T960 のみ）。**

3 **ケーブルを取り付けます。**

コネクタの向きを確認して、側面の溝にはめ込んでください。

❗重 要
- ケーブルを溝にはめ込まないと、スキャナユニットを閉じたときにケーブルがつぶれるおそれがあります。
- PM-T960 では、USB ケーブルは内側、LAN ケーブルは外側の溝にはめ込んでください。

4 **カバーを取り付けます（PM-T960 のみ）。**

5 **スキャナユニットを閉じます。**

以上で、操作は終了です。

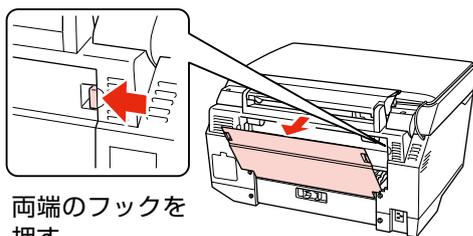
ケーブルの取り外し

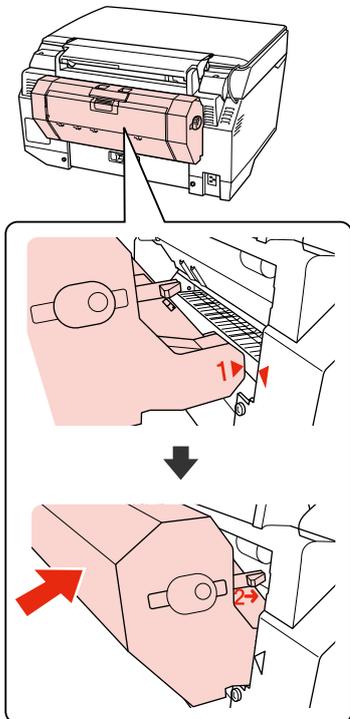
「ケーブルの取り付け」の手順を参考に、ケーブルを傷付けないように注意して取り外してください。
また、取り外したケーブルはパソコンと接続するときに必要になるため、保管しておいてください。

自動両面ユニットの取り付け / 取り外し

自動両面ユニット（型番：PMADU1）は、PM-A940 ではオプションです。

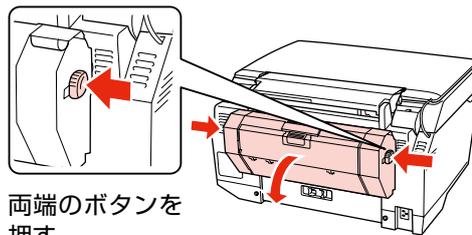
自動両面ユニットの取り付け

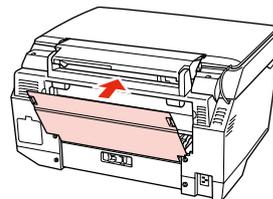
1 **背面カバー（上）を取り外します。**

- 取り外したカバーは、自動両面ユニットを取り外したときに必要になるため、保管しておいてください。

2 **自動両面ユニットを取り付けます。**

参考

- 印刷用紙は、背面オートシートフィーダまたは前面用紙カセットにセットします。
- パソコンから自動両面印刷するときは、プリンタドライバの設定が必要です。

以上で、操作は終了です。

自動両面ユニットの取り外し

1 **自動両面ユニットを取り外します。**

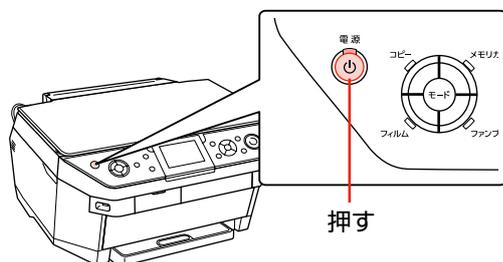
2 **背面カバー（上）を取り付けます。**

以上で、操作は終了です。

輸送(引っ越しや修理)時のご注意

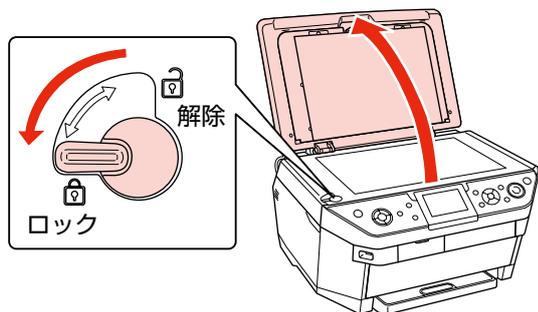
輸送時のご注意

本製品を輸送するときは、衝撃などから守るために、以下の作業を確実に行ってください。

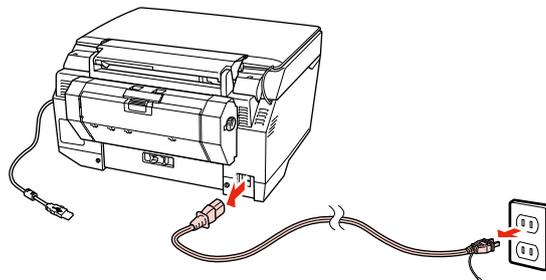
1 【電源】ボタンを押して、電源をオフにします。

プリントヘッドが右側のホームポジション（待機位置）に移動し、固定されます。

!重要

- インクカートリッジは取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- プリントヘッドの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、プリントヘッドがホームポジションに移動せず、固定できません。もう一度電源をオンにしてから、【電源】ボタンを押して電源をオフにしてください。

2 輸送用固定レバーをロック側にします（PM-T960 のみ）。

!重要

- 輸送用固定レバーをスムーズに動かせないときは、一旦電源をオンにしてから、【電源】ボタンを押して電源をオフにしてください。

3 電源コードを本体から取り外します。

4 保護材を取り付け、本製品を水平にして梱包箱に入れます。

!重要

- 保護材の取り付け時や輸送時には、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。

以上で、操作は終了です。

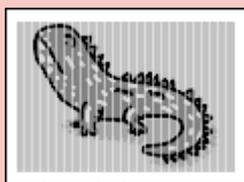
輸送後のご注意

- 輸送用固定レバーのロックを解除してください（PM-T960 のみ）。
- 印刷不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
☞76 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

困ったときは（トラブル対処方法）

この章では、トラブルが発生したときの対処方法について説明しています。

印刷結果が悪い

シマシマまたは色がおかしい

まず、ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。

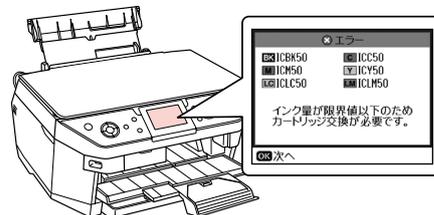
☞76 ページ

用紙が詰まった

プリンタ内部に詰まった用紙を取り除いてください。

☞96 ページ

エラー表示

本製品にエラーが発生すると、液晶ディスプレイにメッセージが表示されますので、画面の指示に従ってエラーを回避してください。対処方法が複雑なエラーについては、下表をご覧の上、対処してください。

メッセージ	対処方法
スキャナユニットを開けて用紙が詰まっていないか確認し、電源を入れ直してください。詳しくは、マニュアルをご覧ください。	● 電源を一旦オフにした後、再度電源をオンにしてください。 それでもエラーが解除されないときは、電源をオフにしてスキャナユニットを開け、内部に異物（輸送用の保護テープ、用紙など）が入っていないか確認し、電源をオンにしてください。
電源をオフにし、輸送用固定レバーのロックが解除されているか確認してください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。	● 電源を一旦オフにし、キャリッジの輸送用ロックが解除されているかご確認ください。 ☞7 ページ「18 輸送用固定レバー」 それでもエラーが発生するときは、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
詰まった用紙と同じサイズの用紙を 1 枚縦方向にセットし、スタートボタンを押してください。それでもエラーが解除されない場合は、同じ操作を繰り返してください。	● 用紙が詰まりました。 以下のページの手順に従って取り除いてください。 ☞98 ページ「名刺 / カードなどの小さい用紙」
オーダーシートとメモリカードが一致していません。シートを印刷し直して再度実行してください。	● もう一度オーダーシートを印刷してください。 写真の印刷が終了するまでメモリカードの内容を変更しないでください。 ☞44 ページ「①オーダーシートを印刷」
手書き合成シートとメモリカードが一致していません。シートを印刷し直して再度実行してください。	● もう一度手書き合成シートを印刷してください。 写真の印刷が終了するまでメモリカードの内容を変更しないでください。 ☞56 ページ「①手書き合成シートを印刷」
バックアップ中にエラーが発生しました。 バックアップを中止します。 エラーコード XXXXXXXX	● バックアップ時に問題が発生したため、バックアップを中止しました。 表示されているエラーコードを控えて、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。 ☞119 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。	● インク残量が限界値*1 を下回りました。 新しいインクカートリッジに交換してください。
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に近付いています。 お早めにお買い求めの販売店か修理センターへ、交換をご依頼ください。	● 廃インク吸収パッド*2 の吸収量が限界に近付いています。*3 お客様ご自身による交換はできません。お早めにお買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。

メッセージ	対処方法
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達しました。 お買い求めの販売店か修理センターへ、交換をご依頼ください。	● 廃インク吸収パッド*2 の吸収量が限界に達しました。*3 お客様ご自身による交換はできません。お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。

＊１：本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。
＊２：クリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品です。
＊３：お客様のご使用頻度等によって期間は異なりますが、廃インク吸収パッドの交換が必要になります。メッセージが表示されたら、エプソン修理センターに交換をご依頼ください。保証期間経過後は有償となります。
なお、パッドの吸収量が限界に達した場合、インクがあふれることを防ぐため、パッドを交換するまで印刷ができないようになっています。

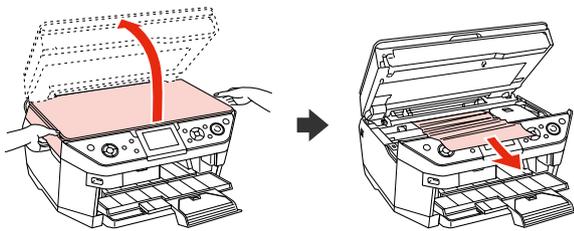
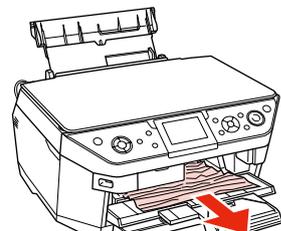
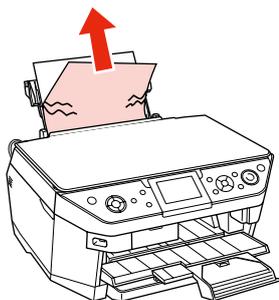
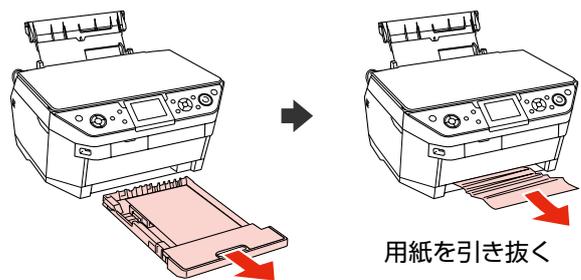
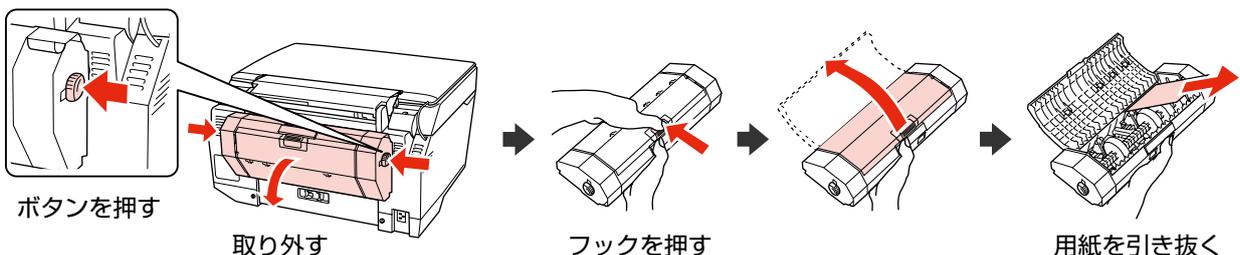
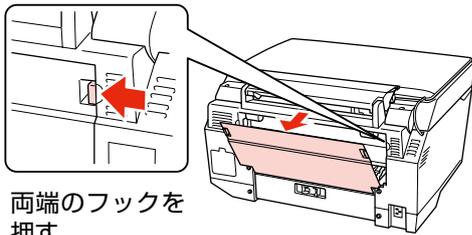
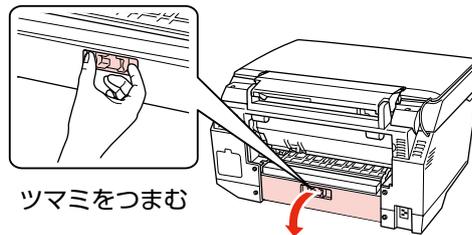
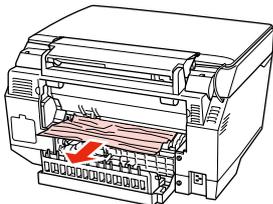
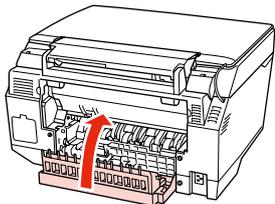
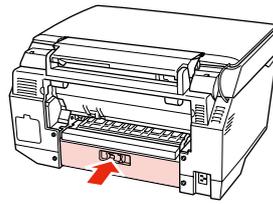
詰まった用紙や CD/DVD トレイの取り除き方法

L 判 /A4 などの定形紙

紙が詰まっている箇所を順番に確認して取り除いてください。

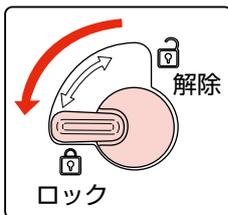
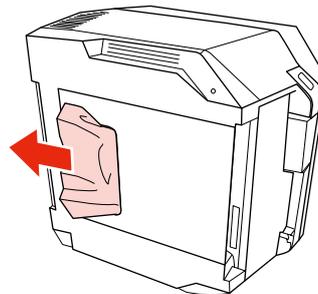
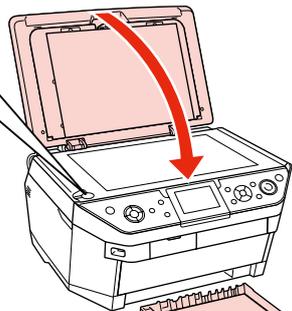
重要

- 用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張ると、本製品が故障することがあります。
- 操作部分（赤で示した部分）以外は手を触れないでください。

1 プリンタ内部

3 排紙トレイ部

2 背面オートシートフィーダ部

4 前面用紙カセット部

5 自動両面ユニット（PM-A940 はオプション）

6 プリンタ背面部

※ 91 ページを参照し、自動両面ユニットまたはカバーを取り付けてください。

7 プリンタ底面部

⚠ 注 意

- 以下の作業をする前に、電源をオフにして電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをプリンタから取り外してください。
- 本体を横にする際には、手などを挟まないよう注意してください。

※取り除いた後は、固定レバーを解除してください。

名刺 / カードなどの小さい用紙

1 詰まった用紙と同じ種類の用紙をもう 1 枚セットします。

必ず縦方向にセットしてください。

2 【スタート】ボタンを押して、詰まっている用紙を排出します。

排出されないときは、次の手順に進んでください。

3 スキャナユニットを開け、用紙を取り除きます。

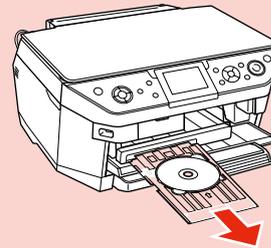
参考

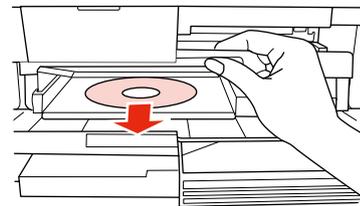
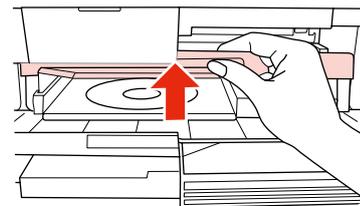
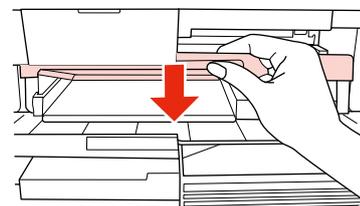
- 誤って名刺やカードなどを前面用紙カセットから給紙して詰まったときは、前ページ「プリンタ背面部」もご確認ください。
- どうしても用紙が取り除けないときは、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、修理をご依頼ください。

CD/DVD

1 【スタート】ボタンを押して CD/DVD トレイを排出します。

排出されないときは、次の手順に進んでください。

2 CD/DVD トレイを取り除きます。

参考

- ガイドの中に CD/DVD が入ってしまったときは、ガイドの上蓋を開けて取り除いてください。

取り除いた後は、蓋を閉じてください。

トラブル対処

電源 / 操作パネルのトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
電源が入らない 電源ランプが点滅 / 点灯しない	● 【電源】ボタンを少し長めに押してください。 ● 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ● 壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。
電源が切れない	● 【電源】ボタンを少し長めに押してください。 それでも電源が切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、プリントヘッドの乾燥を防ぐため、電源を入れ直して【電源】ボタンでオフにしてください。
液晶ディスプレイが暗くなった	● 液晶ディスプレイのスリープモード状態です。 【電源】ボタン以外のボタンを押すと、操作画面が表示されます。

※ 液晶ディスプレイに表示されたメッセージの内容がわからないときは、以下をご覧ください。
☞94 ページ「エラー表示」

給紙 / 排紙のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
用紙や CD/DVD トレイが詰まった	● 無理に引っ張らずに、以下のページの手順に従って取り除いてください。 ☞96 ページ「詰まった用紙や CD/DVD トレイの取り除き方法」
斜めに給紙される 重なって給紙される 用紙や CD/DVD トレイが給紙されない 用紙や CD/DVD トレイが排出されてしまう	● 用紙や CD/DVD を正しくセットしてください。特に、用紙のセット時には必ずエッジガイドを合わせてください。 ☞14 ページ「印刷用紙のセット」 ☞16 ページ「CD/DVD のセット」 ● 用紙や CD/DVD をセットしている給紙装置（前面 / 背面 /CD-R）と、印刷設定の［給紙方法］を合わせてください。 ☞29、37、52 ページ「給紙方法」 ● 本製品で印刷できる用紙をお使いください。 ☞10 ページ「使用できる用紙・CD/DVD」 ● 設置場所や使用環境に問題がないかご確認ください。 ● 製品内部のローラが汚れている可能性があります。 <前面用紙カセットからうまく給紙できない場合> 背面オートシートフィーダから印刷してください。 <背面オートシートフィーダからうまく給紙できない場合> お使いのエプソン製専用紙に、クリーニングシートが添付されているときは、クリーニングシートを使ってローラをクリーニングしてください。 ☞78 ページ「内部のクリーニング」

印刷品質 / 結果のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
かすれる スジや線が入る / シマシマになる 色合いがおかしい / 色が薄い 印刷されない色がある 印刷にムラがある モザイクがかかったように印刷される 印刷の目が粗い（ギザギザしている） インクが出ない（白紙で印刷される） ノズルが目詰まりしている	**本体** ● ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。 ☞76 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 ● インクカートリッジは推奨品（エプソン純正品）を使用することをお勧めします。 ● 古くなったインクカートリッジは使用しないことをお勧めします。 ☞80 ページ「インクカートリッジの交換」 ● 背面カバー（下）を押して、しっかりと閉じてください。 **用紙** ● 写真などは、普通紙ではなくエプソン製専用紙に印刷することをお勧めします。 ● エプソン製専用紙に印刷するときは、おもて面に印刷してください。 ☞10 ページ「エプソン製専用紙（純正用紙）」－「印刷できる面」 ● 印刷後の用紙の取り扱いに注意してください。 ☞79 ページ「印刷後の品質を保つために」 **印刷設定** ● セットした用紙の種類と、印刷設定の［用紙種類］を合わせてください。 ☞13 ページ「［用紙種類］の設定」 ● 印刷品質の高いモード（［きれい］など）での印刷をお試しください。 ● 自動画質補正やコントラストなどを設定し、お好みの色合いに調整してください。 ☞38、53 ページ「自動画質補正 / 補正モード」 **データ** ● 解像度の高い（画素数の多い）データを印刷してください。 携帯電話や解像度の低いカメラで撮影した写真は、画質が粗いため、ミニフォトシールやカードサイズなどの小さい用紙に印刷することをお勧めします。 ※解像度は携帯電話 / デジタルカメラの機種によって異なります。 動画データは一般的に静止画より画素数が少ない、および画像の圧縮率が高いため、静止画と同等の印刷結果は得られません。 ※動画データの品質はデジタルカメラの機種によって異なります。
ぼやける 文字や罫線がガタガタになる	● プリントヘッドのギャップ調整を行ってください。 ☞79 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」
CD/DVD への印刷が濃い / 薄い	● 印刷濃度の調整をお試しください。 ☞39 ページ「CD 濃度調整」

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
印刷結果がこすれる / 汚れる	**本体** ● 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。 ☞78 ページ「内部のクリーニング」 ● 背面カバー（下）を押して、しっかり閉じてください。 **用紙** ● 両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。 ハガキに印刷するときは、宛名面から先に印刷することをお勧めします。 ● 本製品で印刷できる用紙をお使いください。 ☞10 ページ「使用できる用紙・CD/DVD」 ● 往復ハガキ以外は、縦方向にセットしてください。 ● 印刷後の用紙の取り扱いに注意してください。 ☞79 ページ「印刷後の品質を保つために」 **印刷設定** ● フチなし印刷を行う場合は、下記の用紙を使用することをお勧めします。 ＜フチなし印刷対応用紙＞ （下表参照） ●「こすれ軽減」機能をお試しください。 ☞78 ページ「印刷こすれの軽減」
フチなし印刷ができない	**印刷設定** ● レイアウトを［フチなし］に設定して印刷してください。 ☞26 ページ「原稿種 / レイアウト設定」 ☞37、53 ページ「レイアウト」 **用紙** ● フチなし印刷に対応した用紙をお使いください。 ☞ 上記の表「フチなし印刷対応用紙」
ハガキに縦長の写真を印刷すると、宛名面と上下が逆になってしまう	● ハガキのセット向きを上下逆にしてお試しください。 縦長写真のデータは、撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって、写真の上下（天地）が異なります。

＜フチなし印刷対応用紙＞

用紙サイズ	用紙種類
A4	写真用紙、フォトマット紙
ハガキ	各種郵便ハガキ、 各種エプソン製専用ハガキ
カード、L 判、KG サイズ、2L 判、六切、ハイビジョンサイズ	写真用紙
名刺	両面マット紙

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
印刷位置がずれる / はみ出す	**本体** ● エッジガイドを用紙の側面に合わせてください。 ☞14 ページ「印刷用紙のセット」 ● 原稿台や原稿マットにゴミや汚れが付いていないことをご確認ください。 ゴミや汚れが付いていると、その範囲までコピーしてしまうため、印刷位置がずれることがあります。 ● 原稿が正しくセットされているかご確認ください。 ☞22 ページ「原稿のセット」 ☞32 ページ「CD/DVD レーベルにコピー」 ☞59 ページ「写真コピー」 ● フィルムをスキャンするときは、原稿マットを取り外してください。フィルム以外の原稿をスキャンするときは、原稿マットを取り付けてください。 ☞7 ページ「各部の名称と働き」 ● 標準コマとパノラマが混在しているフィルムは、パソコンからスキャンしてください。 **用紙** ● ミニフォトシールや CD/DVD レーベルの印刷位置がずれるときは、印刷位置調整をお試しください。 ☞83 ページ「CD/DVD レーベル、ミニフォトシール印刷位置調整」 **印刷設定** ● セットした用紙のサイズと、印刷設定の［用紙サイズ］を合わせてください。 ☞29、36、52 ページ「用紙サイズ」 ● フチなし印刷で写真の周囲が欠けるときは、フチなし領域調整をお試しください。 ☞29、38、53 ページ「フチなし領域調整」
原稿の裏面まで透けて コピーされてしまう（裏写りする）	● 原稿の紙が薄いときは、裏側に黒い紙や下敷きを重ねてスキャンすることをお勧めします。
コピー結果にムラ / シミ / 斑点が出る	● 原稿台や原稿マットにゴミや汚れが付いていないことをご確認ください。 ● 原稿カバーや原稿を強く押さえ付けないでください。 ● 原稿のセット位置をずらしてみてください。

その他のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
印刷設定で、設定したい用紙サイズ（B5 やカードなど）が表示されない	● ［用紙種類］を設定してから［用紙サイズ］を設定してください。 例えば B5 サイズのコピー用紙のときは、用紙種類を［普通紙］に設定すると、用紙サイズに［B5］が表示されます。
ヘッドクリーニングが動作しない	● 本製品にエラーが発生しているときは、エラーを解除してください。 ● 十分なインク残量がないときは、ヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 ☞80 ページ「インクカートリッジの交換」
黒印刷しかしていないのに、カラーインクが減っている	● 本製品では、以下のときにブラック / カラーそれぞれのインクが消費されます。 • カラーインクを使った混色黒印刷時*1 • ヘッドクリーニング時 • セルフクリーニング時*2
連続して印刷をしている途中、印刷速度が遅くなった	● 高温による製品内部の損傷を防ぐための機能が働いています。 連続印刷中*3 に、製品の動作が一旦停止し印刷速度が極端に遅くなったときは、印刷を中断し電源オンの状態で 30 分程度放置してください。印刷を再開すると、通常の速度で印刷できるようになります。 ※印刷速度が遅くなっても、印刷を続けることはできます。 ※電源をオフにして放置しても、印刷速度は回復しません。
製品に触れた際に電気を感じる（漏洩電流）	● 多数の周辺機器を接続している環境下では、本製品に触れた際に電気を感じることがあります。 このようなときには、本製品を接続しているパソコンなどからアース（接地）を取ることをお勧めします。

＊１：用紙種類によって自動で設定される
＊２：プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために自動的にクリーニングする機能で、すべてのインクを微量吐出する
＊３：30 分以上、印刷し続けている状態（時間は印刷状況によって異なります）

パソコン接続時のトラブル対処

パソコンと接続して使用するときのトラブル対処方法は、『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）に詳しく記載されています。

パソコンから印刷 / スキャンできない

このトラブルで最も多い原因の対処方法を次ページに記載しています。

まずはこれをチェック !!

印刷品質 / 結果のトラブル

印刷結果がこすれる / 汚れる
印刷位置がずれる / はみ出す
ホームページを思い通りに印刷できない
パソコン画面にエラーが表示される

☞『活用＋サポートガイド』－「プリント編」－「トラブル対処方法」

スキャン品質 / 結果のトラブル

画像が暗い / 画像がぼやける
画像の色合いがおかしい / 画像の色が原稿の色と違う
裏写りする
画像にモアレ（網目状の陰影）が出る
画像にムラ / シミ / 斑点が出る
フィルムスキャン時、画像の上に円や楕円状の縞模様が出る
テキストデータに変換するときに認識率が悪い
スキャン範囲がおかしい / 原稿を認識しない
サムネイルプレビューでのトラブル
写真を複数枚同時にスキャンするときのトラブル
フィルムをスキャンするときのトラブル

☞『活用＋サポートガイド』－「スキャン編」－「トラブル対処方法」

！重要

- パソコンからメモリカードへアクセス中に、パソコンの動作が不安定になったときは、本製品の［ファイル共有設定］を［読み込み専用］に設定してから、パソコンを再起動してください（PM-T960 のみ）。
☞『ネットワーク設定ガイド』－「ファイル共有の設定」

パソコンから印刷できない(Windows)

印刷を開始しても何も印刷されない、本製品が動作しないときは、以下の手順でパソコンをチェックしてください。

1 USBケーブルをパソコンにしっかりと接続し、本製品の電源をオンにします。

2 [プリンタとFAX]または[プリンタ]フォルダを開きます。

< Windows Vista >
[スタート]－[コントロールパネル]－[ハードウェアとサウンド]の[プリンタ]の順にクリックします。

< Windows XP >
[スタート]－[コントロールパネル]の順にクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックして、[プリンタとFAX]をクリックします。

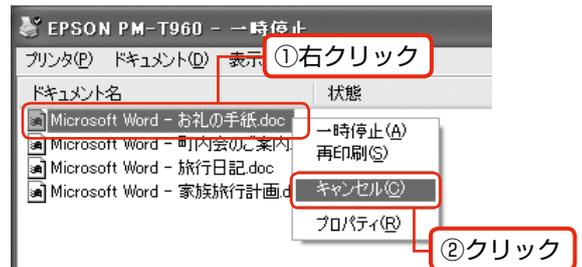
< Windows 98/Me/2000 >
[スタート] － [設定] － [プリンタ] の順にクリックします。

①印刷待ちのデータがありませんか？

パソコンに印刷待ちのデータが残っていると、印刷が始まらないときがあります。データが残っているときは、一旦取り消してください。

1 上記画面内の[EPSON PM-A940またはPM-T960]アイコンをダブルクリックします。

2 印刷待ちのデータが残っているときは、データを右クリックして、[キャンセル] または [印刷中止] などをクリックします。

<画面例：Windows XP >

次の項目をチェック

②「通常使うプリンタ」の設定になっていますか？

1 [プリンタ] フォルダの [EPSON PM-A940またはPM-T960] アイコンにチェックマークが付いていることを確認します。

2 マークが付いていないときは、アイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを付けます。

つづく

③ プリンタが［一時停止］の状態になっていませんか？

1 ［プリンタ］フォルダの［EPSON PM-A940 または PM-T960］アイコンを右クリックして、一時停止の状態でないことを確認します。

< Windows XP/Vista >

※［印刷の再開］が表示されているときは一時停止の状態です。

< Windows 98/Me/2000 >

※［一時停止］にチェック（✔）が付いているときは一時停止の状態です。

2 ［一時停止］になっているときは、一時停止を解除します。

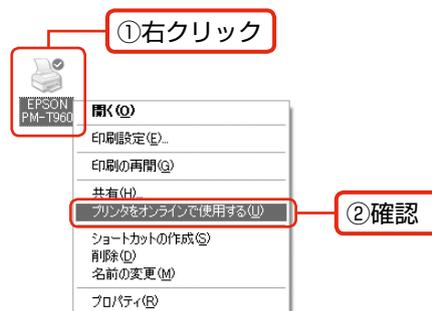
< Windows XP/Vista >
［印刷の再開］をクリックします。

< Windows 98/Me/2000 >
［一時停止］をクリックしてチェック（✔）を外します。

 次の項目をチェック

④［オフライン］の状態になっていませんか？

Windows XP/Vista の場合のみご確認ください。

1 ［プリンタ］フォルダの［EPSON PM-A940 または PM-T960］アイコンを右クリックして、オフラインの状態でないことを確認します。

※［プリンタをオンラインで使用する］が表示されているときはオフラインの状態です。

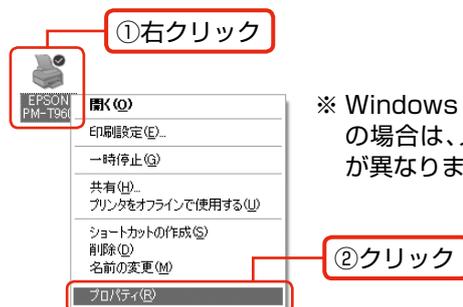
2 オフラインの状態になっているときは、［プリンタをオンラインで使用する］をクリックします。

オンラインの状態になります。

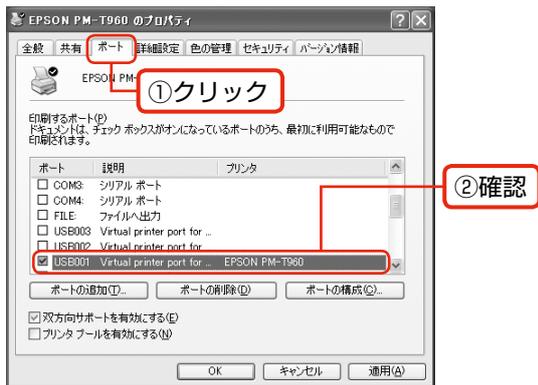
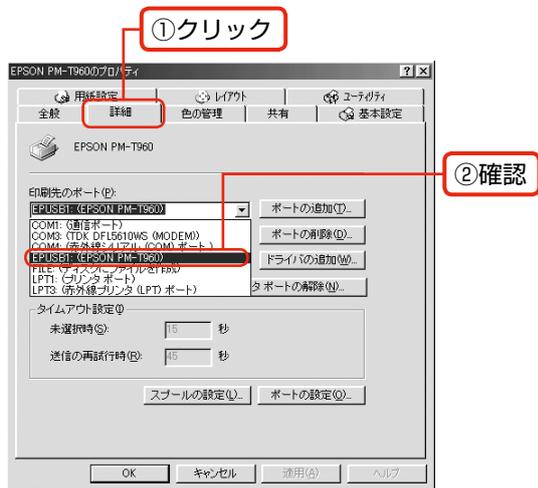
次の項目をチェック

⑤ 印刷先（ポート）の設定は正しいですか？

印刷先が［LPT1（プリンタポート）］などの USB 以外に設定されていると、印刷できません。印刷先が USB ポートに設定されているかご確認ください。

1 ［プリンタ］フォルダの［EPSON PM-A940 または PM-T960］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

※ Windows 98/Me の場合は、メニューが異なります。

2 **印刷先（ポート）の設定を確認します。**

< Windows 2000/XP/Vista >
［ポート］タブをクリックし、［USBxxx EPSON PM-A940 または PM-T960］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

< Windows 98/Me >
［詳細］タブをクリックし、［EPUSBx：（EPSON PM-A940 または PM-T960）］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

⑥もう一度印刷を開始してください

以上を確認しても印刷できないときは、プリンタドライバをインストールし直してください。
☞108 ページ「ドライバの再インストール」

！重要

- ［ポートの追加］によるポートの設定は行わないでください。

パソコンから印刷できない(Mac OS X)

印刷を開始しても何も印刷されない、本製品が動作しないときは、以下の手順でパソコンをチェックしてください。

印刷のステータスが［一時停止］になっていませんか？

1 **［プリンタ設定ユーティリティ］を表示し、停止中のプリンタドライバをダブルクリックします。**

2 **［ジョブを開始］をクリックします。**

もう一度印刷を開始してください

上記を確認しても印刷できないときは、プリンタリストから該当プリンタを削除して、プリンタドライバをインストールし直してください。
☞108 ページ「ドライバの再インストール」

パソコンからスキャンできない

本製品の電源がオンになっていること、USB ケーブルが接続されていることをご確認ください。
それでもスキャンできないときは、スキャナドライバをインストールし直してください。
☞108 ページ「ドライバの再インストール」

ドライバの再インストール

スキャナドライバ / プリンタドライバをインストールし直します。

1 **本製品の電源をオフにして、USB ケーブルをパソコンに接続します。**

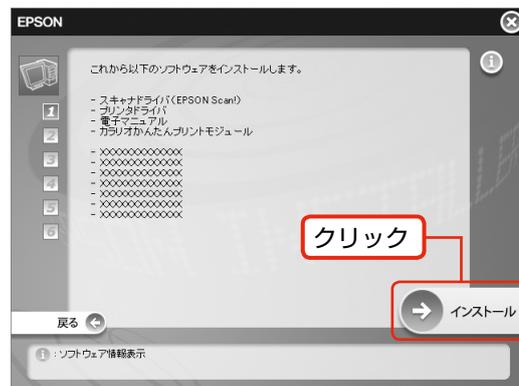
2 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

3 **『ソフトウェア CD-ROM』をパソコンにセットします。**

Windows Vista で「自動再生」画面が表示されたら［EPSETUP.EXE の実行］をクリックします。続けて表示される「ユーザーアカウント制御」画面では［許可］または［続行］をクリックします。なお、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
Mac OS X の場合は、表示された画面内のアイコンをダブルクリックします。

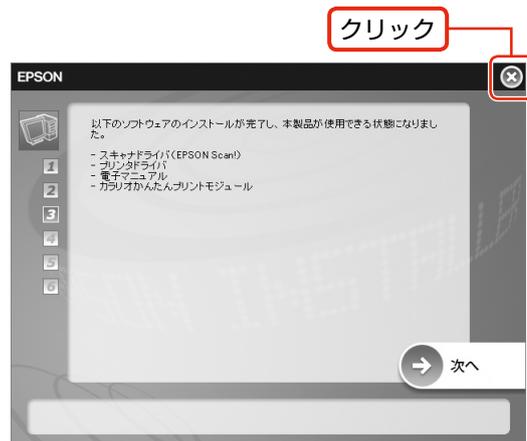
4 **以下の画面が表示されますので、［おすすめインストール］をクリックします。**

5 **［インストール］をクリックします。**

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

参考

- 電源オンを指示されたら、本製品の電源をオンにしてください。

6 **ドライバのインストールが終了すると、以下の画面が表示されます。ⓧをクリックして画面を閉じます。**

この後は画面の指示に従ってください。

参考

- アプリケーションソフトを再インストールするときは、［次へ］をクリックしてください。

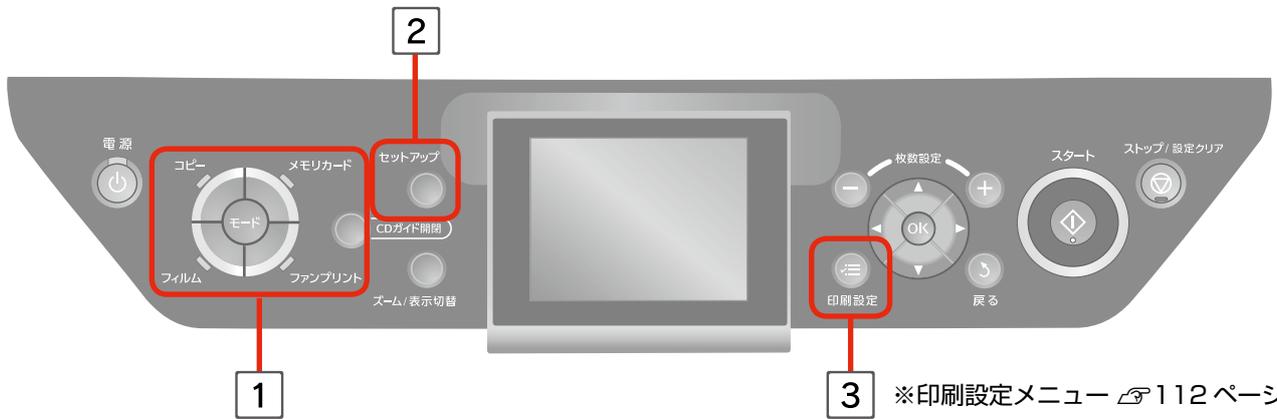
7 **インストールが終了したら、印刷やスキャンをしてみてください。**

インストールし直してもトラブルが解決できないときは、以下をご覧ください。

☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「トラブル対処方法」

以上で、操作は終了です。

付録

設定項目一覧

※印刷設定メニュー ☞112 ページ

1 モードメニュー

コピーモード

☞23 ページ

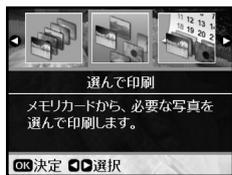
コピー枚数
- 1 ～ 99 枚

コピー色
- カラー
- モノクロ

原稿種
- 文字
- 文字・写真
- 写真

レイアウト
- 標準コピー
- 両面コピー*1
- フチなしコピー
- ギリギリコピー
- CD/DVD コピー
- リピート自動
- ポスター 16
- A4 原稿を 2 アップ
- B5 原稿を 2 アップ
- A4-Book を 2 アップ
- B5-Book を 2 アップ
- ミラーコピー
- フォトシール全面
- ミニフォトシール 16
- BOOK 両面*1
- A4 を両面 /2 アップ*1
- B5 を両面 /2 アップ*1

＊ 1： 自動両面ユニット装着時のみ表示

メモリカードモード

☞33 ページ

印刷方法
- すべて印刷
- 選んで印刷
- 日付選択印刷
- オーダーシート
- CD/DVD 印刷
- インデックスシート印刷
- スライドショー
- スキャンしてメモリカードに保存

フィルムモード*1

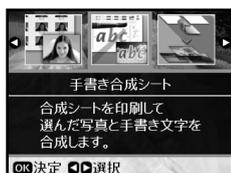
☞49 ページ

フィルム種類
- カラーネガフィルム
- カラーポジフィルム（ストリップ）
- カラーポジフィルム（マウント）
- モノクロネガフィルム

退色復元
- しない
- する

印刷方法
- すべて印刷
- 選んで印刷
- スキャンしてメモリカードに保存

＊ 1：PM-T960 のみ

2 セットアップメニュー
ファンプリントモード
手書き合成シート
合成シートを印刷して
選んだ写真と手書き文字を
合成します。
OK決定 選択
印刷方法
手書き合成シート
☞56 ページ
印刷方法
合成シート印刷
合成シートを使って
プリントする
仕上がり印刷設定
用紙種類
用紙サイズ
レイアウト
合成フレーム
写真コピー
☞59 ページ
退色復元
しない
する
ケータイ印刷
☞62 ページ
写真
シール
写真文字合成
レイアウト
L 判横
L 判縦
KG サイズ横
KG サイズ縦
2L 判横
2L 判縦
カード横
カード縦
ハイビジョンサイズ横
ハイビジョンサイズ縦
ハガキ
レイアウト
ハガキ横
ハガキ縦
ハガキ宛名面
名刺
レイアウト
名刺横
名刺縦
データ
動画印刷
☞65 ページ
印刷方法
1 コマ印刷
連続印刷
ナチュラルフェイス
☞67 ページ
ナチュラルフェイス設定
小顔と美白補正を
直接設定する
フェイスシートで
補正効果を確認する
セットアップ
メンテナンス
印刷かすれの改善や
各種設定をします。
OK決定 選択
メニュー
インク残量表示
☞82 ページ
メンテナンス
メンテナンス
ノズルチェック
☞76 ページ
ヘッドクリーニング
☞77 ページ
ギャップ調整
☞79 ページ
インクカートリッジ交換
☞80 ページ
こすれ軽減
☞78 ページ
スクリーンセーバ設定
☞89 ページ
写真表示画面設定
☞89 ページ
CD/ シール位置
調整
CD/ シール位置調整
CD/DVD
☞83 ページ
ミニフォトシール
☞83 ページ
PictBridge 印刷
設定
☞86 ページ
ファイルオプション
ファイルオプション
バックアップ
☞87 ページ
フォルダ選択
☞88 ページ
ファイル全削除
☞88 ページ
IrDA/Bluetooth
設定
☞84 ページ
初期設定に戻す
☞89 ページ
ホームネットワーク
印刷設定＊1
☞『ネットワーク
設定ガイド』
ネットワーク設定＊1
☞『ネットワーク
設定ガイド』
＊ 1：PM-T960 のみ

3 印刷設定メニュー

コピーモード

☞28 ページ

倍率
用紙種類
用紙サイズ
給紙方法
品質
コピー濃度
追加乾燥時間
フチなし領域調整
標準 / 両面とじ方向
2 アップ / 両面とじ方向
CD 外径内径調整

メモリカードモード

☞36 ページ

用紙種類
用紙サイズ
給紙方法
レイアウト
品質
赤目補正
フチなし領域調整
フィルタ
自動画質補正
補正モード
明るさ調整
コントラスト
シャープネス
鮮やかさ調整
日付表示
文字合成印刷
撮影情報印刷 *[1]
トリミング
双方向印刷

CD/DVD 印刷時
☞41 ページ

用紙種類
用紙サイズ
給紙方法
赤目補正
フィルタ
自動画質補正
補正モード
明るさ調整
シャープネス
鮮やかさ調整
CD 外径内径調整
CD 濃度調整

＊ 1：PM-T960 のみ

フィルムモード *[1]

☞52 ページ

用紙種類
用紙サイズ
給紙方法
レイアウト
品質
フチなし領域調整
自動露出レベル
赤目補正
フィルタ
自動画質補正
保存品位

＊ 1：PM-T960 のみ

ファンプリントモード

手書き合成シート
☞56 ページ

赤目補正
フィルタ
自動画質補正
補正モード
明るさ調整
コントラスト
シャープネス
鮮やかさ調整

写真コピー
☞59 ページ

用紙種類
用紙サイズ
給紙方法
レイアウト
品質
自動画質補正
フチなし領域調整
フィルタ
赤目補正

ケータイ印刷
☞62 ページ

用紙種類
用紙サイズ
給紙方法
レイアウト
品質
テキスト 1/2 の文字色
画像の回転
赤目補正
フチなし領域調整
フィルタ
自動画質補正
補正モード
明るさ調整
コントラスト
シャープネス
鮮やかさ調整
日付表示
文字合成印刷
撮影情報印刷 *[1]
トリミング
双方向印刷

＊ 1：PM-T960 のみ

動画印刷
☞65 ページ

用紙種類
用紙サイズ
給紙方法
レイアウト
動画補正処理
品質
フチなし領域調整
フィルタ
自動画質補正
明るさ調整
コントラスト
シャープネス
鮮やかさ調整
トリミング
双方向印刷

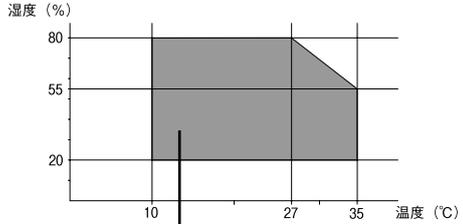
ナチュラルフェイス
☞67 ページ

用紙種類
用紙サイズ
給紙方法
レイアウト
品質
赤目補正
フチなし領域調整
自動画質補正
補正モード
明るさ調整
コントラスト
シャープネス
鮮やかさ調整
日付表示
文字合成印刷
撮影情報印刷 *[1]
トリミング
双方向印刷

＊ 1：PM-T960 のみ

製品の仕様とご注意

総合仕様

	PM-A940	PM-T960
ノズル配列	黒インク：90 ノズル、カラー：90 ノズル× 5 色	
インク色	ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ	
最高解像度	5760 *× 1440dpi ＊：最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷します。	
最小ドットサイズ	1.5pl（ピコリットル）	
インターフェイス	USB 2.0 ハイスピード× 2（PC 接続用、外部記憶機器接続および USB DIRECT-PRINT/PictBridge 用）、IrDA（Ver.1.3 準拠）	USB 2.0 ハイスピード× 2（PC 接続用、外部記憶機器接続および USB DIRECT-PRINT/PictBridge 用）、IrDA（Ver.1.3 準拠） 10 BASE-T/100BASE-TX、IEEE802.11b、IEEE802.11g
定格電圧	AC100V	
定格周波数	50 ～ 60Hz	
定格電流	0.6A	0.8A
製品外形寸法（単位：mm） ※（ ）内の値は自動両面ユニット非装着時	収納時： 幅 446 ×奥行き 432 ×高さ 237 使用時： 幅 446 ×奥行き 615 ×高さ 330	収納時： 幅 446 ×奥行き 503(432) ×高さ 242 使用時： 幅 446 ×奥行き 647(615) ×高さ 330
製品質量	約 10.6kg（インクカートリッジ、電源コード含まず）	約 12.8kg（インクカートリッジ、電源コード含まず）
動作時の環境	温度：10 ～ 35℃、湿度：20 ～ 80%（非結露）	
保管時の環境	温度：－ 20 ～ 40℃、湿度：5 ～ 85%（非結露）	

環境基本仕様

	PM-A940	PM-T960
消費電力	コピー時： 約 20W（ISO/IEC10561 レターパターン原稿コピー） スリープモード時：約 4W 電源オフ時：約 0.3W	コピー時： 約 32W（ISO/IEC10561 レターパターン原稿コピー） スリープモード時：約 7.5W 電源オフ時：約 0.3W
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。	
回収リサイクル体制	インクカートリッジのリサイクル 弊社は、環境保全活動の一環として使用済みインクカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。 詳細は本書巻末をご覧ください。	
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては 117 ～ 119 ページをご覧ください。	
補修用性能部品の保有期間	製品の製造終了後 5 年	

スキャナ部基本仕様

	PM-A940	PM-T960
走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り	
センサ	CIS	6 ラインカラー CCD
出力解像度	主走査：1200dpi、 副走査：2400dpi	主走査：3200dpi、 副走査：6400dpi
最大有効画素数	10200 × 14040Pixel（1200dpi）	27200 × 37440Pixel（3200dpi）
最大原稿サイズ	A4/US レターサイズ、216 × 297mm	
階調	16bit 入力、1・8bit 出力	16bit 入力、1･8･16bit 出力

カードスロット仕様

■ 対応電圧

3.3V 専用、3.3V/5V 兼用（供給電圧は 3.3V）
※ 5V タイプのメモリカードは非対応
※最大供給電流は 500mA

■ 対応画像ファイル形式

デジタルカメラ	DCF *1 Version2.0 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF *1 Version1.0 または 2.0 規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG *2 形式、TIFF *2 形式の画像ファイル
有効画像サイズ	横：80 ～ 9200 ピクセル 縦：80 ～ 9200 ピクセル
最大ファイル数	999 個

＊ 1： DCF は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称です。
＊ 2： Exif Version2.21 準拠。

■ 対応動画ファイル形式

拡張子	動画形式（動画コーデック）	記録品質 *1
AVI	Motion-JPEG	1024 × 768：15fps 640 × 480：30fps 320 × 240：60fps
MOV	Motion-JPEG	1280 × 720：15fps 848 × 480：30fps
MPG	MPEG-1	640 × 480：30fps

＊ 1： 本製品が対応している最大フレームサイズおよび最大フレームレートです。なお、条件を満たしていても再生できない動画ファイルがあります。

※ 読み込み可能なファイル数は 100 個です。1 ファイルの最大サイズは 2GB です。
※ 上記拡張子であっても、動画形式（動画コーデック）が対応していないときや録画時間が長いときは、「?」マークが表示されて再生できません。

適合規格、規制

■ 電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

印刷領域

下図のグレーの領域に印刷されます。ただし本製品の機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

■ 定形紙

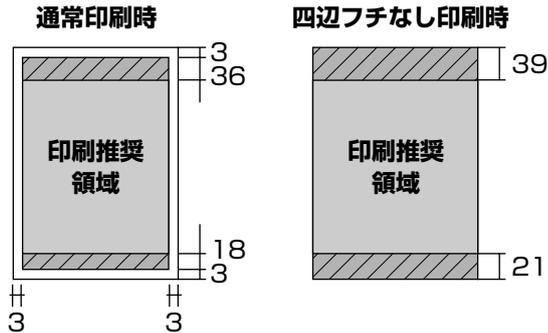
通常印刷時

印刷推奨領域

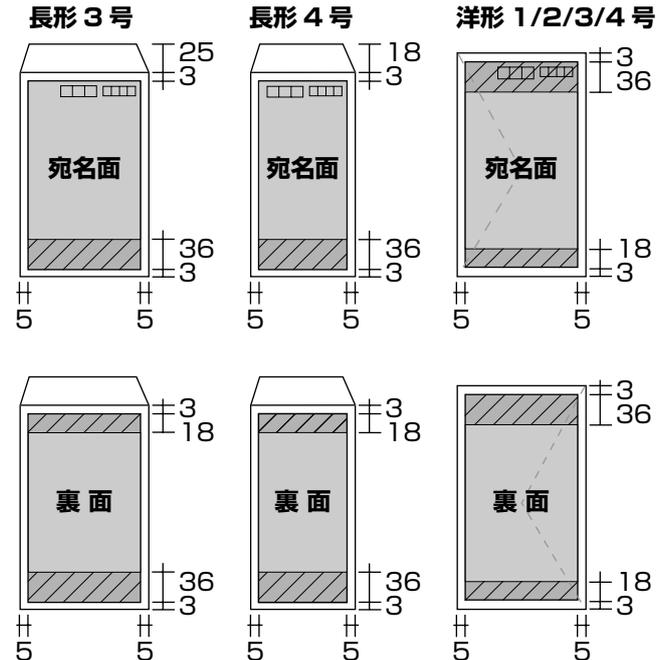
3 / 36 / 18 / 3 / 3 / 3

四辺フチなし印刷時

印刷推奨領域

39 / 21

（単位：mm）

※ 用紙幅が 216mm を超えるときは、右側の余白が 3mm 以上になります。

■ 封筒

（単位：mm）

※ 印刷データによっては、印刷品質が低下することがあります。

■ CD/DVD

下図のグレーの領域に印刷されます。印刷機能、CD/DVD のサイズによって、印刷できる領域が異なります。

	12cm		12cm ワイドエリアタイプ*1		8cm		8cm ワイドエリアタイプ*1	
	内径 外径		内径 外径		内径 外径		内径 外径	
	内径	外径	内径	外径	内径	外径	内径	外径
本製品単体 CD コピー時*3	46mm	114mm	印刷設定の［CD 外径内径調整］で設定します。		選択できません。			
本製品単体 メモリカード印刷時*3	43mm	116mm						
パソコン使用時*2 *3	43mm	116mm	26mm	116mm	43mm	76mm	26mm	76mm

＊ 1： 印刷可能範囲が広いタイプ（内側ギリギリまで印刷可能）の CD/DVD。

＊ 2： 付属のアプリケーションソフト『EPSON Multi-PrintQuicker』を使用するときの、標準設定の数値です。

＊ 3： 内径は最小 18mm まで、外径は最大 120mm まで設定可能ですが、設定値によっては CD/DVD やトレイが汚れるおそれがあります。お使いになる CD/DVD レーベルの印刷範囲内で設定してください。

CD/DVD 印刷時のご注意

印刷前

- CD/DVD への印刷は、データ記録後に行うことをお勧めします。印刷してからデータ記録を行うと、ゴミや汚れやキズなどによって、記録時に書き込みエラーになるおそれがあります。
- CD/DVD の種類や印刷データによっては、にじみが発生することがあります。不要な CD/DVD を使用して試し印刷を行い、印刷品質を確認することをお勧めします。色合いは 24 時間以上経過した後の状態をご確認ください。
- CD/DVD に印刷するときの初期設定では、印刷品質を確保するために、エプソン製専用紙より低い濃度で印刷されます。

印刷後

- 印刷後は、CD/DVD トレイを必ず引き抜いてください。挿入したままの状態でプリントヘッドのクリーニングなどを行うと、プリントヘッドがトレイの先端と接触するおそれがあります。
- 印刷後は、24 時間以上乾燥させてください。また、乾燥するまでは CD-ROM ドライブなどの機器にセットしないでください。
- 印刷面がべたついて乾燥しないときは、印刷濃度を調整することをお勧めします。
- 印刷位置がずれて、CD/DVD の内側の透明部分や CD/DVD トレイ上に印刷されたときは、すぐにふき取ってください。

メモリカードに関するご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはパソコン、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、メモリカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

メモリカードを譲渡 / 廃棄するときは

メモリカード（USB フラッシュメモリを含む）を譲渡 / 廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、メモリカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、メモリカードを物理的に破壊することもお勧めします。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。 本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本製品の廃棄

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）刑法 第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法 第1条、第2条 など
以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

商標について

- Apple、Mac、Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- xD-Picture Card、xD-Picture Card ロゴは富士写真フイルム株式会社の商標です。
- ミューパスは、株式会社サミーネットワークスの登録商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。
- Bluetooth は、その権利者が保有している商標であり、セイコーエプソン株式会社は、ライセンスに基づき使用しています。
- EPSON Scanはセイコーエプソン株式会社の商標です。
- EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- EPSON PRINT Image Matching、PRINT Image Framer、EPSON Multi-PrintQuicker、トラブル解決アシスタントは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- 本文中で用いる P.I.F. は PRINT Image Framer の略称です。

表記について

Windows

- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista™ operating system 日本語版

本書中では、以上のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 98」「Windows Me」「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。
また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista を総称するときは「Windows」、複数のWindowsを併記するときは「Windows 98/Me」のように、Windowsの表記を省略することがあります。

Mac OS

- 本製品は、Mac OS X v10.2.8 以降に対応しています。
- 本書中では、上記を「Mac OS X」と表記しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。

☞ 119 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

■ マニュアルのダウンロードサービス

製品マニュアル（取扱説明書）の最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。
< http://www.epson.jp/guide/pcopy/ >

「故障かな？」と思ったら（お問い合わせの前に）

お問い合わせ前の確認事項

必ず以下のトラブル対処方法をご確認ください。

☞ 93 ページ「困ったときは（トラブル対処方法）」
☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）

それでもトラブルが解決しないときは、以下の事項をご確認の上、お問い合わせください。

①本製品の型番	PM-A940 または PM-T960
②製造番号	製造番号は製品の背面か底面に表示されています。
③どのような操作	□コピー　□メモリカードから印刷　□パソコンから印刷 □スキャン　□その他（　　　）
④印刷データ	□写真　□文章　□その他（　　　）
⑤エラー表示	□液晶ディスプレイ　□パソコン画面 メッセージ内容：
⑥用紙の種類	□普通紙　□写真用紙　□ハガキ　□その他（　　　）
⑦用紙のサイズ	□ A4　□ハガキ　□ L 判　□その他（　　　）

お問い合わせ窓口

■ 本製品に関するお問い合わせ先

<u>カラリオインフォメーションセンター</u>

☞119 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

■ 付属のソフトウェア『読ん de!! ココパーソナル』に関するお問い合わせ先

<u>エプソン販売株式会社　エーアイソフト製品総合窓口</u>

『読ん de!! ココパーソナル』ユーザーズマニュアルの「サポートサービス総合案内」もしくは
ホームページ <http://ai2you.com/support>「製品サポートサービスに関する総合案内」をご確認ください。

修理 / アフターサービスについて

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 5 年間です。
故障の状況によっては弊社の判断により、製品本体を、同一機種または同等仕様の機種と交換等させていただくことがあります。なお、同等機種と交換した場合は、交換前の製品の付属品や消耗品をご使用いただけなくなることがあります。
※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスに関しての受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
●お買い求めいただいた販売店
●エプソン修理センター（119 ページの一覧表をご覧ください）
受付日時：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く） 9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込 / 送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
ドア to ドア サービス	• 指定運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

本製品に関するお問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネットFAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

【電話番号】　050-3155-8022
【受付時間】　月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-589-5251へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス㈱	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
*修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070　・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

【電話番号】　050-3155-7150
【受付時間】　月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日は除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/
*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。
上記番号をご利用できない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけください。

○スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内
東京　TEL(03)5321-9738　　大阪　TEL(06)6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*スケジュールなどはホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/school/

○ショールーム　*詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

○消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2007年9月現在）

○FAXインフォメーション　エプソン製品の情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221-7911　東京(042)585-8500　名古屋(052)202-9532　大阪(06)6397-4359　福岡(092)452-3305

○エプソンディスクサービス
各種ドライバを郵送でお届けします。お申し込み方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

コンシューマ（SPC）　2007. 9

索引

- 製品各部のなまえは
  ☞6 ページ「各部の名称と働き」
- 用紙の種類 / サイズは
  ☞10 ページ「使用できる用紙・CD/DVD」
- 設定値（メニュー）は
  ☞110 ページ「設定項目一覧」

アルファベット

五十音

プリントヘッド（ノズル）の目詰まり

プリントヘッドのノズルが目詰まりすると、以下のサンプルのような症状が現れることがあります。このような場合は、まずノズルチェックを行い、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングを実行してください。
☞76 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

サンプル A

正常時

目詰まり時

全体の色彩 / 色味がおかしい

サンプル B

正常時

目詰まり時

部分的に色彩 / 色味がおかしい

サンプル C

正常時

目詰まり時

全体や部分的にスジが入る

インクカートリッジの型番

ブラック	:ICBK50
シアン	:ICC50
ライトシアン	:ICLC50
マゼンタ	:ICM50
ライトマゼンタ	:ICLM50
イエロー	:ICY50

お得な６色パックもあります。

６色パック	:IC6CL50

【インクカートリッジは純正品をお勧めします】
プリンタ性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンタ本体や印刷品質に悪影響がでるなど、プリンタ本体の性能を発揮できないことがあります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品では、プリンタドライバなどでインク残量が表示されないことがあります。

インクカートリッジの回収について

エプソンは、使用済みカートリッジの回収率を高め、環境活動をより強く推進すべく、プリンタの使用済みカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。詳しくはエプソンのホームページをご覧ください。
< http://www.epson.jp/bellmark/ >

また、エプソン製品取扱販売店にインクカートリッジの回収ポストを設置しています。
< http://www.epson.jp/products/supply/cartridge >

muPass(ミューパス)は、(株)サミーネットワークスが開発した携帯電話の赤外線通信機能を使い、様々な機器に安全にデータを転送することができるビジネスプラットフォームです。

本製品は、PRINT Image Matching III に対応しています。
PRINT Image Matching に関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。
PRINT Image Matching に関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

Printed in XXXXXX XX.XX-XX XXX